

# 知多厚生病院 | 年報

(平成28年度)



## 知多厚生病院 理念

私たちは保健・医療・福祉の活動を通じて、地域住民が安心して暮らせる地域社会づくりに貢献します。

## 知多厚生病院 基本方針

- 1、地域住民のニーズに応える診療体制の充実に努めます。
- 1、救急医療・災害医療の充実に努めます。
- 1、医療技術と接遇向上に努めます。
- 1、患者の権利とプライバシーを尊重し、安全で快適な、患者中心の医療サービスを提供します。

### ● ロゴマークについて

ロゴマーク全体で、知多厚生病院（Chitakosei Hospital）の頭文字“C”と、知多半島を表しています。

また、右下の2つの四角は、篠島・日間賀島を、丸は、知多半島における当院の位置を表しています。

全体として、知多半島をイメージさせる海・空の色である明るい青を基調に、開放感・希望を、知多半島全域で盛んな農業（JA）をイメージさせる明るい緑は安心・安全・癒しを、美浜町を中心に栽培が盛んなみかんや、太陽をイメージさせる明るいオレンジは、躍動感・歓喜・溢れる生命感を表しています。



## 発刊にあたり

知多厚生病院 院長 水野 志朗



知多厚生病院は、1964年（昭和39年）6月に愛知県厚生連9番目の病院として開設され、以後知多半島南部における急性期医療と救急医療の拠点病院として診療に携わってまいりました。平成11年からは知多半島医療圏の第二種感染症指定医療機関、平成14年からは篠島や日間賀島など離島医療を支援するへき地医療拠点病院、平成16年からは臨床研修指定病院、平成19年からは災害拠点病院に指定されるなど、知多半島南部の公的医療機関として重要な責務を果たしております。

近年少子高齢化が進む中で、医療機能も大きく変化しようとしています。国は、団塊の世代（約800万人）が75才以上となる2025年以降は、医療や介護の需要がさらに増加していくと見込んでいます。このため厚生労働省においては、2025年を目途に、高齢者が住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けられるよう、住居・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築を推進しています。

医療・介護については、高齢者が増加することで、慢性的な疾病や複数疾病を抱える患者の増加による疾病構造変化が見込まれています。愛知県では平成28年10月に、病床機能の分化と連携を進め効率的で質の高い医療提供体制を構築するため、「地域医療構想」が策定されました。

当院の主な診療圏である美浜町・南知多町は、とりわけ人口減少のすすんでいる地域となっています。平成28年度は外来患者数・入院患者数ともに前年度を下回る結果となりました。こうした状況をふまえ、当院は地域包括ケアシステムの中で果たすべき役割を整理し、地域医療構想を踏まえた病床機能のあり方について検討し、住民の

皆様が住み慣れた地域で豊かに生活できる社会（Aging in Place）を目指していかなければなりません。

平成 28 年 4 月 16 日未明に発生した熊本地震では、4 月 18 日～21 日に DMAT を派遣しました。愛知県においては、今後予想される南海トラフ地震に際して甚大な被害が想定されており、この経験は地域の防災・減災にお役に立てるものと思っています。

平成 29 年 2 月 28 日には医療被曝低減施設認定の訪問調査を受審し、また人間ドック機能評価受審に向けた準備も行っており、医療の安全・質向上に努めております。平成 29 年 3 月には電子カルテシステムを更新いたしました。DWH が導入され、今後診療情報の二次利用について検討し、医療の質向上・病院運営の改善に努めていきます。

知多厚生病院は『保健・医療・福祉の活動を通じて、地域住民が安心して暮らせる地域社会づくりに貢献する』という病院理念に基づき、地域とともに地域を考え、『Aging in Place 知多半島モデル』を構築し、さらにこの地域の一員として『街づくりの拠点』としてもお役に立てますよう、職員一同全力を尽くしていく所存です。今後とも皆様のご指導とご支援を宜しくお願い申し上げます。

平成 30 年 3 月



## 目 次

病院概要	1
病院沿革	3
機構図	5
会議・委員会組織図	7
平成 28 年度 事業計画	8
統計資料	10
診療科別医療実績	20
部署別業務実績	40
各委員会活動	94

# 知多厚生病院 概要

平成29年3月31日 現在

## 名 称

愛知県厚生農業協同組合連合会 知多厚生病院

## 所在地

〒470-2404

愛知県知多郡美浜町大字河和字西谷81番地6

TEL 0569-82-0395

FAX 0569-82-4333

E-MAIL c-hospital@chita.jaaikosei.or.jp

ホームページ <http://www.jaaikosei.or.jp/chitakosei/>

## 設立年月日

昭和39年6月1日

## 病床数

259床（一般199床（回復期リハビリテーション50床含む） 療養54床（医療15床・介護39床） 感染症6床）

## 診療科（20科）

内科・呼吸器内科・循環器内科・消化器内科・糖尿病内科・神経内科・血液内科・小児科・外科・整形外科・リウマチ科・脳神経外科・皮膚科・泌尿器科・産婦人科・眼科・耳鼻いんこう科・リハビリテーション科・放射線科・麻酔科

## 各種指定

救急告示病院、災害拠点病院、へき地拠点病院、臨床研修指定病院  
労災指定医療機関、母体保護法指定医療機関、生活保護法指定医療機関  
指定自立支援医療機関、更生・育成医療指定医療機関、養育医療指定医療機関  
性病予防法指定医療機関、被爆者一般疾病指定医療機関、健康保険法指定医療機関  
国民健康保険指定医療機関、第2種感染症指定医療機関、指定介護療養型医療施設  
日本医療機能評価機構認定病院、肝疾患専門医療機関、病院群輪番制病院  
結核予防法指定医療機関、特定疾病治療研究医療機関、小児慢性特定疾病治療研究医療機関

## 関連施設

知多厚生病院健康管理支援センター・知多厚生病院介護保険センター・  
南部知多訪問看護ステーション・知多厚生病院附属篠島診療所

## 管理者

病院長： 宮本 忠壽

副院長： 水野 志朗、脇田 郷、高橋 佳嗣、丹村 敏則

第1診療部長： 村元 雅之                      第2診療部長： 冨本 茂裕

診療協同部長： 福島 庸行                      医療情報部長： 中塚 雅雄

地域医療福祉連携部長： 保里 恵一              薬剤部長： 畔柳 敏弥

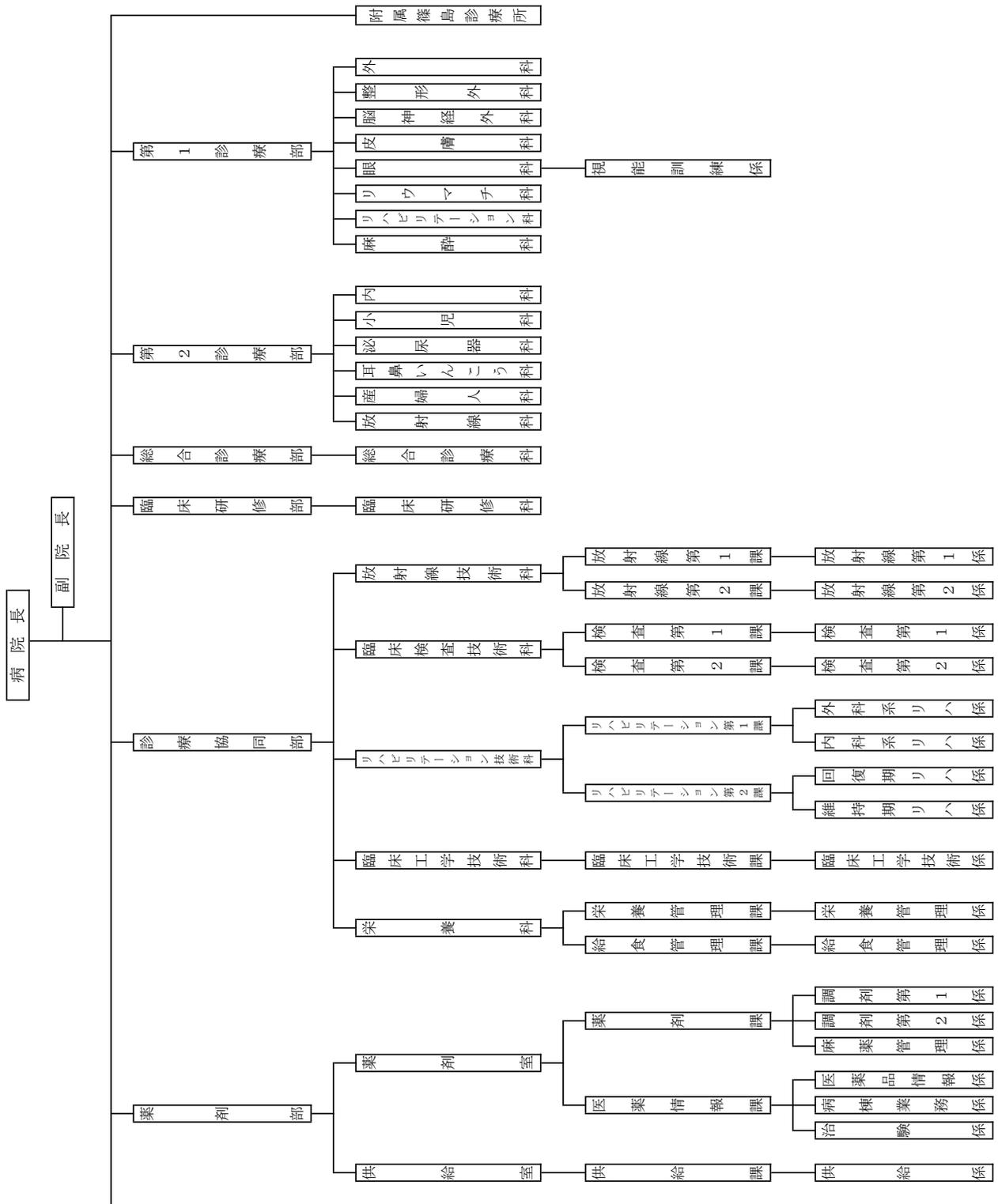
看護部長： 田上 ホナミ                      事務部長： 池田 智志

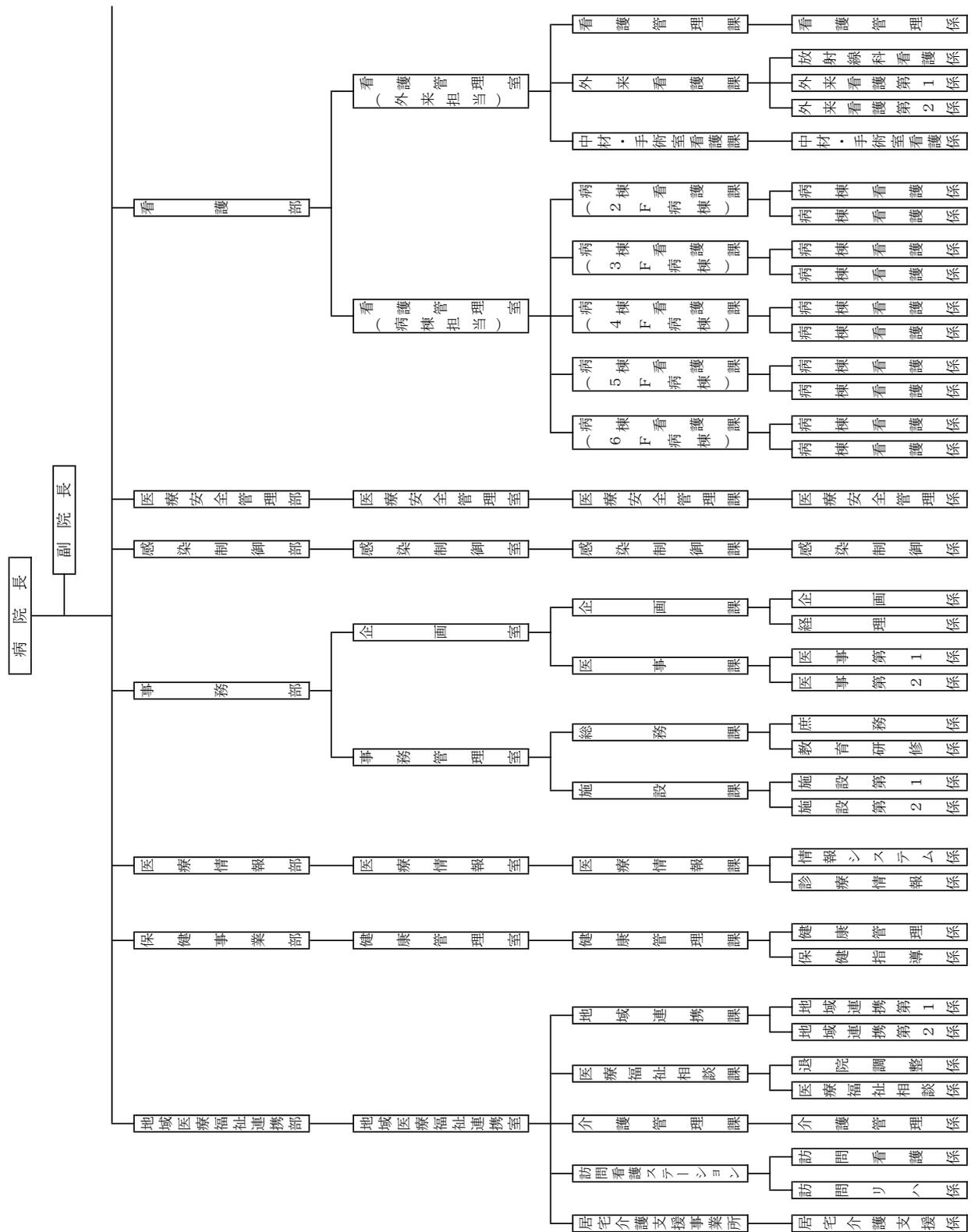
## 知多厚生病院 沿革

平成29年3月1日 現在

昭和38年	3月	知多郡美浜町河和に厚生連病院建設決定
昭和39年	6月	知多厚生病院診療開始 内科・外科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科 病床数 113床
昭和42年	3月	美浜町・南知多町伝染病組合伝染病舎24床併設 (病床数 137床)
昭和43年	10月	病棟増築(病床数 179床)
昭和49年	7月	救急医療施設開設 整形外科開設 病棟・リハビリ棟増築(病床数 217床)
昭和54年	2月	総合病院として認可
昭和55年	6月	厨房の整備 病棟増築(病床数 222床)
昭和57年	3月	診療棟増改築
	4月	小児科開設
	6月	皮膚科開設
昭和58年	1月	放射線科開設
	2月	病棟増改築・伝染病舎改築(病床数 277床)
平成3年	10月	知多厚生病院附属篠島診療所開設
平成6年	4月	脳神経外科開設
平成8年	4月	泌尿器科開設
平成9年	10月	南部知多訪問看護ステーション開設
平成10年	3月	病棟改築(病床数 一般260床・伝染8床)
平成11年	4月	第2種感染症指定医療機関指定 (病床数 一般260床・感染6床)
平成11年	10月	居宅介護支援事業所 知多厚生病院介護保険センター開設
平成14年	2月	療養型病床開設(病床数 一般212床・療養48床・感染6床)
	4月	へき地医療拠点病院指定
平成15年	5月	病床区分変更(病床数 一般206床・療養54床・感染6床)
	10月	臨床研修病院指定
平成16年	5月	オーダリングシステム稼働

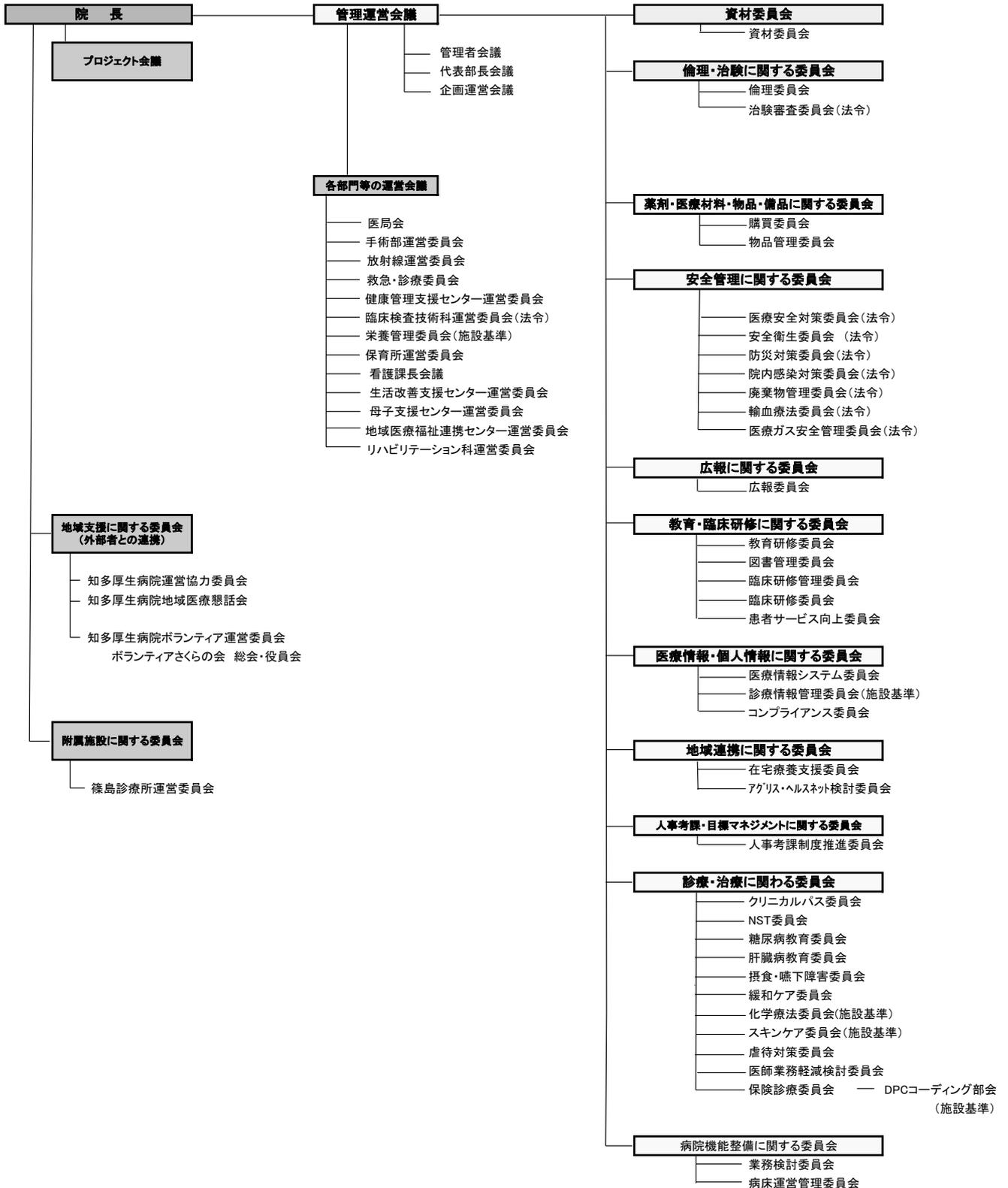
平成19年	3月	災害拠点病院指定
	7月	病院機能評価認定 (V e r . 5 . 0)
平成21年	8月	診療棟改築
		電子カルテシステム稼働
		I D - L i n k 導入
平成22年	9月	病床区分変更 (病床数 一般199床・療養54床・感染6床)
平成23年	7月	病院機能評価認定 (V e r . 6 . 0)
平成23年	9月	7対1入院基本料取得
平成25年	12月	DMA T (災害派遣医療チーム) 結成
平成26年	4月	D P C (診断群分類) 対象病院
	6月	回復期リハビリテーション病棟開設
		(一般 [7対1看護基準] 149床、回復期リハ50床、療養54床、感染6床)
	9月	開院50周年記念式典・病院祭開催
	11月	美浜町産業まつりのほか、武豊町産業まつりへも新規出展
平成27年	7月	認知症対応力向上事業実施病院
平成28年	4月	DMA Tを派遣 (熊本地震)
平成29年	1月	厨房改修工事完工
	3月	電子カルテシステム更新





知多厚生病院 会議・委員会組織図

平成21年 8月 1日制定	平成23年10月 1日改正
平成21年10月 1日改正	平成23年11月 1日改正
平成22年 4月 1日改正	平成24年 3月 1日改正
平成22年 6月 1日改正	平成24年 4月 1日改正
平成22年 7月 1日改正	平成24年 9月21日改正
平成22年 9月 1日改正	平成25年 6月14日改正
平成22年10月 1日改正	平成26年 4月 1日改正
平成22年12月 1日改正	平成26年 7月 1日改正
平成23年 4月 1日改正	平成27年 1月 1日改正
平成23年 7月 1日改正	平成28年 4月 1日改正



## 平成28年度事業所別事業計画(病院)

事業所名：知多厚生病院

環境認識	<p>知多半島医療圏では総人口が増加している中、当院の主な診療圏である美浜町、南知多町については年少人口の減少、老年人口の増加により、人口の高齢化が進んでいる地域であります。知多半島医療圏北部では西知多総合病院が開院し、中部では常滑市民病院が新築移転し連携強化が求められる一方、南部の美浜町・南知多町では医師の高齢化により診療所が減少し、医療の確保が難しくなっています。地域における効率的かつ効果的な医療提供体制の確保として、機能分化、集約化が進められる中で、周産期医療をはじめとした地域医療をどのように守り、発展させるかが喫緊の課題であります。今後安全で良質な医療を提供しつづけるためには経営の安定化が重要ですが、当院の経営状況は厳しく経営改善が必要な状況であります。こうした中で、知多半島南部地域における唯一の中核病院かつ公的医療機関として、救急医療、急性期医療・回復期医療・在宅医療にいたるまでのシームレスな医療機能を保持し、地域住民が住み慣れた地域で豊かに生活できる社会を目指すことが求められています。</p>
基本方針	<p>知多半島南部地域における唯一の中核病院かつ公的医療機関として住民にとって欠かすことのできない医療を提供する使命から、救急医療、急性期医療・回復期医療・在宅医療にいたるまでのシームレスな医療サービスを提供します。さらに医療資源を有効活用する視点から医療と介護の連携を中心とした地域包括ケアシステムの構築に取り組み、この地域で完結できない機能を補完し、さまざまな世代が安心して生活できるコミュニティホスピタルを目指します。又、これまで培ってきた災害医療の分野、へき地医療の分野、及び感染症医療の分野について継続して知多半島医療圏における中心的な役割を担います。保健事業の分野では当院の魅力的な医療サービスとして認知されつつある健康管理支援活動の充実に取り組みます。今後も患者に安全で良質な医療を提供することを第一とし、継続的に医療の質向上に取り組みむと同時に、業務の効率化、コスト削減に取り組み経営の安定化を図ります。又、職員の一人心よりがやりがいをもって働ける病院づくりを目指します。</p>

重点事項	実施目標	目標達成のための具体的行動計画
<b>① 診療機能の充実</b>		
	救急医療体制の維持	第二次救急医療体制の維持(断らない救急の体制維持)・院内のトリアージ機能の充実
	災害拠点病院の充実	知多半島南部地域全体の災害医療体制の充実(災害訓練や職員に対する研修)・DMATの活動が円滑にできるよう講習会参加など必要な支援提供
	へき地医療拠点病院の充実	離島医療の維持・へき地医療研修の継続、研修プログラムの充実
	第二種感染症指定医療機関として感染症医療の充実	関係機関・地域の医療機関との連携を強化し、患者搬送訓練、感染防止対策の情報提供、研究会開催、患者や市民への啓発活動の実施
	小児医療・周産期医療の確保	様々な医師確保策に取り組み知多半島南部地域の周産期医療の維持、助産師業務の拡大の検討、小児医療提供体制の維持
	診療体制の整備	患者獲得を目指し各科診療体制の検討・総合性を持つ医師確保、後期研修医の確保・往診・訪問診療の体制整備、最適な看護体制維持
	電子カルテ更新	電子カルテ、部門システムの円滑な更新
	チーム医療の推進	多職種が協同した専門的ケアチームの充実、病棟配置した職種の活用・治験業務の充実・医師事務の50対1体制維持による医師業務軽減を充実
	リハビリテーションの充実	回復期リハビリテーション病棟入院科2の維持・訪問リハビリテーション・休日リハビリテーションの実施
	認知症患者への対応	認知症モデル病院として認知症患者の受け入れ体制の整備、認知症サポートチームの活用
	相談支援機能の強化	効率的な薬剤管理指導、栄養指導の実施、コメディカル外来の充実
	在宅医療への支援	訪問看護ステーションの充実、在宅医療サポートセンターとの連携、訪問薬剤管理の拡大
<b>② 医療の質、安全強化</b>		
	医療安全の充実	医療安全教育・研修の積極的な実施、ICTチーム活動の充実、感染管理機能の強化、薬品の在庫管理の強化、臨床工学技師による医療機器の保守点検の充実、医療安全に関わる人材育成
	医療の質向上	クリニカルパス使用の推進・見直し・改善、クリニカルインディケータの活用、医療情報の二次利用(DWHの導入)
<b>③ 地域との連携強化</b>		
	地域連携の強化	地域の医療機関・福祉施設と顔の見える関係の構築と連携強化を図るために医師・地域医療福祉連携部を中心とした定期的な訪問、退院支援、在宅復帰支援体制の充実、地域連携システム(ID-LINK)の活用、登録医制度の実施
	行政・医師会・JA・住民との連携	美浜町・南知多町との定期協議の継続、地元医師会との連携強化・定点診療の拡充、JAとの連携強化、地域医療サポーター制度の実施、住民公開講座や多職種によるお出かけ講座等を開催し地域住民への情報発信
<b>④ 保健事業</b>		
	JA組合員への健康管理活動の充実	JAポイントカードを活用したJA組合員への健康管理活動の拡大
	健診事業の充実	美浜町・南知多町・武豊町との連携強化及び企業の健診・ドックの受託時期の見直しによる受託拡大、人間ドック機能評価受審に向けた取り組み
	保健事業活動の充実	健康講話・生活改善支援・母子支援活動の充実
<b>⑤ 福祉・介護事業</b>		
	福祉・介護事業の充実	介護報酬改定を踏まえた介護療養型病床の方向性の検討・実施、地域包括ケアシステムへの取り組み
<b>⑥ 経営管理</b>		
	経営の安定化に向けた取り組み強化	予算進捗管理の強化、診療圏拡大(武豊町)に向けた取り組み各部署の必要人員の精査及び要員管理の徹底、職種横断的な人材活用、経費削減などコスト管理及び職員個々のコスト意識の醸成、DPCデータの経営管理への活用、効率的な病床運営、委託検査・試薬等見直しによる検査コスト削減、CTの利用促進、診療報酬改定への対応(病院機能を反映した施設基準の取得)
	職場環境の向上	職員のニーズを把握し職員にとって魅力ある職場づくり、仕事と生活の調和を支援し離職防止・人材確保に取り組む
<b>⑦ その他</b>		
	教育研修機能の充実	離島医療など独自の臨床研修プログラムの充実、学生実習(医師・看護・コメディカル)の受け入れによる地域医療を担う人材の育成
	患者サービス向上	職員の接遇の向上や患者・家族から意見などの迅速な把握と、改善につなげるシステム(ご意見箱、患者アンケート)の充実
	広報活動の拡大	当院の魅力をアピールする広報機能の充実



# 統計資料

診療科別延患者数	12
時間外患者取扱数	13
診療科別在院延患者数 及び新入院患者数	14
診療科別退院患者数 及び平均在院日数	15
一般公開講座まとめ	16



## ■ 過去3か年の推移

単位:人

### 診療科別延患者数(医療+介護)

年 度	26 年 度		27 年 度				28 年 度			
	外来	入院	外 来		入 院		外 来		入 院	
科	患者数	患者数	患者数	前年比	患者数	前年比	患者数	前年比	患者数	前年比
内科	48,175	25,701	48,229	100.1	25,318	98.5	47,502	98.5	26,562	104.9
小児科	10,726	220	10,939	102.0	502	228.2	10,625	97.1	275	54.8
外科	7,081	6,152	8,076	114.1	5,442	88.5	7,952	98.5	6,213	114.2
整形外科	34,561	10,410	30,879	89.3	10,911	104.8	28,327	91.7	10,371	95.1
脳神経外科	19,271	15,934	20,154	104.6	17,862	112.1	19,821	98.3	17,438	97.6
皮膚科	15,833	227	15,967	100.8	277	122.0	12,356	77.4	98	35.4
泌尿器科	7,894	550	8,169	103.5	721	131.1	8,253	101.0	680	94.3
産婦人科	6,273	1,784	5,075	80.9	615	34.5	4,919	96.9	808	131.4
眼科	14,224	1,680	13,044	91.7	1,318	78.5	10,980	84.2	1,281	97.2
耳鼻 いんこう科	16,306	896	14,626	89.7	290	32.4	14,432	98.7	896	309.0
篠島/ 療養介護	4,707	12,240	4,551	96.7	10,597	86.6	4,420	97.1	11,090	104.6
合 計	185,051	75,794	179,709	97.1	73,853	97.4	169,587	94.4	75,712	102.5
平均患者数 (病院のみ)	680.5	207.7	658.5	96.8	201.8	97.2	618.6	93.9	207.4	102.8
※診療日数 (病 院)	265	365	266		366		267		365	

科別時間外患者取扱数

年度	26年度				27年度				28年度			
	外来	率	入院	率	外来	率	入院	率	外来	率	入院	率
内科	2,552	36.7	412	54.4	2,446	95.8	468	113.6	2,403	98.2	380	81.2
小児科	1,351	19.4	1	0.1	1,359	100.6	2	200.0	1,194	87.9	7	350.0
外科	151	2.1	28	3.7	164	108.6	40	142.9	163	99.4	36	90.0
整形外科	912	13.1	71	9.4	924	101.3	75	105.6	843	91.2	65	86.7
脳神経外科	508	7.2	119	15.7	466	91.7	126	105.9	426	91.4	104	82.5
皮膚科	487	7.0	4	0.5	482	99.0	1	25.0	439	91.1	2	200.0
泌尿器科	195	2.8	5	0.7	196	100.5	6	120.0	214	109.2	3	50.0
産婦人科	112	1.6	102	13.5	71	63.4	42	41.2	70	98.6	42	100.0
眼科	105	1.5	0	0	119	113.3	0	0	77	64.7	0	0
耳鼻 いんこう科	600	8.6	15	2	521	86.8	2	13.3	452	86.8	9	450.0
合計	6,973	100.0	757	100.0	6,748	96.8	762	100.7	6,281	93.1	648	85.0

市町村別時間外患者取扱数

年度	26年度				27年度				28年度			
	外来	率	入院	率	外来	率	入院	率	外来	率	入院	率
美浜町	3,260	46.7	265	35	3,213	98.6	286	107.9	2,990	93.1	257	89.9
南知多町	2,440	35	345	45.5	2,287	93.7	356	103.2	2,126	93.0	295	82.9
武豊町	415	6	38	5	411	99.0	40	105.3	394	95.9	28	70.0
半田市	124	1.8	20	2.9	107	86.3	14	70.0	98	91.6	7	50.0
常滑市	145	2.1	11	1.4	112	77.2	7	63.6	96	85.7	6	85.7
その他	589	8.4	78	10.2	618	104.9	58	74.4	577	93.4	55	94.8
合計	6,973	100.0	757	100.0	6,748	96.8	761	100.5	6,281	93.1	648	85.2

市町村別時間外患者（救急車搬入件数）

年度	26年度				27年度				28年度			
	外来	率	入院	率	外来	率	入院	率	外来	率	入院	率
美浜町	219	35	142	36.4	206	94.1	139	97.9	222	107.8	132	95.0
南知多町	222	36	191	48.8	242	109.0	207	108.4	237	97.9	150	72.5
その他	179	29	58	14.8	204	114.0	73	125.9	225	110.3	52	71.2
合計	620	100.0	391	100.0	652	105.2	419	107.2	684	104.9	334	79.7

診療科別在院延患者数及び新入院患者数

診療科	在院延患者数			新入院患者数		
	26年度	27年度	28年度	26年度	27年度	28年度
内科	22,693	22,407	23,476	1,519	1,599	1,557
小児科	198	399	205	42	102	69
外科	5,354	4,881	5,728	337	368	382
整形外科	10,140	10,613	10,095	272	292	286
脳神経外科	14,213	15,158	15,134	345	343	300
皮膚科	200	243	91	24	35	6
泌尿器科	511	679	645	39	40	35
産婦人科	1,536	516	704	250	100	101
眼科	1,386	1,059	1,041	297	260	238
耳鼻 いんこう科	786	265	824	75	24	75
一般計	57,017	56,220	57,943	3,200	3,163	3,049
療養	15,544	14,433	14,713	51	59	53
感染	0	0	0	0	0	0
合計	72,561	70,653	72,656	3,251	3,222	3,102

診療科別退院延患者数及び平均在院日数

	退院患者数			平均在院日数		
	26年度	27年度	28年度	26年度	27年度	28年度
内科	1,456	1,535	1,505	15.3	14.3	15.3
小児科	45	103	70	4.6	3.9	3.0
外科	375	383	400	15.0	13.0	14.7
整形外科	250	294	266	38.9	36.2	36.6
脳神経外科	326	319	295	42.4	45.8	50.9
皮膚科	28	34	7	7.7	7.0	14.0
泌尿器科	38	41	33	13.3	16.8	19.0
産婦人科	248	99	103	6.2	5.2	6.9
眼科	294	259	240	4.7	4.1	4.4
耳鼻 いんこう科	79	25	72	10.2	10.8	11.2
一般計	3,139	3,092	2,991	18.0	18.0	19.2
療養	117	108	118	185.1	172.9	171.4
感染	0	0	0	0	0	0
合計	3,256	3,200	3,109	22.3	22.0	23.4

## ■ 一般公開講座まとめ

一般の方向けに開催された講座の一覧です。

住民公開講座 肝臓病教室 糖尿病教室 生活改善支援センター（調理実習、ミニレクチャー）について記載しています。

### ■ 住民公開講座

開催日	テーマ	参加人数
平成 28 年 7 月 2 日	骨粗鬆症治療の重要性 ～寝たきり予防のために～	51
平成 28 年 12 月 17 日	1. ピロリ菌と胃の病気 2. これからの医療と介護を考える ～地域包括ケアについて～	51

### ■ 糖尿病教室

開催日	テーマ	参加人数
平成 28 年 4 月 16 日	糖尿病について① 【丹村医師】 検査について 【杉浦検査技師】 食事療法について① 【深見管理栄養士】	37
平成 28 年 6 月 18 日	食事会「夏野菜でチキンカレー」	39
平成 28 年 8 月 20 日	歯科について みはま歯科クリニック 【榊原歯科医】 合併症について 【高松薬剤師】 食事療法について 【高岡管理栄養士】	38
平成 28 年 10 月 1 日	糖尿病について② 【丹村医師】 運動療法について 【栗山理学療法士】	47
平成 28 年 12 月 17 日	食事会「クリスマスメニューを楽しむために」	47
平成 29 年 2 月 18 日	糖尿病について③ 【丹村医師】 合併症について② 【丹村医師】 フットケアについて 【吉田看護師】 薬物療法について 【末吉薬剤師】	35

## ■ 肝臓病教室

開催日	テーマ	参加人数
平成 28 年 5 月 21 日	アルコールと肝臓病	11
平成 28 年 7 月 16 日	1. 血液検査結果の読み方 2. 慢性肝炎について	11
平成 28 年 9 月 17 日	1. 肝臓病の食事療法について 2. 慢性肝炎の療法について	8
平成 28 年 11 月 19 日	1. お薬について 2. 肝硬変について	12
平成 29 年 1 月 21 日	料理教室 (定員制)	6
平成 29 年 3 月 18 日	1. 日常生活における注意点 2. 肝臓病について	15

## ■ 生活改善支援センター (料理実習・ミニレクチャー)

※ 調理実習について3回を同一テーマ実施している。

月	日	講座・教室名	テーマ	参加人数
4	15	ミニレクチャー	筋力アップで寝たきり予防	20
	15 22	調理実習	筋力アップの食事術	13
5	15	ミニレクチャー	5/17 は高血圧の日！不整脈、心臓疾患の予防	24
	20 27 6/3	調理実習	減塩大作戦！	20
	17	ミニレクチャー	冷え症、倦怠感を感じたときは？	22
6	17 24	調理実習	冷え症解消！薬膳料理	14
	15	ミニレクチャー	骨密度アップで骨粗しょう症を見てみよう	22
7	15 22 29	調理実習	骨密度アップの食事	21

月	日	講座・教室名	テーマ	参加人数
8	19	ミニレクチャー	生活習慣病予防月間！検診結果を見てみよう！	21
	19	調理実習	夏バテ解消の食事	20
	26 9/2			
月	日	講座・教室名	テーマ	参加人数
9	16	ミニレクチャー	便秘と下痢に潜む大腸の病気	21
	16	調理実習	野菜をおいしく食べよう！	18
	23 30			
10	14	ミニレクチャー	ピンクリボン月間！乳癌を予防しよう	13
	14	調理実習	和食の良さを見直そう！	18
	21 28			
11	18	ミニレクチャー	糖尿病月間！！あなたは糖尿病予備群かも？	16
	18	調理実習	ちょっと一工夫でヘルシーレシピ	19
	25 12/2			
12	9	ミニレクチャー	動脈硬化予防月間！脳梗塞にならないために	23
	9 16	調理実習	血管を若返らせる食事	14
1	20	ミニレクチャー	ウイルスやストレスから身を守る免疫力のお話	17
	20	調理実習	免疫力を高めて風邪とサヨナラ	15
	27 2/3			
2	17	ミニレクチャー	あなたは知ってる？誤嚥（ムセ）のリスク	15
	17 24	調理実習	作りやすく食べやすい介護食	12
3	17	ミニレクチャー	世界腎臓デー！腎臓病を予防しよう	14
	17	調理実習	お寿司で春を味わおう！	18
	24 31			



# 診療科別医療実績

内科	22
小児科	25
外科	27
整形外科	31
脳神経外科	32
皮膚科	34
泌尿器科	35
産婦人科	36
眼科	37
耳鼻いんこう科	38



## ■ 内 科

氏名	役職・専門分野	医師免許取得
宮本 忠壽	病院長 日本内科学会認定内科医 日本内科学会認定内科専門医 日本消化器病学会専門医 日本消化器病学会指導医 日本消化器内視鏡学会認定専門医 日本消化器内視鏡学会指導医 日本消化管学会胃腸科認定医 日本医師会認定産業医	昭和52年
高橋 佳嗣	副院長兼感染制御部長兼内科代表部長兼 消化器内科部長 日本内科学会認定内科医 日本内科学会認定内科専門医 日本消化器病学会専門医 日本肝臓学会専門医	昭和62年
丹村 敏則	副院長兼保健事業部長兼内分泌代謝科部長 日本内科学会認定内科医 日本内科学会認定内科専門医 日本糖尿病学会専門医 日本糖尿病学会指導医 東洋医学専門医 東洋医学指導医 産業衛生学会専門医 産業衛生学会指導医 日本病態栄養学会 NST コーディネーター 日本医師会認定産業医 労働衛生コンサルタント 日本プライマリケア学会認定医 日本人間ドック学会認定指導医	昭和57年

氏名	役職・専門分野	医師免許取得
富本 茂裕	第2診療部長兼循環器内科部長 日本内科学会認定内科医 日本循環器学会循環器専門医 日本高血圧学会高血圧指導医	平成2年
村瀬 和敏	消化器内科医長	平成18年
伊賀 登志峰	循環器内科医長	平成19年
山田 修司	一般内科	平成23年
鈴木 健人	一般内科	平成24年
西崎 章浩	一般内科	平成26年

◎ 専門外来とその診察日

1. 神経内科（月曜日、金曜日）
2. 呼吸器内科（月曜日、木曜日）
3. 循環器内科（火曜日）
4. 膠原病内科（水曜日）
5. 血液内科（火曜日）
6. 消化器・肝臓病（第1・3土曜日）
7. ペースメーカークリニック（第1・3土曜日）

◎ 主な取り組み

保健・医療・福祉の活動を通じて、地域住民が安心して暮らせる地域社会づくりに貢献するという病院理念に基づき、一般内科医および各種専門医が急性期および慢性期診療に従事しています。

日本消化器病学会・日本消化器内視鏡学会・日本肝臓病学会・日本糖尿病学会の認定施設として、診断や治療において最先端の医療を提供できるように努力しています。

1. 糖尿病教室
2. 肝臓病教室
3. 独自の人間ドック（脈管エコー・生活習慣病に対する栄養指導）
4. 各種専門外来

## 【平成28年度クリニカルインディケータ掲載指標（DPCデータより）】

入院数トップ3＜全症例数1,560＞

傷病名	症例数
小腸大腸の良性疾患	236
誤嚥性肺炎	88
肺炎	88

手術件数トップ3

手術名	症例数
内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術	250
内視鏡的胆道ステント留置術	26
内視鏡的消化管止血術	23

## ■ 小 児 科

氏名	役職・専門分野	医師免許取得
神田 恵介	小児科部長 日本小児科学会認定小児科専門医 医学博士（名古屋市立大学大学院医学研究科） 臨床研修指導医養成講習会修了 小児科全般・内分泌疾患・糖尿病・夜尿症	平成13年
森 麻里	小児科医長 日本小児科学会認定小児科専門医 臨床研修指導医養成講習会修了 日本周産期新生児医学会新生児蘇生法「専門」コース（Aコース）修了 小児科全般・内分泌疾患・糖尿病	平成19年
安井 奈津子	小児アレルギー科医長 日本小児科学会認定小児科専門医 日本周産期新生児医学会新生児蘇生法「専門」コース（Aコース）修了 小児科全般・アレルギー疾患	平成20年

### ◎ 専門外来とその診察日

1. 一般外来 月～金曜午前、第1・3土曜午前
2. 慢性疾患（喘息、アトピー性皮膚炎、食物アレルギー、低身長、甲状腺疾患、糖尿病、夜尿症、てんかんなど） 月曜午後、木曜午後
3. 乳児健診 水曜午後
4. 1ヶ月健診 水曜午後
5. 予防接種 火曜午後・金曜午後

### 【平成28年度クリニカルインディケーター掲載指標（DPCデータより）】

入院数トップ3＜全症例数70＞

傷病名	症例数
食物アレルギー	12
その他の体液・電解質・酸塩基平衡障害	12
脳脊髄の感染を伴う炎症	7

## 手術件数トップ3

手術名	症例数
新生児仮死蘇生術	3
該当なし	
該当なし	

## ◎ 主な疾病、検査

疾患、痙攣発作などの神経疾患をはじめとした急性期疾患が主体である。近年は予防接種の適応拡大や気管支喘息への予防治療の進歩により、当院に限らず急性期疾患による入院数は減少傾向となっている。その一方で平成27年より対応を開始した食物アレルギー経口負荷試験および低身長負荷試験の施行数は徐々に増加している。新生児疾患は黄疸、軽度呼吸障害、低出生体重児への対応は可能であるが、集中治療を要する重症疾患は大同病院、あいち小児保健医療総合センター、安城更生病院などへの搬送が必要となっている。

## ◎ 主な取り組み

現状は夜間・休日の小児科対応は困難であるが、二次救急レベルの症例に関しては周辺環境の十分な協力もあり、微力ながらも入院対応を行っている。

平成28年度は流行性耳下腺炎の流行が目立ち、それに伴う無菌性髄膜炎などで入院加療を要する症例が散見されたが、その他の疾患は例年通りまたは減少したため、全体として入院加療を必要とする症例は減少した。平成27年度から開始した食物アレルギー負荷試験の施行数は増加しており、外来における通院患者も増加している。また、平成28年度から開始した低身長負荷試験においても、成長ホルモン分泌不全性低身長症と診断された症例が散見され、外来で自己注射指導のうえ治療を開始している。

現在は常勤医が内分泌疾患、アレルギー疾患、腎疾患など幅広く専門性をもった領域に対応できるため、一部の強い専門性を必要とされる疾患（先天性心疾患、血液疾患、膠原病、腎生検を必要とする腎疾患など）を除けばおおそ対応可能である。近年は不登校、摂食障害、自閉症などの小児精神疾患の相談が増えているが、対応が困難であることに加え近隣で対応可能な施設もほとんどなく苦慮しているところである。

予防接種は平成28年度からB型肝炎ワクチンの定期接種が開始となった。これにより予防接種スケジュールは益々タイトなものとなっているが、可能な限りの同時接種施行や個々に合わせたスケジュールの作成などで支援を行っている。また、当地域で出生し、他院のNICUで管理された早産児などに対するRSウイルス抗体接種（シナジス）にも対応している。

## ■ 外 科

氏 名	役職・専門分野	医師免許取得
村元 雅之	第1診療部長兼外科代表部長 日本外科学会専門医 日本外科学会指導医 日本消化器外科学会専門医 日本消化器外科学会指導医 日本消化器病学会専門医 日本消化器病学会指導医 消化器がん外科治療認定医 日本静脈経腸栄養学会認定医 日本静脈経腸栄養学会評議員 愛知臨床外科学会評議員	昭和61年
保里 恵一	地域医療福祉連携部長 兼乳腺外科部長兼篠島診療所長 日本外科学会専門医 日本乳癌学会認定医 日本外科学会指導医 日本消化器外科学会専門医 日本消化器外科学会指導医 日本消化器病学会専門医 消化器がん外科治療認定医 日本肝臓学会肝臓専門医 マンモグラフィ読影認定医 日本化学療法学会評議員 日本医師会産業医	昭和56年
長谷川 毅	消化器外科部長 日本外科学会専門医 日本外科学会指導医 日本消化器外科学会専門医 日本消化器外科学会指導医 日本がん治療認定医 消化器がん外科治療認定医 Infection Control Doctor マンモグラフィ読影認定医 日本褥瘡学会認定師（医師） 日本医師会産業医	平成4年
杉戸 伸好	中央手術部長 日本外科学会専門医 日本消化管学会胃腸科認定医 日本がん治療認定医	平成10年

氏名	役職・専門分野	医師免許取得
小森 徹也	内視鏡外科医長 日本外科学会認定専門医	平成19年

#### ◎専門外来とその診察日

血管外科外来：毎週金曜日午後（非常勤）常滑市民病院・中島正彌医師

褥瘡外来：第1・3金曜日午後 皮膚排泄認定看護師（近藤貴代、荻須昌子）

#### ◎主な取り組み

##### 1. 腹腔鏡手術の適応拡大

・現在、進行癌を含めた大腸癌手術のほとんどを腹腔鏡下に行い、みな順調な経過で早期退院が得られています。

腹腔鏡手術は、同じ手術を開腹しないで行う方法ですが、術後の炎症反応は非常に軽微で、生体はあたかも小さな手術しか受けていないような反応を示します。これにより術後の筋肉喪失、体重減少、術後合併症（縫合不全や創感染）が発生することなく早期の退院が得られる非常に有用な方法であります。

・鼠径ヘルニア手術では、最も理想的な根治的な方法である腹腔鏡下手術(TAPP 法)を積極的に行っております。同術式は全国的に拡大しつつあり、小森内視鏡外科医長は、名古屋大学系列である知多市民病院、東海市民病院（これらはH27.5に西知多総合病院に合併）、常滑市民病院、碧南市民病院に出向いて技術指導を行い、当院は知多半島における TAPP 手術のリーダー的存在となっております。

・刈谷豊田総合病院外科の宮井医師の協力を得て、早期胃癌に対しては腹腔鏡下手術を導入しております。

2. 外来化学療法を積極的に展開しております。新規抗がん剤の開発・進歩によって、10年前は約半年であった進行再発大腸癌の予後は約3年に至るまで延長されており、奏効例には肝切除・肺切除を追加することで根治される例も現在では珍しくなく、どんな進行癌でも常に根治を視野に入れた集学的治療を行っております。

##### 3. 血管外科手術

平成27年4月より、常滑市民病院中島正彌医師の協力を得て毎週金曜日午後血管外科外来を開いており、今後は下肢静脈瘤に対してレーザー治療を行っていく方針であります。

##### 4. 術後早期経腸栄養を含めた栄養管理

消化器を切除することで生じる消化吸收障害と体重減少の軽減をはかり、退院に向けて順調な経口摂取への移行に尽力しております。術後の体重減少が大きいほど抗癌剤は効きにくくなり、予後が短くなるとの研究報告があり、当院でも研究活動を行っております。

##### 5. 胃癌術後のQOL上昇

術後の体重減少が最も顕著にみられる胃癌患者さまに対し、根治性を損なわない範囲で切除方法や再建方法を工夫し、退院後のQOLを改善できるよう尽力しております。

## 6. 積極的な肝切除、膵切除

大腸癌肝転移を初め、C型肝硬変などに発生する肝細胞癌は内科と協力しつつ積極的に切除する方針をとっております。

また膵癌に対しても、必要な場合には門脈合併切除を併施することで根治性を上げ、下膵十二指腸動脈先行処理など最新の術式を導入して出血量軽減と安全性向上に努めております。

### ◎手術件数

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
全手術件数	318	323	281	260	263	290	293
全身麻酔	184	180	197	190	187	220	210
胃癌（うち腹腔鏡下手術）	15(2)	16(1)	9(0)	12(4)	14(9)	11(1)	15(2)
大腸癌（うち腹腔鏡下手術）	24(10)	31(7)	36(18)	34(18)	26(21)	48(41)	43(32)
腹腔鏡下胆嚢摘出術	26	14	31	28	24	34	38
肝切除術	4	5	3	6	10	11	5
膵切除術	1	7	2	4	4	4	4
乳癌手術	17	25	22	19	19	21	23

### 【平成28年度クリニカルインディケーター掲載指標（DPCデータより）】

入院数トップ3 <全症例数397>

傷病名	症例数
鼠径ヘルニア	38
胆嚢疾患	25
結腸の悪性腫瘍	15

手術件数トップ3

手術名	症例数
腹腔鏡下胆嚢摘出術	41
腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術	39
腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	16

### ◎施設認定

H14.1～日本外科学会外科専門医制度数連施設（指定施設）

H15～第1回日本静脈経腸栄養学会NST稼働認定施設、教育施設

H23.11～日本静脈経腸栄養学会NST委員会NST稼働施設

H24.1～日本消化器外科学会専門医制度指定修練施設（認定施設）

## ◎学会発表

- |   |          |             |
|---|----------|-------------|
| 1. 生活改善支援センターミニレクチャー<br>「筋力アップで寝たきり予防」<br>村元雅之                                | セミナー室1   | H28. 4. 15  |
| 2. 勉強会講師<br>「高齢者の栄養管理」<br>村元雅之  | 大地の丘     | H28. 5. 10- |
| 3. 第16回知多半島栄養サポートフォーラム<br>ミニレクチャー「サルコペニアとリハビリ栄養」<br>村元雅之                      | セントレアホール | H28. 6. 18  |
| 4. 第16回知多半島栄養サポートフォーラム<br>当番世話人<br>村元雅之                                       | セントレアホール | H28. 6. 18  |
| 5. 第16回知多半島栄養サポートフォーラム<br>特別講演座長 村元雅之<br>一般演題座長 木島綾乃、中野みさと                    | セントレアホール | H28. 6. 18  |
| 6. ケアプランに活かす医療講座<br>「胃瘻・腸瘻・栄養剤」<br>村元雅之                                       | 会議室      | H28. 10. 11 |
| 7. 院内講演会<br>「sarcopenia と栄養管理」<br>村元雅之  | 江南厚生病院   | H28. 11. 10 |
| 8. 第47回愛知臨床外科学会<br>「臍頭十二指腸切除後完全外臍液瘻に対する非観血的内瘻術の工夫」<br>林祐一、村元雅之、杉戸伸好、小森徹也、保里恵一 | 愛知県医師会館  | H29. 2. 11  |
| 9. 第5回知多外来化学療法研究会<br>当番世話人<br>村元雅之  | クラシティー半田 | H29. 2. 17  |
| 10. 第5回知多外来化学療法研究会<br>特別講演座長<br>村元雅之  | クラシティー半田 | H29. 2. 17  |
| 11. 第7回日本ローカーボ食研究会<br>「体重と生命予後を考えさせられた症例ー消化器外科の立場からー」<br>村元雅之                 | 安保ホール    | H29. 3. 11  |

## ◎ 論文

- 腸腰筋へ穿破した粘液球腫症 (myxoglobulosis) を伴った虫垂粘液腺腫の1例  
知多厚生病院外科1、名古屋市立大学消化器外科2  
杉戸 伸好, 村元 雅之, 長谷川 毅, 小森 徹也, 保里 恵一, 松尾 洋一, 竹山 廣光  
日本消化器外科学会雑誌 49(12): 1252-1260, 2016

## ■ 整 形 外 科

氏 名	役職・専門分野	医師免許取得
脇田 郷	副院長兼医療安全管理部長兼整形外科代表部長 日本整形外科学会認定専門医 日本リハビリテーション医学会認定臨床医 日本リウマチ財団登録医	昭和56年
服部 一希	リハビリテーション科部長 日本整形外科学会認定専門医	平成15年
大口 怜央	リハビリテーション科医長 骨粗鬆症学会認定医 日本整形外科学会認定専門医	平成17年
竹内 聡志	一般整形外科	平成22年

◎ 主な取り組み

早期離床

◎ 主な検査

整形外科全般

◎ 主な疾病

整形外科全般

【平成28年度クリニカルインディケータ－掲載指標（DPCデータより）】

入院数トップ3 < 全症例数260 >

傷病名	症例数
股関節大腿近位骨折	65
胸椎、腰椎以下骨折損傷	36
前腕の骨折	14

手術件数トップ3

手術名	症例数
骨折観血的手術	57
人工関節置換術	15
人工骨頭挿入術	14

## ■ 脳 神 経 外 科

氏 名	役職・専門分野	医師免許取得
水野 志朗	副院長兼臨床研修部長 日本脳神経外科学会専門医 日本脳卒中学会専門医 脳神経血管内治療専門医	昭和56年
福島 庸行	診療協同部長兼脳神経外科代表部長 日本脳神経外科学会専門医 日本脳卒中学会専門医	昭和60年
中塚 雅雄	医療情報部長兼脳血管内治療部長 日本脳神経外科学会専門医 日本脳卒中学会専門医 脳神経血管内治療専門医	平成2年

### ◎ 新規入院数

新規入院数	306 例
うち脳卒中急性期	147 例 (48.0%)

### ◎ 主な手術内容 (同時施行例を含む)

脳動静脈奇形摘出術	1 例
慢性硬膜下血腫除去術	18 例
頸動脈血管拡張ステント留置術	7 例
開頭頭蓋内血腫除去術	4 例
脳室ドレナージ術	4 例
脳血管拡張術	3 例
脳動脈瘤コイル塞栓術	2 例
脳外減圧術	2 例
脳室腹腔シャント術	1 例
その他	7 例
合計	49 例

【平成28年度クリニカルインディケータ－掲載指標（DPCデータより）】

入院数トップ3<全症例数307>

傷病名	症例数
脳梗塞（エダラボンあり）	36
脳梗塞（脳血管疾患等リハあり）	29
脳梗塞（エダラボンあり、副傷病あり）	19

手術件数トップ3

手術名	症例数
慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術	13
経皮的頸動脈ステント留置術	9
頭蓋内血腫除去術	5

◎ 学会／研究会発表

1： 脳動静脈奇形の一例

福島庸行、中塚雅雄、水野志朗

Chita Cerebrovascular Conference

2016年11月11日 グランドティアラ半田

## ■ 皮膚科

氏名	役職・専門分野	臨床経験年数
伊藤 秀明	皮膚科部長代理 日本皮膚科学会皮膚科専門医 日本医師会認定産業医	平成19年
加藤 香澄	一般皮膚科	平成23年

【平成28年度クリニカルインディケータ掲載指標（DPCデータより）】

入院数トップ3＜全症例数7＞

傷病名	症例数
水疱症	2
褥瘡潰瘍	1
皮膚の悪性腫瘍	1

手術件数トップ3

手術名	症例数
該当なし	
該当なし	
該当なし	

## ■ 泌 尿 器 科

氏 名	役職・専門分野	医師免許取得
本間 秀樹	泌尿器科代表部長 日本泌尿器科学会専門医	平成1年

### ◎ 主な取り組み

前立腺肥大症、尿失禁に対する薬物療法

【平成28年度クリニカルインディケータ掲載指標（DPCデータより）】

入院数トップ3 < 全症例数34 >

傷病名	症例数
膀胱腫瘍	6
男性生殖器疾患	4
前立腺の悪性腫瘍	3

手術件数トップ3

手術名	症例数
膀胱悪性腫瘍手術	6
経尿道的尿管ステント留置術	2
経皮的腎瘻造設術	1

## ■ 産 婦 人 科

氏 名	役職・専門分野	医師免許取得
菱田 克己	産婦人科部長 日本産婦人科学会専門医 母体保護法指定医 臨床研修指導医	昭和48年

### ◎ 専門外来とその診察日

産科及び一般婦人科（不妊症・更年期障害・子宮内膜症など）を行っています。午後は手術・母親教室・検査などがあり、また、常勤医師が1名しかいないということもあり、現在のところ専門外来は行っていません。コルポスコピー・子宮卵管造影など特殊な検査は、月曜日から金曜日の可能な午後を選んで行っています。また、病状説明など時間を要する場合も午後の余裕のある時間帯に行っています。

### ◎ 主な取り組み

悪性腫瘍手術・化学療法など、大学とタイアップしてできるだけ患者さんの希望に応じて便宜を図っています。また、不妊症・更年期障害・子宮内膜症などに積極的に取り組んでいます。その他、子宮頸癌・体部癌検診・超音波検査による卵巣癌検診・妊婦健診などです。

さらに、J A子宮癌検診を担当するなど、地域医療にも協力をしています。

### 【平成28年度クリニカルインディケーター掲載指標（DPCデータより）】

#### 入院数トップ3＜全症例数50＞

傷病名	症例数
子宮頸・体部の悪性腫瘍	12
分娩の異常	11
妊娠合併症等	5

#### 手術件数トップ3

手術名	症例数
子宮頸部切除術	12
子宮内容除去術	2
子宮外妊娠手術	1

## ■ 眼 科

氏 名	役職・専門分野	医師免許取得
久保田 文洋	眼科代表部長 日本眼科学会専門医 PDT 認定医	平成16年
好中 麻世	一般眼科	平成23年

### ◎ 主な取り組み

白内障手術

緑内障の早期発見及び治療

硝子体手術

網膜光凝固術

### 【平成28年度クリニカルインディケーター掲載指標（DPCデータより）】

入院数トップ3＜全症例数241＞

傷病名	症例数
白内障、水晶体の疾患	217
黄斑、後極変性	6
糖尿病性増殖性網膜症	3

手術件数トップ3

手術名	症例数
水晶体再建術	225
硝子体茎頭微鏡下離断術(網膜付着組織を)	15
硝子体茎頭微鏡下離断術(その他のもの)	8

## ■ 耳鼻いんこう科

氏名	役職・専門分野	医師免許取得
小森 克彦	耳鼻いんこう科代表部長 耳鼻いんこう科一般・頭頸部腫瘍・補聴器 日本耳鼻咽喉科学会専門医 日本耳鼻咽喉科学会補聴器相談医	平成5年
油井 健宏	耳鼻いんこう科医長 日本耳鼻咽喉科学会認定専門医	平成19年

### ◎ 専門外来とその診察日

慢性疾患外来（アレルギー性鼻炎・滲出性中耳炎など）： 火曜日・木曜日の午後

補聴器外来： 火曜日の午前

めまい外来： 水曜日の午前

### 【平成28年度クリニカルインディケーター掲載指標（DPCデータより）】

入院数トップ3<全症例数72>

傷病名	症例数
前庭機能障害	23
睡眠時無呼吸	19
扁桃周囲膿瘍、急性扁桃炎、急性咽頭喉頭炎	5

手術件数トップ3

手術名	症例数
口蓋扁桃手術	2
内視鏡下鼻・副鼻腔手術	2
鼻腔粘膜焼灼術	2



# 部署別業務実績

【薬剤部】	42
【診療協同部】	
• 放射線技術科	48
• 臨床検査技術科	53
• リハビリテーション技術科	57
• 臨床工学技術科	60
• 栄養科	63
【看護部】	65
【医療安全管理部】	73
【感染制御部】	76
【事務部】	
• 企画課	77
• 医事課	79
• 総務課	80
• 施設課	81
【医療情報部】	82
【保健事業部】	83
【地域医療福祉連携部】	85



## ■ 薬剤部

### 1. 主な取り組み

- 1) 医薬品、医療材料、臨床試薬等について、更に購入の効率化を図る。
- 2) 多くの学会に参加し最新の情報を収集するとともに、各種認定取得など資質向上に務める。
- 3) 他職種との更なる連携強化を図り、業務改善に努める。
- 4) クリニカルインジケータの補強としての抗生剤使用状況や治療成績の公開に取り組む。
- 5) 病棟業務実施加算の継続（全病棟）と薬剤師の常駐に努める。
- 6) 病病連携、病診連携、薬薬連携、在宅薬剤指導など地域連携業務の取り組みを充実させる。
- 7) 離島医療支援と「おくすり講座」を継続する。
- 8) 日本文化連「治験ネットワーク」からの新たな治験の案件取得に取り組む。
- 9) 在宅薬剤管理指導件数の増加を目指す。
- 10) 外来における服薬指導を充実させる。
- 11) 医療安全の観点から、手術室に麻薬の供給、薬袋の透明化、定期処方セットなどに取り組む。

### 2. 業績目録

#### ◎学会発表

演題名・発表者名・共同演者名・学会名・日時

#### 【発表】

平成28年5月19日～5月21日 みやこめっせ

第59回 日本糖尿病学会 年次学術集会

- ・アドヒアランス向上と血糖コントロールの相関

高松 真衣

#### 【発表】

平成28年9月17日～9月19日 国立京都国際会館他

第26回 日本医療薬学会年会

- ・他職種連携による漢方薬の剤形変更と薬剤師の関与

久田 亜紗美

- ・偽膜性腸炎患者にVCM 斬減療法が奏効した1症例

久田 瑛吉

- ・厚生連治験ネットワークにおける薬剤師の関わり

後藤 恵利佳

- ・当院における終末期がん患者に対する在宅緩和ケアへの取り組み

石川 奈央佳

【発表】

平成28年10月2日 名古屋国際会議場

第90回 糖尿病学会 中部地方会

- ・持続インスリン皮下注療法導入後、血糖コントロールに難渋した3症例

末吉 真樹

【発表】

平成28年10月6日 仙台 勝山館

第18回 日本病骨粗鬆症学会

- ・当院におけるテリパラチド（1日1回自己注射薬）の治療継続率とその対応策について

野澤 正徳

【発表】

平成28年10月27日～10月28日 志摩観光ホテル他

第65回 日本農村医学会学術総会

- ・「高齢者の安全な薬物療法ガイドライン2015」における当院の現状把握

野澤 正徳

- ・知多半島医療圏における災害連携について

高木 嘉孝

◎研究会等その他発表

演題名・発表者名・共同演者名・研究会名、その他名称・日時

【発表】

平成28年8月20日 江南厚生病院

第2回 相互啓発研修会

- ・食欲不振に対し六君子湯ゼリーを試みた1症例

久田 亜紗美

【発表】

平成28年11月20日 名古屋市立大学

第63回 医療薬学公開シンポジウム

- ・これからの地域医療における病院と薬剤師の在り方  
～「世界健康半島」の実現を目指して

畔柳 敏弥

## 投薬状況の推移

	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度	平成19年度	平成18年度	平成17年度
外来処方せん枚数	96,004	98,361	99,851	100,217	81,552	91,028	81,306	72,758	70,767	73,227	70,683	66,210
調剤数	237,476	241,822	243,145	244,486	198,887	217,380	192,906	177,516	171,692	159,619	163,584	149,047
調剤延数	7,304,497	7,279,995	6,997,358	6,770,070	5,254,885	5,526,954	4,967,381	4,446,303	4,060,841	3,383,661	3,217,715	2,635,898

	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度	平成19年度	平成18年度	平成17年度
入院処方せん枚数	18,305	16,983	18,439	18,841	16,112	19,733	22,292	20,427	22,617	23,765	23,585	21,486
調剤数	44,128	38,390	39,200	42,283	36,674	42,296	48,330	44,216	48,350	50,487	49,818	47,796
調剤延数	354,203	322,846	331,259	378,361	324,933	362,035	435,202	389,460	409,190	443,051	401,637	406,478

	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度	平成19年度	平成18年度	平成17年度
院外処方せん枚数	28,619	32,594	36,503	39,061	34,589	46,472	50,395	53,684	56,257	56,932	59,985	67,031
分業率	22.96%	24.89%	27.10%	28.05%	29.78%	34.20%	39.0%	42.5%	46.0%	43.7%	45.9%	50.3%

## 付加価値業務

	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度	平成19年度	平成18年度	平成17年度
薬剤情報提供（外来患者）	73,352	74,896	74,401	73,522	71,629	64,620	56,695	50,010	48,660	50,660	48,254	43,786
薬剤管理指導（入院患者）	4,034	4,544	3,511	2,997	3,732	3,801	4,354	4,083	2,998	3,811	3,437	3,261
無菌製剤処理	1,581	1,393	1,407	1,798	3,053	4,290	4,351	2,996	3,372	3,955	5,018	4,451

	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度	平成19年度	平成18年度	平成17年度
注射セツト（定期・臨時）	21,338	18,322	-	29,040	63,131	54,299	60,824	17,438	15,980	15,871	16,496	16,265
化学療法注射せん	688	1,343	-	1,371	1,280	1,465	1,248	931	947	1,140	1,419	1,407

# 診療材料消費・構成比率

※ 平成21年度より構成分類を変更

年度比較	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度
綿花製品	9.4	8.9	9.6	10.8	9.1	7.8	6.9	6.4
リント・ガーゼ包帯関係	0.2	0.2	0.2	0.3	0.2	0.3	0.2	0.2
絆創膏関係・褥瘡関係	0.9	0.9	1.0	1.1	0.9	1.0	0.9	1.0
ドレープ関係	0.9	0.8	0.8	0.9	0.8	1.1	0.2	0.4
ギブス材料関係	1.2	1.1	1.1	1.2	1.1	1.1	1.1	0.8
手術キット製品	0.4	0.3	0.2	0.3	0.2	0.2	0.4	0.4
絆創膏関係・褥瘡関係（償還有）	0.8	0.8	0.8	0.9	0.4	0.6	0.5	0.5
その他・止血用	0.4	0.6	0.6	0.6	0.8	0.6	0.8	0.4
その他の診療科関連	4.6	4.1	4.8	5.4	4.6	3.2	2.1	2.4
眼内レンズ	20.1	19.5	19.9	18.3	12.6	12.9	12.2	12.6
内視鏡関連	6.3	6.2	6.6	7.8	3.3	4.5	4.4	3.0
フィルム・感光紙	9.0	8.0	8.9	7.2	5.1	4.5	3.0	2.3
組織代用布関連	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1
人工心肺関連	2.5	2.2	2.7	2.4	1.9	2.1	3.0	1.7
消化器・泌尿器・気管ステント	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	2.3	3.1	1.7	0.8	2.2	1.7	1.6	2.0
循環器用・脳外科用	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4
イントロデューサー	11.8	8.5	13.3	13.2	18.8	17.9	18.0	18.3
造影・超音波・診断用カテーテル	0.2	0.2	0.2	0.3	0.5	0.5	0.6	0.6
治療用カテーテル	0.6	0.6	0.8	0.6	1.4	1.7	1.7	1.6
PTCAカテーテル	0.7	0.4	0.6	0.7	1.4	1.4	1.1	0.6
ペースメーカー・ICD（部品含む）	0.3	0.1	0.1	0.2	0.0	0.1	0.5	0.6
ガイドワイヤー（消化器含む）	5.4	2.6	2.1	5.0	3.8	3.2	4.2	3.1
PTCAガイドディングカテーテル	2.8	3.2	5.4	3.9	7.9	6.6	5.3	5.5
血管内ステント	0.2	0.1	0.3	0.1	0.3	0.3	0.5	0.5
その他	1.1	0.5	0.9	1.1	2.2	2.8	3.0	4.8
注射器・注射針	0.6	0.8	1.0	1.2	1.3	1.4	1.0	1.1
ディスポ注射器	3.3	3.2	3.5	3.8	1.0	3.2	3.2	3.3
ディスポ注射針	0.7	0.7	0.9	1.2	0.6	1.1	1.3	1.3
留置針関係	0.5	0.6	0.7	0.5	0.9	0.7	0.6	0.6
生検用関係	1.0	0.9	0.8	0.9	0.2	0.9	0.8	0.8
真空採血管関係	0.3	0.1	0.1	0.2	0.4	0.1	0.1	0.1
その他	0.7	0.7	0.7	0.7	0.2	0.2	0.2	0.3
透析・血液浄化	0.2	0.3	0.4	0.3	4.1	0.2	0.2	0.1
ダイアライザー・フィルター	0.3	1.2	1.0	2.2	3.4	3.9	3.3	3.1
透析用回路	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
血液浄化関連	0.2	1.2	0.9	2.2	4.0	3.8	3.2	3.1
CAPD関連	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
透析用留置針	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0
ビニール・チューブ・カテーテル類	16.5	16.4	16.8	17.4	17.5	17.9	16.9	15.7
人工血管	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2
人工弁	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
手袋	2.3	2.1	2.1	2.4	1.9	2.0	0.7	1.7
ビニール・チューブ類（償還有）	4.4	5.1	5.6	5.0	6.0	6.4	6.8	6.6
ビニール・チューブ類	2.9	2.4	2.7	2.9	3.0	3.3	2.7	2.1
バルンカテーテル（泌尿器用）	1.4	1.4	1.3	1.3	1.3	1.2	1.2	1.2
ポリ・固形製品・バック類	1.8	1.6	1.8	2.1	2.5	2.3	2.1	1.7
その他	3.6	3.7	3.3	3.7	2.8	2.7	2.3	2.1
整形治療材料	18.4	21.7	16.7	16.3	15.8	16.8	17.3	21.2
骨ネジ	1.6	1.9	1.8	1.8	1.7	0.9	1.8	1.9
固定用具	0.8	0.9	0.2	0.0	0.2	0.1	0.8	0.1
プレート	1.0	2.0	1.7	1.3	0.7	0.6	0.9	1.7
髄内釘関連	4.3	4.2	4.3	3.6	3.2	5.1	3.6	4.7
鋼線・ワイヤー類	0.1	0.2	0.1	0.0	0.3	0.1	0.1	0.0
人工骨頭・関節（部品含む）	8.5	10.9	7.4	8.7	9.2	9.3	9.2	10.9
脊椎関連	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.2	1.2
人工骨	0.4	0.2	0.7	0.6	0.3	0.2	0.6	0.5
その他	1.8	1.5	0.5	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1
縫合針・縫合糸	4.3	3.6	4.1	4.3	3.8	4.0	4.5	3.3
縫合針・糸	2.4	1.9	2.2	2.3	1.9	2.3	2.3	1.5
自動吻合縫合器	1.7	1.6	1.7	1.9	1.7	1.7	2.0	1.6
その他	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1	0.2
その他	15.8	17.2	17.3	13.8	15.1	15.7	17.0	16.0
酸素・窒素ガス類	2.5	2.6	2.9	3.1	3.9	3.0	5.0	6.9
切開関連	1.8	2.2	2.1	1.7	1.3	1.3	1.5	1.1
記録紙	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.4	0.3	0.4
紙製品	0.4	0.5	0.6	0.9	0.3	0.2	0.2	0.2
投薬材料	1.8	1.9	1.9	1.4	1.2	1.3	1.2	1.6
歯科材料	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
検査関連・硝子・陶器製品	0.7	0.7	0.8	0.7	1.1	1.7	1.6	1.5
その他	8.2	8.8	8.6	5.7	6.8	6.3	7.7	4.2
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

消費金額合計

243,773,967 244,330,491 250,038,723 240,934,885 283,277,300 289,664,104 286,422,438 261,343,616

## 主要薬品薬効別構成比率

	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度
神経系および感覚器官用医薬品	11.2	10.6	11.0	10.7	10.7	10.1	9.5	9.3
中枢神経系用薬	7.0	6.4	6.4	6.6	6.9	6.6	5.9	5.8
末梢神経系用薬	0.3	0.4	0.4	0.5	0.4	0.4	0.4	0.4
感覚器官用薬	3.9	3.8	4.2	3.8	3.4	3.1	3.2	3.1
個々の器官系医薬品	32.5	31.7	34.1	35.1	32.5	20.2	20.4	21.8
循環器官用薬	12.4	11.7	12.6	13.2	12.7	12.5	12.7	13.9
呼吸器官用薬	1.5	1.4	1.3	1.5	1.4	1.5	1.5	1.5
消化器官用薬	6.8	6.6	7.3	7.5	6.7	6.2	6.2	6.5
ホルモン剤	5.5	5.2	6.1	6.0	5.3	4.9	5.2	6.0
泌尿生殖器および肛門用薬	3.3	3.1	2.9	2.9	2.6	2.4	2.3	2.5
外皮用薬	3.0	3.7	3.8	4.0	3.8	3.5	3.3	3.2
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
代謝性医薬品	25.6	23.2	23.6	24.8	24.0	23.9	22.4	20.5
ビタミン剤	1.6	1.6	1.6	1.9	1.8	1.6	1.7	1.9
滋養強壮薬質剤	1.3	1.4	1.7	2.1	2.3	2.4	2.7	2.3
血液・体液用薬	9.5	8.4	8.7	8.9	8.4	9.0	7.8	7.3
人工透析用薬	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他代謝性医薬品	13.2	11.8	11.6	11.9	11.5	10.9	10.2	9.0
組織細胞機能用医薬品	15.1	14.1	13.6	11.9	12.4	12.6	12.8	13.7
その他の細胞賦活用薬	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
腫瘍用薬	12.8	11.7	10.9	8.8	9.4	9.7	9.7	10.3
アレルギー用薬	2.3	2.4	2.7	3.1	3.0	2.9	3.1	3.4
生薬および漢方処方に基づく医薬品	2.1	2.0	2.0	0.0	1.8	1.2	1.0	0.9
生薬	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
漢方製剤	2.1	2.0	2.0	2.1	1.8	1.2	1.0	0.9
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
病原生物に対する医薬品	9.5	12.3	7.6	8.6	9.6	11.3	12.8	11.4
抗生物質製剤	2.2	2.1	2.5	3.9	4.6	5.0	5.6	5.6
化学療法剤	5.4	8.8	3.2	2.4	2.6	2.5	2.8	3.2
生物学的製剤	1.9	1.4	1.9	2.3	2.4	3.8	4.4	2.6
治療を目的としない医薬品	-3.3	-0.6	1.0	-1.2	2.2	2.8	2.9	3.6
調剤用薬	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
診断用薬	1.3	1.3	1.3	0.6	1.9	2.5	2.6	3.2
その他	-4.7	-1.9	-0.4	-1.9	0.2	0.2	0.2	0.3
麻薬	0.6	0.6	0.9	0.9	0.7	0.6	0.9	0.7
アルカロイド系麻薬	0.2	0.2	0.3	0.3	0.2	0.2	0.3	0.2
非アルカロイド系麻薬	0.4	0.4	0.6	0.6	0.5	0.4	0.6	0.5
その他(試薬等)	6.5	6.1	6.2	6.2	6.3	6.6	6.5	6.6
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

年度別消費実績比較

単位：千円

	内服薬	注射薬	外用薬	計
平成12年度	279,144	466,009	60,545	805,698
平成13年度	262,673	415,779	46,964	725,416
平成14年度	250,696	372,594	51,841	675,131
平成15年度	250,042	405,423	51,057	706,522
平成16年度	289,545	419,953	66,728	776,226
平成17年度	336,839	381,626	72,236	790,701
平成18年度	387,854	381,613	79,548	849,015
平成19年度	427,287	363,614	81,551	872,452
平成20年度	463,185	373,633	84,766	921,584
平成21年度	504,410	338,688	90,589	933,687
平成22年度	614,802	479,334	115,090	1,209,226
平成23年度	601,247	407,363	106,579	1,115,189
平成24年度	678,265	373,854	118,918	1,171,037
平成25年度	723,630	318,384	128,436	1,170,450
平成26年度	736,997	308,890	129,901	1,175,788
平成27年度	783,519	263,429	125,458	1,172,406
平成28年度	747,045	269,325	116,060	1,132,430

## ■ 診療協同部（放射線技術科）

### 1. 平成28年度部門目標

- ・電子カルテ・部門システムの円滑な更新を行う。
- ・医療被曝低減への取り組みを通し、医療の質向上・安全強化を図る。
- ・質の高い人材育成の実施。
- ・医療安全・機器管理を充実させ、安心安全な放射線検査体制を構築する。
- ・院内各委員会への協力や他部門との連携を強化する。

### 2. 主な取り組み

#### ① 電子カルテ・部門システムの更新

- ・システムに関する情報収集を行うと共に、変更・要望項目を整理。
- ・メーカーとの調整を行い希望にかなうシステムの更新を行った。
- ・新システム操作訓練の実施。
- ・システム更新は、担当者を立ち合わせるとともに、万全な応援態勢をとり行われた。
- ・システム更新後は、安定稼働に向けての調整を実施。

#### ② 医療被ばく低減への取り組み

- ・条件表・各種マニュアルの作成および整備。
- ・職員向け「放射線被ばく」についての勉強会の実施。
- ・日本農村医学会・日本放射線技師会学術大会での被ばく低減に関する発表。
- ・地域向け情報機関誌「知ったより」へ3回にわたり「被ばくのおはなし」と題し放射線被ばくと管理について掲載した。
- ・日本放射線技師会「医療被ばく低減施設認定」の書類審査に合格し、平成29年2月28日訪問審査を受審。平成29年5月1日付けで「医療被ばく低減施設 第71号」として認定された。

#### ③ マンモグラフィー検診施設認定の更新

- ・マンモグラフィーの精度管理・品質管理を実施。
- ・更新資料と共に当院マンモグラフィー画像を検診精度管理中央委員会に提出し、2016年11月1日～2019年10月31日までのマンモグラフィー検診施設画像認定証が交付された。

#### ④ 質の高い人材育成の実施

- ・隔月での放射線技術科内勉強会の実施。
- ・学会・院外勉強会や研修会の報告会を行い、知識を共有した。
- ・今年度、新たに医療画像情報精度管理士：1名、救急撮影認定技師：1名の取得者があった。
- ・新人診療放射線技師を通常検査・当直ができるレベルまでに教育。

#### ⑤ 医療安全・機器管理を充実させ、安心安全な放射線検査体制の構築

- ・始業終業点検表の見直し。
- ・放射線機器故障レポートを詳細に記録し、時系列に故障履歴がわかるようにした。
- ・TV室、一般撮影室のメーカーによるスポット点検の実施。

#### ⑥ 院内各委員会への協力や他部門との連携を強化

- ・感染対策委員会 今年度目標“手指消毒の徹底”に伴い、手指消毒の科内勉強会を含む啓蒙活動を行い、手指消毒使用量を約6倍（12月と6月の比較）に増加させた。
- ・健康管理支援センター機能評価受審に伴い、健診利用者用マニュアルを作成。
- ・健診患者待ち時間短縮策を検討。

### 3. 人員体制

(平成29年3月31日現在)

診療放射線技師	10名 (女性3名、男性7名)
放射線 (1Bブロック) 看護師	4名
SPD (午前)	1名
受付事務員 (1Bブロック)	2名 (午後1名)
放射線科代務医師 (読影)	3名 (月:午後、 火・木:終日 各1名)

### 4. 画像診断関連機器一覧 平成28年度

撮影室	装置	メーカー	取得年月日
一般撮影 ⑥	撮影装置	島津 UD150L-40(50KW)	2009/7/30
	画像処理装置	コニカミノルタ CS-5	2009/7/30
	読み取り装置	コニカミノルタ REGIUS 190 (カセットリーダー)	2009/7/30
	FPD 撮影装置	コニカ PLAUDR C-30 (立位リーダー)	2009/7/30
	FPD 撮影装置	コニカミノルタ PLAUDR C-50 (臥位リーダー)	2009/7/30
一般撮影 ⑦	撮影装置	島津 UD150L-40(50KW)	2009/7/30
	画像処理装置	コニカミノルタ CS-5	2009/7/30
	読み取り装置	コニカミノルタ REGIUS 190 (カセットリーダー)	2009/7/30
	FPD 撮影装置	コニカミノルタ PLAUDR C-30 (立位リーダー)	2009/7/30
	FPD 撮影装置	コニカミノルタ PLAUDR C-50 (臥位リーダー)	2009/7/30
マンモ ⑧	撮影装置	SIEMENS MAMMOMAT1000	2009/7/30
	画像処理装置	コニカミノルタ CS-5	2009/7/30
	読み取り装置	コニカミノルタ REGIUS 190 (カセットリーダー)	2009/7/30
骨塩定量 ⑧	撮影装置	アロカ Dichroma Scan DCS-600EXV	2009/7/30
健診センター (胸部撮影)	撮影装置	島津 RADIOTEX CH-200	2009/7/30
	画像処理装置	コニカミノルタ CS-5	2009/7/30
	FPD 撮影装置	コニカミノルタ PLAUDR C-30 (立位リーダー)	2009/7/30
ポータブル	回診型撮影装置	島津 MobileArtEvolution	2010/6/1
	回診型撮影装置	島津 MobileArtEvolution	2011/4/10
	読み取り装置	コニカミノルタ REGIUS 110 (カセットリーダー)	2009/7/30
外科用イメージ	OPE用透視装置	SIEMENS SIREMOBIL Compact L	2007/8/10
T V ②	撮影装置	東芝 ZEXIRA II Version (I.I.)	2009/7/30
	撮影制御装置	東芝 ADR-1000A	2009/7/30
T V ⑨	撮影装置	東芝 ZEXIRA FPD Version (F.P.D.)	2009/7/30
	撮影制御装置	東芝 HDR-1000A	2009/7/30

撮影室	装置	メーカー	取得年月日
C T ⑤	撮影装置	東芝 TSX-101A Aquillion64	2007/5/7
	ワークステーション	アミン ZIOSTATION610	2007/5/7
	ワークステーション	アミン ZIOSTATION2Crassic	2012/7/21
	テラステーション	パップアローTerastationPro	2009/7/7
	Xe-CT 測定装置	安西 コールドキセノンガス吸入装置 AZ-725N	1996/11/10
M R I ④	撮影装置	Pilips Ingenial.5T	2015/9/25
	ワークステーション	AZE バーチャルプレイス風神 RM-01123791	2015/9/25
	生体情報モニタ	コニカミノルタヘルスケア Invivo Essentil	2015/9/25
アンギオ ③	撮影装置	SIEMENS AXIOM Artis dTA	2009/7/30
	ポリグラフ	日本光電 RMC-4000M	2008/8/4
	ワークステーション	SIEMENS LEONARDO	2009/7/30
デジタイザ	film 読み取り装置	Array AOC Scan1.4	2009/7/30
プリンター	ドライイメージャー	コニカミノルタ ドライプロ 793	2009/7/30
検 像	画像検像装置	インフォコム Ev-stasion	2009/7/30
出張ポータブル	携帯型X線撮影装置	日立 PHT-1003 2011/12/1 機器故障のため修理不能	2002/2/1
篠島診療所	診断用X線装置	島津エクシープロMパック	2011/11/1
	読み取り装置	コニカミノルタ REJIUS 190 (カセットリーダー)	2007/12/1
	現像機	コニカミノルタ ドライイメージャー	2007/12/2

5. 平成 28 年度 放射線技術科撮影件数

全検査件数

項目	28 年度	27 年度	対比%
一般撮影	26,769	26,527	100.9%
マンモ	1,519	1,532	99.2%
T V 検査	3,495	3,482	100.4%
血管検査	78	64	121.9%
C T 検査	8,694	8,543	101.8%
MR I 検査	4,854	4,758	102.0%
骨塩定量	888	901	98.6%
画像処理	1,505	1,526	98.6%
術中透視	7	29	24.1%
合計	47,809	47,362	98.3%

健診検査件数

項目	28 年度	27 年度	対比%
胸部	2,553	2,481	102.9%
マンモ	906	889	101.9%
胃透視	948	874	108.5%
胃内視鏡	1,006	987	101.9%
C T 検査	295	244	120.9%
MR I 検査	497	445	111.7%
骨塩定量	235	307	76.5%
合計	5,434	5,240	103.7%

放射線利用料

項目	28 年度		27 年度		対比%	
	利用 延人数	利用料 (円)	利用 延人数	利用料 (円)	利用 延人数%	利用量%
単純撮影	14,436	37,057,291	14,599	38,608,628	98.9%	96.0%
特殊撮影	611	3,433,820	637	3,579,940	95.9%	95.9%
造影剤使用撮影	206	1,111,697	261	1,612,268	78.9%	69.0%
C T	5,662	70,817,950	5,677	71,278,570	99.7%	99.4%
MR I	3,710	54,738,154	3,722	54,684,883	99.7%	100.1%
C T・MR I 診断料 及び重複していない 人員数	8,463	37,809,900	8,604	38,424,150	98.4%	98.4%
骨塩定量	621	858,200	588	816,200	105.6%	105.1%
合計	25,246	205,827,012	25,484	209,004,639	99.1%	98.5%

6. 発表

平成 28 年 9 月 17 日 第 32 回日本診療放射線技師学会大会

平成 28 年 10 月 28 日 第 65 回日本農村医学会学区術総会

「頭部単純 CT における線量最適化と線量推定ソフトを用いた被ばく評価」

知多厚生病院 磯貝征寛

7. 人事のうごき

平成 28 年 4 月 1 日 坂井 大仁 採用

平成 29 年 3 月 31 日 中野 智高 退職

## ■ 診療協同部（臨床検査技術科）

### 【検査科の理念】

私たちは、知多南部圏の基幹病院としての機能充実のため、臨床検査部門がいかに診療支援をはたすかを絶えず追求し、信頼される検査室づくりを目指します。

### 【検査科の取組み】（【基本方針】）

- 1、人材育成の対策強化。
- 1、チーム医療への貢献。
- 1、検査精度の向上。
- 1、検査コストの削減、収益の増益。

### 【具体的な取組み】

- ・学会・研修会・の参加、学会発表することによりスキルアップを図る。
- ・院内研修（検査内）による若手指導・勉強会を毎月開催する。
- ・健診部門支援技師（超音波検査担当者）の新たな技師育成。
- ・院内感染対策への支援とレベルアップに努めます。
- ・技師レベル向上に努め、質の高い検査報告に取り組みます。
- ・内部精度管理・外部精度管理の充実を図ります。

### 【学会発表】

第 65 回全国医学検査学会（兵庫県・神戸国際会議場）

平成 28 年 9 月 1 日（木）～4 日（日）

『当院におけるアルブミン製剤の使用状況』

山本 喜之

第 65 回日本農村医学会（三重県・志摩あごアリーナ）

平成 28 年 10 月 27 日（木）～28 日（金）

『当院の人間ドックにおける抗 *Helicobacter pylori* 抗体検査の有用性』

中根 久美子・青山 晃士

日本臨床検査技師会中部圏支部第 55 回医学検査学会（石川県・ホテル金沢）

平成 28 年 12 月 10 日（土）～11 日（日）

『当院における輸血後感染症検査実施向上率への取り組み』

小出 明奈

### 【検査科稼働表】

別紙

## 【認定技師】

梅村 壽男	細胞検査士 国際細胞検査士
大岩 れい子	超音波検査士（消化器領域） 超音波検査士（循環器領域） 超音波検査士（体表臓器領域） 超音波検査士（健診領域） 超音波検査士（血管領域）
山本 喜之	緊急臨床検査士 救急検査認定技師 輸血認定技師
山下 愛	上級健康食品管理士 日本糖尿病療養指導士 超音波検査士（循環器領域）
上田 智子	輸血認定技師
中根 久美子	細胞検査士 国際細胞検査士 特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者
小出 明奈	第一種衛生管理者 緊急臨床検査士 メンタル心理カウンセラー
植田 祐介	認定心電図検査技師
杉浦 有委美	日本糖尿病療養指導士

知多厚生病院検査科稼働表

検査科実施 稼働件数		平成27年度		平成28年度	
		件数	前年対比	件数	前年対比
一般検査	尿	47,156	129.0	51,072	108.3
	便	4,114	107.9	4,323	105.1
	体液	322	66.4	488	151.6
血液検査	血液	118,115	101.2	118,566	100.4
輸血検査	輸血	2,748	89.7	3,011	109.6
臨床化学	化学1	828,032	101.7	836,899	101.1
	化学2	31,003	117.1	32,295	104.2
	血液ガス	892	76.6	1,000	112.1
	負荷試験	61	79.2	36	59.0
微生物検査	一般細菌	11,501	93.4	11,177	97.2
	微生物核酸検査		--		--
	その他	683	103.5	688	100.7
免疫検査	免疫	52,734	101.4	52,747	100.0
病理	病理組織	2,015	112.4	1,825	90.6
	細胞診	3,054	96.1	2,953	96.7
生理検査	肺機能	3,730	104.2	3,912	104.9
	心電図	7,709	104.8	7,965	103.3
	超音波	4,719	108.5	4,994	105.8
	脳波	181	174.0	181	100.0
	その他	3,434	99.5	3,609	105.1
その他	病理解剖	2	200.0	1	50.0
	採血	30,816	102.6	30,739	99.8
	輸血製剤管理	1,200	83.6	1,520	126.7
	その他	123	94.6	145	117.9
稼働件数合計		1,154,344	102.8	1,170,146	101.4

検査科実施 稼働点数		平成27年度		平成28年度	
		点数	前年対比	点数	前年対比
一般検査	尿	1,619,232	127.6	1,714,150	105.9
	便	155,453	108.1	163,605	105.2
	体液	3,431	54.9	5,349	155.9
血液検査	血液	3,008,578	104.3	3,080,986	102.4
輸血検査	輸血	144,752	86.4	167,097	115.4
臨床化学	化学1	10,964,236	102.4	10,944,452	99.8
	化学2	4,392,871	113.7	4,486,081	102.1
	血液ガス	130,232	75.5	146,130	112.2
	負荷試験	12,200	79.2	7,200	59.0
微生物検査	一般細菌	1,279,976	92.6	1,329,912	103.9
	微生物核酸検査	0	--	0	--
	その他	0	--	0	--
免疫検査	免疫	2,852,948	103.1	2,862,553	100.3
病理	病理組織	2,017,580	106.3	1,939,520	96.1
	細胞診	494,980	95.0	476,390	96.2
生理検査	肺機能	354,350	104.2	371,640	104.9
	心電図	1,160,130	97.7	1,223,720	105.5
	超音波	2,255,570	109.6	2,406,350	106.7
	脳波	127,830	96.8	133,420	104.4
	その他	566,510	99.4	594,620	105.0
その他	病理解剖	50,000	200.0	25,000	50.0
	採血	616,320	102.6	768,475	124.7
	輸血製剤管理	0	--	0	--
	その他	0	--	0	--
稼働点数合計		32,207,179	104.8	32,846,650	102.0

判断料 件数		平成27年度		平成28年度	
		件数	前年対比	件数	前年対比
検査判断料	尿・糞便等検査	10,201	106.0	10,204	100.0
	血液学的検査	30,479	101.2	30,245	99.2
	生化学的検査 (I)	30,061	102.0	29,853	99.3
	生化学的検査 (II)	9,951	108.9	9,919	99.7
	免疫学的検査	15,392	104.1	14,989	97.4
	微生物学的検査	3,753	93.6	3,057	81.5
	病理学的検査	2,286	78.8	2,019	88.3
	呼吸機能検査	316	111.3	323	102.2
	脳波検査	129	121.7	117	90.7
	神経・筋検査	35	159.1	37	105.7
検査判断総件数		102,603	102.2	100,763	98.2

その他加算 件数	平成27年度		平成28年度	
	件数	前年対比	件数	前年対比
病理診断料	1119	511.0	870	77.7
検体検査管理加算 I	39,623	101.9	38,871	98.1
検体検査管理加算IV	366	63.0	289	79.0
パルスドブラ法加算	69	119.0	97	140.6
乳幼児加算	111	81.6	72	64.9
時間外緊急院内検査加算	1,680	101.5	1,594	94.9
生化学入院時初回加算	128	121.9	101	78.9
外来迅速加算	35,245	106.5	34,965	99.2
輸血管理料 II	233	117.1	277	118.9
輸血適正使用加算	233	117.1	277	118.9
<b>合計 件数</b>	<b>78,807</b>	<b>104.9</b>	<b>77,413</b>	<b>98.2</b>

判断料 点数	検査判断料	平成27年度		平成28年度	
		点数	前年対比	点数	前年対比
	尿・糞便等検査	346,834	106.0	346,936	100.0
	血液学的検査	3,809,875	101.2	3,780,625	99.2
	生化学的検査 (I)	4,328,784	102.0	4,298,832	99.3
	生化学的検査 (II)	1,432,944	108.9	1,428,336	99.7
	免疫学的検査	2,216,448	104.1	2,158,416	97.4
	微生物学的検査	562,950	93.6	458,550	81.5
	病理学的検査	342,900	78.8	302,850	88.3
	呼吸機能検査	44,240	111.3	45,220	102.2
	脳波検査	23,220	121.7	21,060	90.7
	神経・筋検査	6,300	159.1	6,660	105.7
	<b>検査判断総点数</b>	<b>13,114,495</b>	<b>101.8</b>	<b>12,847,485</b>	<b>98.0</b>

その他加算 点数	平成27年度		平成28年度	
	点数	前年対比	点数	前年対比
病理診断料	447,600	511.0	400,950	89.6
検体検査管理加算 I	1,584,920	101.9	1,546,200	97.6
検体検査管理加算IV	183,000	63.0	144,000	78.7
パルスドブラ法加算	13,800	119.0	19,800	143.5
乳幼児加算	1,050	81.6	1,050	100.0
時間外緊急院内検査加算	184,800	101.5	318,800	172.5
生化学入院時初回加算	2,560	121.9	1,940	75.8
外来迅速加算	1,560,040	106.9	1,549,570	99.3
輸血管理料 II	53,900	224.8	60,060	111.4
輸血適正使用加算	29,400	224.8	32,760	111.4
<b>合計 点数</b>	<b>4,061,574</b>	<b>112.0</b>	<b>4,075,130</b>	<b>100.3</b>

委託件数	保険収載件数	平成27年度		平成28年度	
		件数	前年対比	件数	前年対比
	未保険収載件数	798	101.8	914	114.5
	管理料件数	0		0	
	<b>総件数</b>	<b>14,832</b>	<b>100.9</b>	<b>17,284</b>	<b>116.5</b>

委託支払額	保険項目支払小計	平成27年度		平成28年度	
		件数	前年対比	件数	前年対比
	未保険項目支払計	2,456,943	100.0	1,952,666	79.5
	管理料支払計	0		0	
	<b>総支払い額</b>	<b>16,858,391</b>	<b>70.3</b>	<b>17,428,764</b>	<b>103.4</b>

委託検査収入	総保険点数請求額	29,327,600	96.0	33,103,470	112.9
	利益差	12,469,209	189.6	15,674,706	125.7

消費額	薬品費	平成27年度		平成28年度	
		件数	前年対比	件数	前年対比
	医療材料費	4,625,110	92.0	4,919,558	106.4
	<b>薬品費材料費合計</b>	<b>72,922,220</b>	<b>100.1</b>	<b>70,177,879</b>	<b>96.2</b>

## ■ 診療協同部（リハビリテーション技術科）

### ◎主な取り組み、現状

- 1) 新たな体制への準備と実施
- 2) 各人のスキルアップ

### ◎実施件数（単位数）理学療法、作業療法、言語聴覚療法 別紙

### ◎論文発表

なし

### ◎学会発表

平成28年6月18日 セントレアホール(常滑市)

第16回知多半島栄養サポートフォーラム

演題名 「サルコペニア肥満患者に対してのチームアプローチ」

発表者 茶谷公治

平成28年10月22日～23日 長良川国際会議場（岐阜市）

第32回東海北陸理学療法学術大会

演題名 「退院2年以上経過した患者の生活実態の調査と住宅改修指導内容の効果」

発表者 栗山 碧

共同演者 森本和宏、竹内有菜

平成28年10月27日～28日 志摩市可児アリーナ（三重県）

第65回日本農村医学会学術総会

演題名 「退院前訪問指導を実施し自宅退院した患者の調査-第1報 追跡調査が行えた症例と行えなかった症例の比較」

発表者 森本和宏

共同演者 栗山 碧、竹内有菜

### ◎研究会等その他発表

平成28年6月16日 知多厚生病院

第2回南知多 Stroke Conference

演題名 「在宅に向けて協同」

発表者 森本和宏

平成28年9月28日 市立半田病院

愛知県理学療法士会知多ブロック症例検討会

演題名 「全ての予想を超えたリウマチ患者の移乗方法 私たちは諦めない」

発表者 山口あすか

平成28年11月24日 星城大学（東海市）

愛知県理学療法士会知多ブロック症例検討会

演題名 「脳幹部出血による小脳性失調症状に対してPNFアプローチを試みた症例」

発表者 瀬瀬真之介

平成29年3月26日 アイプラザ半田

PRISM 社会人研修実践発表

演題名 「歯磨きのための環境調整での気づき」

発表者 榊原実希

平成28年度実施単位数

月	外来診療日数	理学療法			作業療法			言語聴覚療法 <sup>4</sup>				訪問 <sup>2</sup>	
		外来	入院	療法士一人当たり/日	外来	入院	療法士一人当たり/日	外来	入院	摂食機能療法	療法士一人当たり/日	訪問件数	療法士一人当たり/日
4	20	567	3,465	14.4	271	2086	13.5	186	679	105	12.1	151	3.8
5	19	617	3,649	16.0	292	2230	15.3	177	806	130	14.6	147	3.9
6	22	613	4,399	16.3	312	2605	15.2	199	911	153	12.6	165	3.8
7	20	569	3,964	16.2	267	2416	15.4	212	798	97	13.8	140	3.5
8	21	600	4,090	16.0	271	2599	15.7	226	935	101	13.8	161	2.6
9	20	570	3,919	16.0	304	2284	14.9	194	859	113	14.6	147	2.5
10	20	530	4,819	18.4	299	2181	14.6	170	826	143	14.2	133	3.9
11	20	602	4,008	15.9	302	1863	12.7	180	793	166	14.2	147	4.3
12	20	538	3,559	15.2	289	2087	14.0	209	808	146	14.5	155	3.9
1	19	578	3,476	15.8	290	2240	15.7	165	894	80	15.0	148	3.9
2	20	529	3,525	15.0	326	2161	14.6	164	732	102	12.5	146	3.7
3	21	552	3,783	15.3	303	2373	15.0	232	930	73	14.7	168	4.0
総数	242	6,865	46,656	15.9	3,526	27,125	14.6	2,314	9,971	1,409	14.1	1,808	3.83
		53,521	30,651		13,694								
対前年比		1.05			1.08			1.08				0.85	
	5,788	72	2,440	2,512	370	1,921	2,291	531	689	-235	985	-308	
	一日当たり			10.4			9.5						

地域協力事業	35	35	21	
--------	----	----	----	--

- \*1 療法士一日当たり一人当たりの実施単位数は、年毎の比較のため職員の特休・有休は考慮せず、単純に外来診療日数で除した数で表す。（（外来＋入院）÷外来診療日数）
- \*2 実施単位数に影響するその他の因子は、出張、カンファレンス、時間内会議などであるが、それらは加味していない。
- \*3 地域協力事業は、主に南知多町、美浜町の事業で高齢者では介護予防関係、小児では療育支援、通園・学機関との情報交換などである。

## ■ 診療協同部（臨床工学技術科）

### 【主な取り組み】

- 1) 医療機器の保守・点検・管理を計画的に実施し、安心して医療機器が使用できる環境を整える。  
（医療機器定期点検の年間予定を作成し、保守・点検・管理を実施していく）
- 2) 医療機器の取り扱い方法、トラブル対応方法など医療機器の安全使用に繋がる勉強会を定期的に開催し医療安全向上を図る。  
（医療機器の安全使用に繋がる勉強会を計画実施していく）  
（医療機器：人工呼吸器、除細動器、輸液ポンプ、シリンジポンプ等の安全使用に関係する勉強会を計画実施していく）
- 3) 医療機器・医療材料の管理・運用方法を検討し、コスト削減に繋げる。  
（臨床工学技術科で管理している医療機器や医療材料の定数見直しを行う）  
（臨床工学技術科で管理している医療材料の安全性・機能性・使いやすさ等を検討し低価格の医療材料へ変更を提案していく）
- 4) 医師・看護師・他職種との連携を図り臨床支援業務を実施し安全で円滑な医療を行う。
- 5) 署内での臨床支援業務に関する勉強会を定期開催し、臨床工学技士の知識と技術の向上を図る。  
（臨床支援業務（循環器関連・人工呼吸器関連・血液浄化療法関連）の部署内研修会を定期開催（1回/月）する）。
- 6) エンドトキシン吸着、顆粒球吸着療法、持続緩徐式血液濾過透析、腹水濾過濃縮再静注療法、血漿交換、維持透析などの血液浄化療法を業務調整等行いながら迅速に対応する。
- 7) 維持透析患者受入れに伴う血液透析を実施していく。
- 8) 医療機器に関する医療安全情報の収集と発信を行う。

### 【学会・院外講習会・研修会】

- ① 不整脈セミナー（ペースメーカー基礎編）【参加】

平成 28 年 9 月 17 日 参加：杉浦正生

## 【院内研修会】

- ① NIPPV 勉強会  
平成 28 年 4 月 8 日
- ② 輸液ポンプ・シリンジポンプ勉強会  
平成 28 年 4 月 21 日
- ③ ネーザルハイフロー勉強会  
平成 28 年 4 月 28 日
- ④ パルスオキシメータ勉強会  
平成 28 年 5 月 30 日
- ⑤ NIPPV 勉強会  
平成 28 年 6 月 1 日
- ⑥ ネーザルハイフロー勉強会  
平成 28 年 6 月 16 日
- ⑦ 低圧持続吸引器勉強会  
平成 28 年 6 月 20 日
- ⑧ モニターの取り扱い勉強会  
平成 28 年 7 月 20 日
- ⑨ 除細動器勉強会  
平成 28 年 8 月 29 日
- ⑩ NIPPV 勉強会  
平成 28 年 11 月 29 日
- ⑪ IABP 勉強会  
平成 28 年 12 月 5 日
- ⑫ 離床センサー勉強会  
平成 28 年 12 月 20 日
- ⑬ 人工呼吸器勉強会  
平成 29 年 1 月 18 日
- ⑭ 持続緩徐式血液濾過透析  
平成 29 年 1 月 25 日
- ⑮ ベアハガーメンテナンス講習会  
平成 29 年 1 月 31 日
- ⑯ 離床センサー勉強会  
平成 29 年 2 月 3 日
- ⑰ NIPPV 勉強会  
平成 29 年 2 月 17 日
- ⑱ 保育器勉強会  
平成 29 年 2 月 3 日・10 日

## ⑭ 腹膜透析勉強会

平成 29 年 3 月 24 日

## 【血液浄化療法関連業務】

- ・ GCAP（顆粒球吸着療法）：0 回
- ・ LCAP（白血球除去療法）：0 回
- ・ PMX-DHP（エンドトキシン吸着）：0 回
- ・ CART（腹水濾過濃縮再静注療法）：4 回
- ・ CHDF（緩徐式血液濾過透析）：10 回
- ・ HD（血液透析）：23 回

## 【ペースメーカー関連業務】

- ・ ペースメーカーチェック：157 回

## 【資格取得】

- ・ ベアハガーペーシェントウォーミング モデル 750・775 メンテナンス資格取得  
(杉浦・大倉・押谷)

## ■ 診療協同部（栄養科）

### ◎主な取り組み

- ・システム更新への取り組み

電子カルテの更新にむけ食事箋、食事オーダーの見直しを行い、充実した栄養管理の実施につなげた。

- ・厨房改修工事

洗浄室が新設され、厨房内の汚染区域と非汚染区域が明確にされた。

- ・地域住民への保健活動

健康保持・増進を目的に、地域住民対象の調理実習を定期的を開催するとともに、ミニレクチャーの内容をまとめた資料を作成し説明を行なった。

### ◎実績

#### 給食数（患者食・賄食）

##### 患者食

食 種	平成 27 年度		平成 28 年度	
	食 数	比 率 (%)	食 数	比 率 (%)
常 食	35,566	19.0	35,294	18.2
軟 食	49,871	26.6	58,701	30.2
流 動 食	1,427	0.8	709	0.4
特別食 A	66,303	35.4	59,721	30.7
特別食 B	34,413	18.2	39,700	20.5
合 計	187,580	100.0	194,125	100

##### 賄 食

食 種	平成 27 年度		平成 28 年度	
	食 数	比 率 (%)	食 数	比 率 (%)
職 員 食	54,460	99.4	50,359	99.5
付 添 食	348	0.6	271	0.5
合 計	54,808	100.0	50,630	100.0

## ◆栄養指導及び相談件数

	栄養指導及び相談件数	食事指導料加算件数
外来栄養食事指導	830	780
入院栄養食事指導	354	345
集団栄養食事指導	0	0
糖尿病透析予防指導	81	108
その他の栄養相談	87	
小児科健診相談	30	
保健指導	77	
生活改善調理実習	194	

## ◆その他の加算延べ件数

栄養マネジメント加算 (件)	10,411
----------------	--------

## ■ 看護部

### ◎ 主な取り組み、現状

平成 28 年度 学会・研究会発表

- ・第 18 回 日本褥瘡学会学術集会 デュオアクティブ 30 周年記念ランチョンセミナー  
平成 28 年 9 月 3 日 パシフィコ横浜

「こんな症例に選択したいデュオアクティブ！その根拠は・・・」

近藤 貴代

- ・第 65 回日本農村医学会

平成 28 年 10 月 27.28 日 志摩市阿児アリーナ

「母親の臍処置に対する意識調査」

横山 美穂

- ・愛知県厚生連 看護研究発表会

平成 28 年 11 月 12 日 ウイルあいち

「ゴセレリン酢酸塩投与時の腹部冷却法による疼痛緩和の効果」

丹羽 恵美

- ・固定チームナーシング研究会 第 16 回中部地方会

平成 28 年 11 月 23 日 アイリス刈谷

「手術安全チェックリストの作成・活用のための取り組み」

中野 里栄

- ・愛知県看護研究学会

平成 28 年 11 月 29 日 愛知県産業労働センター（ウイंकあいち）

「入院前の ADL が自律していた患者が入院中に転倒転落に至った要因分析」

入山 奈緒美

## 【平成28年度看護部研修】

## 1. 新人看護師研修

月	日	曜日	時間	場所	研修名	講師	研修参加者		
							看護部	他部門	
4	1	金			厚生連新採用者入職オリエンテーション	厚生連			
	2	土	8:30~12:20	会議室	AM 入職者オリエンテーション	教育研修 委員会			
	4	月	8:30~17:00	会議室	入職者オリエンテーション				
	5	火	8:30~17:00	会議室	入職者オリエンテーション				
	6	水	8:30~12:20 13:10~	会議室	AM 入職者オリエンテーション 配属発表・部署のオリエンテーション / 看護部歓迎会17:15~		14		
	7	木	9:00~17:00	会議室1.2	看護部新採用者オリエンテーション		17		
	8	金	9:00~17:00	会議室1.2	安全確保の技術①②③ 医療安全対策		14	4	
	11	月	9:00~17:00	会議室1.2	感染予防技術:標準予防策・手洗い・清潔操作・針刺し防止	17	4		
	12	火	9:00~17:00	会議室1.2	症状・生体機能管理技術①⑧ 呼吸循環を整える技術①③④⑤ フィジカルアセスメント	15	4		
	13	水	9:00~17:00	会議室1.2	食事援助技術①②③ 清潔・衣生活援助技術③ 呼吸循環を整える 技術② 食事援助・口腔ケア・経管栄養	18	4		
	14	木	9:00~12:00 13:00~17:00	会議室1.2	●演習1. 環境調整①②清潔衣生活①②④⑤⑥ 活動休息①② ⑤ 排泄援助技術①	看護部	14		
	15	金	9:00~12:00 13:00~14:00	会議室1.2	与薬の技術① 経口薬・外用薬・直腸内与薬 13:00~処方箋注射箋の見方 14:00~各部署		14		
	18	月	9:00~17:00	会議室1.2 感染病床	排泄援助技術②③④⑤ 排便・導尿・浣腸・摘便 活動休息援助技術②③⑤ 安全安楽体位変換		14	4	
	19	火	9:00~17:00	会議室1.2	与薬の技術②③④⑤症状・生体機能管理技術③④⑤ 静脈血採血・点滴・皮下・筋肉・皮内注射・輸液ポンプ・シリンジ		14		
	21	木	9:00~17:00	会議室1.2 15~感染病床	与薬の技術⑧症状・生体機能管理技術⑥ インスリン製剤・血糖測定 感染病床症状・生体機能管理技術⑦ 心電図モニター・12誘導装着		14	4	
	22	金	9:00~17:00	会議室2.3	●演習2. 看護実践研修 苦痛の緩和・安全確保の技術①②③④ 死後のケア①		14		
	28	木	10:30~	医療情報室	電子カルテ取り扱い/部署	医療情報	2		
	5	2	月	9:00~17:00	会議室1.2	創傷管理技術①②③ 褥瘡対策 ●演習3. 看護実践研修	看護部	14	4
9		月	10:30~	医療情報室	電子カルテ取り扱い/部署	医療情報	12		
10		火	10:30~	医療情報室	電子カルテ取り扱い/部署				
11		水	9:00~17:00	会議室1.2	電子カルテの活用・看護過程の展開		14		
16		月	9:00~17:00	会議室1.2	救命救急処置技術①②③④⑤⑥⑦ 呼吸・循環を整える技術⑥ BLS/救急カートの管理/人工呼吸器取り扱い		14	2	
17		火	13:00~17:00	会議室1.2	与薬の技術⑥⑦ 薬剤の管理② 抗菌剤・輸血準備観察 与薬の技術⑨⑩/薬剤の管理① 薬剤の取り扱い劇薬・毒薬・麻薬		14		
6	9	木	13:00~17:00	会議室1.2	●演習4. 抗がん剤暴露予防/看護実践研修	看護部	13		
	23	木	14:00~17:00		看護用品・医療機器の適切な管理		14		
7	14	木	14:00~17:00	会議室1.2	●フォローアップ研修1. 医療安全KYT		14		
	26	火	14:00~17:00	会議室1.2	●フォローアップ研修2. 採血・血管確保・輸液シリンジポンプ		14		
8	16	火	14:00~17:00	会議室1.2	●退院支援について		14		
9	15	木	15:00~17:00	セミナー1	●RUNRUN会		14		
2	16	木	15:00~17:00	セミナー1	●事例を通して看護を振り返る(発表会) RUNRUN会		21		
合計								353	30

## 2. ラダーレベルⅠ研修

月	日	曜日	時間	研修名	講師	研修参加者	
5	19	木	10:00~12:00	看護過程	看護部	16	
			13:00~15:00	感染対策		16	
			15:00~17:00	メンバーシップ		15	
7	5	火	10:00~12:00	医療安全		16	
			13:00~15:00	看護倫理		18	
9	8	木	10:00~12:00	患者急変 挿管時の対応			17
1	19	木	15:00~17:00	事例を通して看護倫理を考える(発表)			22
					合計	120	

## 3. ラダーレベルⅡ研修

月	日	曜日	時間	研修名	講師	研修参加者
5	26	木	10:00~12:00	コミュニケーション	看護部	8
			13:00~15:00	医療安全		8
			15:00~17:00	リーダーシップ		8
6	16	木	10:00~12:00	患者急変 挿管時の対応		10
			13:00~15:00	感染対策		9
7	19	火	10:00~12:00	看護過程		10
			13:00~15:00	人材育成		9
			15:00~17:00	看護倫理	9	
8	25	木	15:00~17:00	看護研究	外部講師	14
					合計	85

## 4. ラダーレベルⅢ研修

月	日	曜日	時間	研修名	講師	研修参加者
8	23	火	13:00~15:00	人材育成	看護部	7
			15:00~17:00	コーチング		7
	31	水	10:00~12:00	看護研究	外部講師	10
11	4	金	13:00~15:00	クリティカルシンキング(本部)	看護部	5
			15:00~17:00	看護管理		8
12	5	月	15:00~17:00	医療安全 事故防止取り組み事例報告		10
					合計	47

## 4. ラダーレベルⅣ研修

月	日	曜日	時間	研修名	講師	研修参加者
8	30	火	13:00~16:30	看護管理(ラダー2年目:本部)	田上部長	2
9	14	水	13:00~16:30	クリティーク(ラダー1年目:本部)	外部講師	1
					合計	3

## 5. 他研修

月	日	曜日	時間	研修名	講師	研修参加者
6	22	水	17:30~19:00	看護必要度学習会	外部講師	50
7	24	日	9:00~13:00	看護研究発表会	外部講師	76
7	29	金	17:30~18:30	看護クリバス学習会	小森医師	18(他16)
6	15	水	16:30~17:30	WLB 第2回chi-café「看護業務のスタイルを変えよう」	看護部	18
7	22	金	16:30~17:30	WLB 第3回chi-café「腰痛体操講座」		22
9	20	火	16:00~17:00	実施指導者・フォローアップ研修会		18
10	31	月	17:30~19:00	看護必要度学習会		43
11	16	水	16:30~17:30	WLB 第4回chi-café「病棟・外来連携強化」		18
12	6	火	17:15~18:30	第1回 固定チーム学習会		36
12	19	月	16:30~17:30	WLB学習会「取り組み報告」		外部講師
12	21	水	16:00~17:00	課長・係長研修 効果的なプレゼンテーション	看護部	27
2	21	火	15:30~17:00	実施指導者・フォローアップ研修会「まとめ課題報告」		20
3	2	木	16:00~17:00	次年度実地指導者・チューター担当者研修		23
			16:30~18:30	課長・係長成果報告会		30
			17:15~18:30	第2回 固定チーム学習会		33
	10	月	16:00~17:00	次年度臨地実習指導者担当者研修		14
					合計	498

## 6. 介護ラダーⅡ研修

月	日	曜日	時間	研修名	講師	研修参加者
5	26	木	10:00~12:00	コミュニケーション	看護部	4
7	5	火	10:00~12:00	医療安全対策		4
9	9	金	13:30~14:30	介護計画		5
			14:40~15:40	排泄ケア		5
			15:50~16:50	清潔ケア		5
	28	水	13:30~14:30	レクリエーション企画		5
			14:40~15:40	教育 後輩育成		5
						合計

## 平成 28 年度 院内看護研究

発表：平成 29 年 7 月 15 日（土） 時間 13：30～16：40

受付：13：00～

場所：会議室 1～3

講師：日本福祉大学 看護学部看護学科 学部長 教授 山口桂子先生

### 【 口演 1 群 座長：入山係長 13：30 ～ 14：30 】

時間	発表者	演題	評価者
13：30 ～13：45	2 階病棟 戸嶋千栄美	内科病棟におけるスキンケアの現状把握	3 階病棟 岡崎美紗
13：45 ～14：00	6 階病棟 中村真子	非侵襲的陽圧換気療法（NIPPV）による医療関連機器圧迫創傷に対する看護師の実態調査～褥瘡マニュアルの活用状況と比較して～	2 階病棟 石原礼美
14：00 ～14：15	4 階病棟 相川由里恵	腓骨神経麻痺の予防 ～看護師の意識調査・看護の現場を知る～	手術室 内田リサ
14：15 ～14：30	手術室 中野里栄	A 病院における腹腔鏡下結腸手術の体位固定方法について ～腕神経叢肩鎖関節部にかかる圧力測定と分析より～	4 階病棟 山下幸枝

### 【 口演 2 群 座長：横山係長 14：30～ 15：25 】

時間	発表者	演題	評価者
14：30 ～14：45	3 階病棟 岩浪由香	回復期リハビリテーション病棟の患者に関わる看護師、他職種の手指衛生の意識・実態について～手指衛生の知識と方法の現状把握～	5 階病棟 山下有香
14：45 ～15：00	5 階病棟 大和優子	療養病棟の看取りの体験に関するスタッフの思いの調査	外来 吉田健一
15：00 ～15：15	外来 石川明美	大腸内視鏡検査前処置に対する病棟看護師の実態調査	6 階病棟 榊原里奈 石原三沙子
15：15 ～15：25	訪問看護 畑中智子	途中経過報告	

### 【 休憩 ： 15：25～15：35 】

### 【 講評 ： 山口桂子先生 15：35～16：35 】

\*発表時間：7分、評価3分、質疑応答5分

看護部看護研究委員会

## 看護部門【平成28年度看護部目標】

### 1. 個々の看護実践能力を高める

- ① 対象のニーズをとらえ対応する ② 適切なケアを実践する ③ チーム医療の要となり行動する

#### 看護部目標評価

- ・ナーシングスキルの活用に向けて見直し修正を毎月実施できた。その結果アクセス数12,167件と上昇した。4F：2,701件 2F：2,684件 6F：1,949件  
手術室：1,396件と新人看護師配置部署が上位であった。
- ・部署で作成しているマニュアルからナーシングスキルに移行できる項目の抽出と検討を行った。外来はテストの進捗状況をスタッフルームにグラフで掲示し、個々がテスト後にシールを貼っていくことで見える化できた。病棟は6月中旬から課題設定を行い翌月からのアクセス数が増加した。手術室の新人2名はチェックリスト・教育計画をチューターと現任担当者を中心に以前のものを確認しながら修正し活用した。新人の目標であった7月夜勤導入、1月待機導入へ計画通りに行えた。
- ・看護の質評価は、DINQL データを活用して2年目となり、全病棟、昨年と比較して目標管理に活かしている。転倒転落発生率は3F病棟（回復期リハビリテーション病棟）の発生率5.2%が最も高い。DINQL 中央値平均値より発生率が高い病棟が2病棟から4病棟に増えた。75歳以上の入院患者割合はリハビリ病棟と療養病棟の患者割合が高く70%以上を占めた。
- ・療養支援シートの書式の変更により、他職種と定期的なリスクアセスメントの実施とベッド周囲環境の情報共有の徹底が継続できた。
- ・離床センサーの中央管理（ME）により使用可能なセンサーが把握できるようになった。
- ・褥瘡は全体的に90%以上改善している。褥瘡推定発生率は中央値より低いが、研修参加率が低い病棟の発生率が高くなっている。全病棟で研修参加率は50%以上、褥瘡推定発生率は1%以下を維持できた。
- ・今年度は看護記録委員会の中に看護必要度委員会を立ち上げた。4月1日から内容変更となったため6月と10月に勉強会開催した。電子カルテ更新に伴う整備を継続して行った。
- ・訪問看護師を交えての退院前カンファレンスを実施することができた。しかし実施回数が少いたため必要な看護サマリーが遅れたこともありスムーズな移行ができなかった。
- ・超緊急帝王切開訓練について第5回を開催した。毎年訓練の成果が現れていたのが手術出しまでの時間が短縮できたことである。課題として出棟まで17分間待機時間がありその時間の使い方と、搬送先に到着する前に娩出された新生児蘇生の実践力を身につける必要性が明確となった。
- ・産後ケア入院の概要を企画室、助産師で確認した。他院の情報を収集し当院の運用の詳細を検討している。入院費について医事課と詳細を検討中である。

## 2. WLBを実現し働き続けられる職場づくり

### ① 職務満足度を高める ② 職場環境の改善に取り組む ③ 看護業務の効率化を図る

#### 看護部目標評価

- ・職務満足度調査結果は厚生連病院平均より3ポイント以上高い項目数が13項目と増加した(平成27年度6項目)。
- ・WLBワークショップ事業3年間(H26年度～H28年度)取り組むことができた。H28.6月から理学療法士が新メンバーとなり、「看護師が健康で働き続けるために」をテーマに腰痛体操の推進を実施した。アンケート結果より看護師の55%が腰痛症であることが解った。WLB委員会主催で腰痛体操講座を開催した。
- ・WLBニュース(第1号～第6号)を発行することで全部門に看護部の取り組みを知ってもらうことができた。男性看護師の育児休暇1ヶ月の報告など、子育ての様子がわかり好印象であった。他部門の男性職員から育児休暇をとってみたいなど、ニュースを読んだ後の反応が感想があった。WLBニュースは活動の見える化として重要な役割であった。
- ・INDEX調査3年目の結果(1年目から比較した評価)は、①現在の働き方に満足している(9.1%増加) ②看護職員を大切にす組織である(34.5%増加) ③自分の能力を活かせる仕事である(17.5%増加) ④今の勤務先にできるだけ長く努めたい(0.6%減少) ⑤今の勤務先の将来に不安はない(5.3%減少)であった。
- ・有給休暇9.74日(10目標)、バースデイ休暇98%取得であった。
- ・正規職員の離職率は8.7%で昨年度より2.0%上昇したが、結婚に伴う転居が最も多く5名であった。厚生連病院への転勤者も2名いた。
- ・外来勤務体制の変更(当直→夜勤)を平成28年7月から試行開始できた。身体的負担(年配の看護師が多い)、夜間救急搬送が増加傾向にあり、救急状況次第では休息ができない現状であった。当直2名で夜間看護管理者は実働者であり、夜間病棟急変時の対応など管理者の役割は担えない現状があった。救急外来の夜勤体制について3月の看護部方針で試行段階ではあるが継続していくことを説明した。日勤要員不足は今後の課題でもあるが、夜間の病棟応援が可能となり食事介助・おむつ交換など看護業務ができていくことを説明した。病棟スタッフからは外来からの応援者の言葉が聞こえるようになった。夜勤体制にして外来スタッフの離職は0名であった。
- ・保育所の協力拡大 ①夜勤明けの特別保育が15時まで可能 ②学童保育の受け入れ拡大(小学校3年生→6年生まで) ③土日、祝日の日勤者の一時預かり

### 3. 病院経営に積極的に参画する

- ① 救急医療の連携を強化する（断らない救急体制） ② 5S活動を推進する

#### 看護部目標評価

- ・救急外来業務に関連する学習会開催した。①看護師による学習会：BLS、トリアージ、鼻出血、NST装着、エンゼルケアについて ②医師による学習会：循環器救急疾患、高エネルギー外傷・急性腹症、緊急治療を要する消化器疾患
- ・平成28年度診療報酬改訂の影響で看護必要度基準を満たす割合（25%以上）を朝のベッドコントロールにて調整した。A・B・C項目を正確に入力し患者の状態を適切に把握した。評価では救急外来からの入院2日間の意識が低かった。看護必要度25%以下が続いた月には病床運営委員会で円滑な入院受け入れを行うために企画室・医事課・地域連携室（MSW）と連携し定例会議以外に緊急会議も開催し今年度はすべての月で25%以上となった。
- ・7対1看護配置基準はH29年1月が▲0.5であったが単月のみであった。
- ・5S活動は看護係長中心にノートパソコンに焦点を当てた活動とした。清潔不潔の区別、個人情報保護、整理整頓の方法など一元化したマニュアルを作成した。内容は「ノートパソコン使用に関する心得」として見える化した。
- ・5S活動の躰の評価として患者満足度調査結果を参考にした。看護師の対応は概ね満足度が高かったが、ナースコールの対応は低い評価を受けた。意見箱の対応は、部署が明確であれば直ちにスタッフ全員に周知し、当該看護課長は患者家族に対応しスタッフの指導に繋げることができた。全体に伝える内容であれば看護課長会議で情報共有した。今後も専門職としての教育を重ねマグネットホスピタルを目指していく。

## ■ 医療安全管理部

### ◎主な取り組み

- ・ 医療安全報告の分析（量的・質的）
- ・ 医療安全カンファレンスによるP D C Aサイクル
- ・ リスクパトロールによる医療安全対策実施後の評価、潜在リスクの把握
- ・ 部署内K Y Tの実施

### ◎職員への教育研修の実施

- ・ 前期医療安全全体研修会：平成28年7月21日・7月28日 参加者230人  
当院における事例発表、医薬品安全使用講習、医用機器安全使用講習
- ・ 後期医療安全全体研修会：平成29年1月19日・1月30日 参加者249人  
ヒューマンエラーと医療安全 転倒転落対策セミナー
- ・ 看護部クリニカルラダー研修：計5回

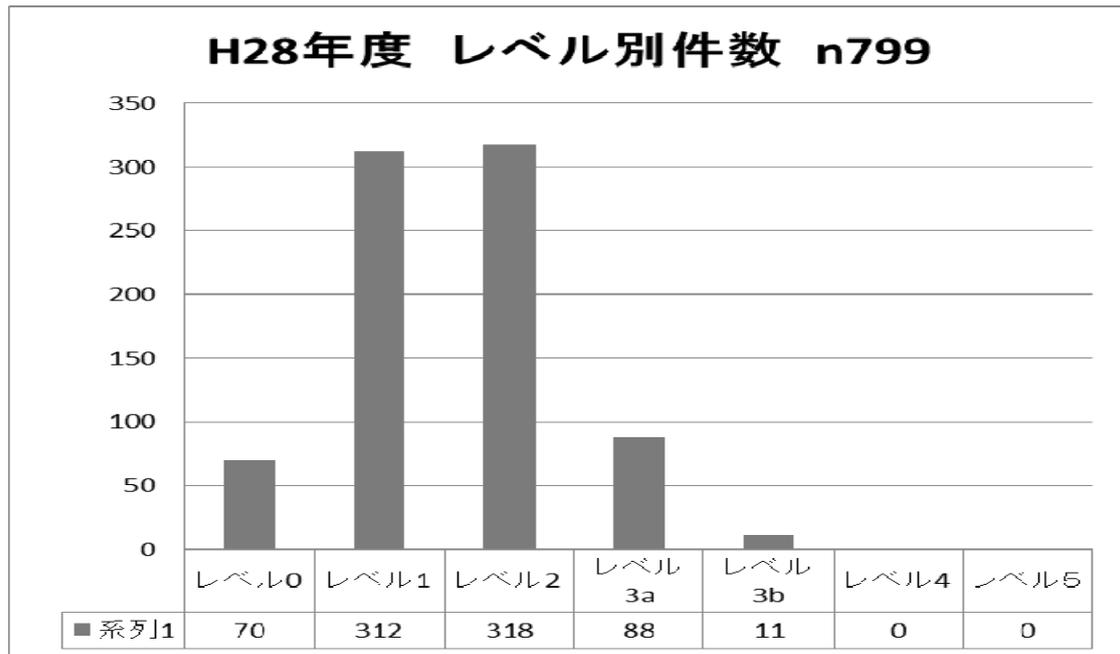
### ◎医療安全に関するマニュアル等の改正

- ・ 医療安全管理指針
- ・ 医療安全対策マニュアル
- ・ 医療事故対応マニュアル

### ◎医療安全報告書

平成28年度の医療安全報告は799件であった。発生場面では、療養上の世話が334件で最も多く、次いで薬剤が269件であった。

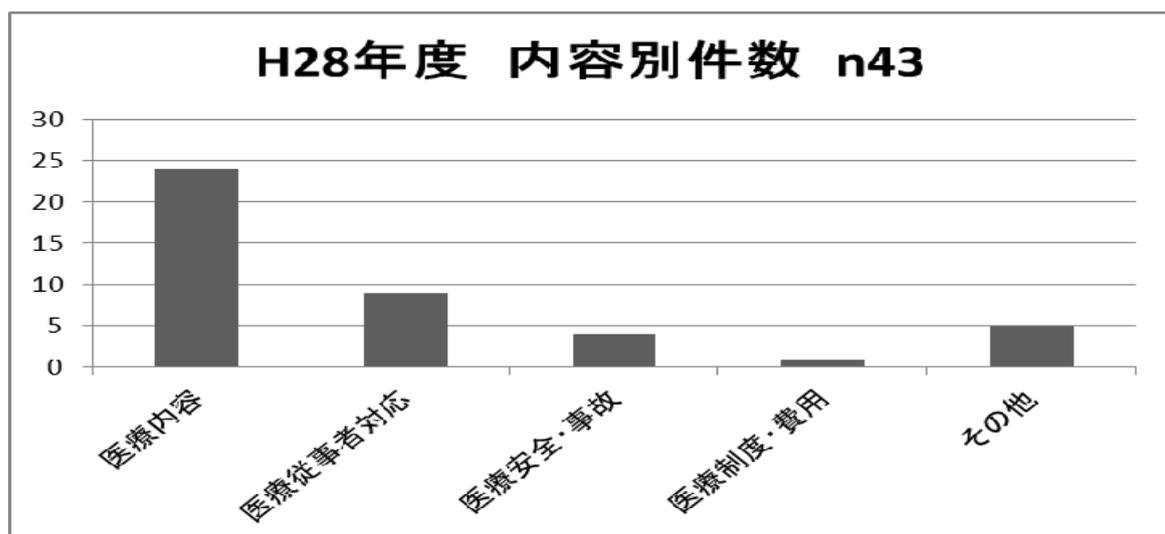
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
28年度	67	79	64	66	60	58	71	65	73	79	50	67	799
27年度	67	60	73	67	57	49	54	53	70	52	57	54	713



◎苦情、相談報告書

平成28年度の苦情相談件数は43件であった。その内、医療安全管理者による面談は11件、電話対応は6件であった。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
28年度	2	3	6	3	8	2	2	4	2	7	2	2	43
27年度	7	8	8	5	0	3	5	6	1	11	5	4	63



◎重大事故、紛争

損害賠償請求事案3件

平成27年10月1日より医療事故調査制度が施行になり、「医療に起因し、また

は起因すると思われる死亡、死産」で管理者が予期しなかった事例について、「院内事故調査制度を行い、遺族に説明をし、医療事故調査・支援センターに報告する」と厚労省より定められた。これを受け、医師からの報告書の提出と全死亡患者のカルテ検証と内容一覧作成を開始した。医療事故調査制度の対象となる報告はなかった。

◎その他

電子カルテの更新と共に、インシデント管理システムが導入された。

## ■ 感染制御部

### 主な取り組み

- 1) 関係機関・地域の医療機関との連携の強化
  - 知多半島医療圏感染対策連携会議へ参加
    - 第1回 平成28年5月18日
    - 第2回 平成28年8月17日
    - 第3回 平成28年11月16日
    - 第4回 平成29年2月15日
  - 南知多病院と連携カンファレンスの実施
    - 第1回：平成28年10月11日 場所：みどりの風南知多病院  
MRASと緑膿菌の検出増加について  
南知多病院職員が針刺しをした場合の受診について確認  
院内ラウンド
    - 第2回：平成28年11月11日 場所：知多厚生病院  
疥癬について  
院内ラウンド
  - 相互ラウンドの実施
    - 平成28年11月7日 公立西知多総合病院 ICTが当院をラウンド
    - 平成28年11月30日 公立西知多総合病院をラウンド
  - 新型インフルエンザ等模擬患者の引き渡し訓練の実施
    - 平成29年1月17日 知多保健所との合同訓練
    - 平成29年2月17日 中部空港検疫所との合同訓練
- 2) インフルエンザ・感染性胃腸炎予防策の実施
  - 平成28年12月14日から 注意喚起用のポスターの掲示を開始
- 3) 研修会開催
  - 平成27年6月15日、30日 テーマ「手洗いの徹底」参加者255名（参加率70%）
  - 平成28年12月21日、1月6日 テーマ「ノロウイルス対策とインフルエンザ対策について」参加者249名（参加率70%）
- 4) 患者や市民への啓発活動
  - 平成28年6月10日 大地の丘で感染症研修会を実施
  - 平成28年10月21日 大地の丘で感染症研修会を実施
  - 平成28年12月16日 生活改善センターのミニレクチャー
- 5) 感染管理機能の強化
  - ・ 環境ラウンドの実施
  - ・ 持続点滴由来血流感染、SSI、細菌検査部門、手指消毒各サーベランスの実施
  - ・ 感染管理支援システム BACT Web の導入（平成28年3月21日）
- 6) 感染防止物品の見直し
  - ・ 末梢点滴由来の血流感染予防策としてシュアプラグ、三方活栓の変更。

### ◎学会発表等

- 平成28年6月21日 第5回日本感染管理ネットワーク学術集会  
テーマ「末梢静脈カテーテル管理の実態調査」 仮屋小百合
- 平成28年9月17日 第26回日本医療薬学会  
テーマ「偽膜性腸炎患者にVCM漸減療法が奏功した一症例」 久田瑛吉

## ■ 事務部（企画課）

### 1. 主な取り組み

#### 1) 診療報酬改定に伴う病床再編の検討

- ・平成28年度の診療報酬改定により7対1看護基準の医療看護必要度が厳格化された。これにより7対1看護基準の維持に向けて病床運営管理委員会にて病床再編（地域包括ケア病棟の開設）も視野に入れ検討を行った。
- ・検討の結果、現状の病床機能を維持することを決定した。

#### 2) 次年度事業計画の策定

- ・各部門と次年度の事業計画についてヒアリングを行い、情報収集に努めた。また診療科の収益については各診療科代表部長と上半期実績をもとにヒアリングを行い、次年度予算を作成した。

#### 3) 産業まつりへの参加

- ・美浜町産業まつりはもとより、平成26年度よりJA健康推進活動の一環として参加した武豊町産業まつりへ継続し参加した。
- ・美浜町・武豊町産業まつりでは骨密度測定、血糖測定、健康相談などを催し、地域住民の健康への意識醸成を図った。

#### 4) 認知症サポートチームの活動支援

- ・平成26年度に愛知県の「認知症対応力向上事業」に取り組み、今年度についても毎月検討会を開催し、認知症サポートチームの活動の充実に寄与した。
- ・平成28年度診療報酬改定により新たに新設された「認知症ケア加算2」の取得に向け検討会で情報提供し、平成28年11月より加算取得できた。

#### 5) 人間ドック機能評価受審への準備

- ・平成29年4月の人間ドック機能評価受審に向けて保健事業部と協力し調査票などの作成を行った。
- ・受審による業務改善効果を院内の業務改善報告会にて発表した。

#### 6) その他

##### ・広報委員会

病院広報誌「知ったより」を年4回、院内広報誌の「ちっタイムズ」について新入職員を紹介する特別号を含め年3回発刊した。また、平成27年度年報を発刊した。

##### ・業務検討委員会

各グループの業務改善活動を報告する「業務改善報告会」の効率的な運営について、グループ割から発表頻度など様々な観点から検討し変更を実施した。

- ・病院機能評価の更新（平成29年6月期限）について協議し、更新しないことを決定した。これに伴い医療の質を維持するための院内チェック体制の構築について検討した。

- ・ 経営管理  
月次ごとに収支分析を行い、企画・運営会議などを通じて職員へ経営状況について情報発信した。
- ・ 認知症相談外来（メモリークリニック）の開設に向けた体制整備について検討した。（平成29年4月より開設）

## ■ 事務部（医事課）

### 1. 主な取り組み

#### 1) 査定・返戻件数減少への取り組み

- ・入院担当者全員と外来担当者の代表にて、全ての査定理由を洗い出し情報を共有し対策を提案する取り組みを1年間継続した。お互い任せきりにならず協力し合うことで査定件数、返戻件数の減少に努めた。
- ・アクセスやべてらん君でのチェック方法を見直し、システムチェックを強化した。

#### 2) 電子カルテシステム更新への対応

- ・電子カルテシステム更新に伴い、医事システムの更新も行われた。会計、請求に関係する部署の部門システムと医事システムをスムーズに連動させるための提案を行い、正確でカルテとの整合性の取れた患者請求に繋げた。

## ■ 事務部（総務課）

### 1. 主な取り組み

- 1) 当院の方向性並びに収支状況を踏まえて、各部署とのヒアリングを実施し、必要な人員を把握するとともに、要員計画への反映と同計画に基づく要員確保に努めた。
- 2) 要員不足が慢性化する職種については、積極的に学校訪問等を行い要員確保に繋がった。
- 3) ストレスチェック制度の円滑な導入を目指し、制度概要とともに制度の積極的活用を促すための職員周知を行った。
- 4) 患者満足度の向上を図るため外来及び入院患者アンケートを実施し、院内環境の改善に努めた。
- 5) 職員の接遇向上を目指し、接遇研修会を開催するとともに、新採用者等を対象とした各種オリエンテーションを実施するなど、職員教育の充実に努めた。
- 6) 保育所における預け入れ児の増加と夜間・休日保育の充実を図るため、保育職員を確保するとともに、各種研修会等へ参加し、保育の質向上を図った。

## ■ 事務部（施設課）

### 1. 主な取り組み

#### 1) 災害拠点病院災害連携訓練の開催

美浜町と連携し知多厚生病院地域災害連携訓練を開催した。美浜町細目区（細目公会堂）に設置した救護所からの搬送訓練を実施した。また、訓練開催前に全体の流れを把握するためにエマルゴトレインシステムを利用した机上訓練を開催した。

#### 2) 看護師住宅の切り替え

看護師住宅の賃貸借契約満了（9月末）に向け、厚生連本部および経済連と連携を密にし、新規に看護師住宅の確保を行なった。また入居者には新看護師寮への引っ越し等の調整を行ない、看護師住宅の切り替えを行なった。

#### 3) 医師住宅整備

厚生連が所有する医師住宅2棟のうち1棟は耐震基準を満たしておらず、老朽化も著しかったため、解体工事を行ない、跡地を職員駐車場とする整備工事を行なった。

#### 4) 厨房改修工事の実施

平成21年度の衛生監視にて厨房内の清潔・不潔エリアのゾーニング化を指摘されていたが、28年度に予算を確保し実施した。改修工事の際、厨房は365日稼働しているため、栄養科と連携し、給食業務に影響が出ないように工事工程を調整した。また、医療法による申請手続き等も半田保健所と連携を密にし、予定通りに工事を完工した。

#### 5) 費用削減に向けた取り組み

LED電球への交換を行ない、使用電力量の削減および契約電力の削減を行なった。各種契約書の価格交渉を行ない、保守費用、器機賃借料等の費用削減を行なった。

## ■ 医療情報部

### 主な取り組み

- 1) 電子カルテシステム更新に向けて活動。
- 2) 医療情報システムの安定稼働に努めた。
- 3) トナーのリサイクル品使用による費用削減。
- 4) 医療情報システム更新に向け、機能と費用のバランス検討。
- 5) 診療記録の質向上のため、点検項目見直しによる点検の強化。
- 6) 警察等からの依頼で検体を提供する場合の同意書運用検討。
- 7) 平成 20、21 年の紙カルテとフィルム等の廃棄計画作成

### ■業績目録

#### ◎主な機能追加

項 目	機 能 詳 細	月
Windows10 へのアップグレード	インターネット端末を Windows10 へアップグレード。	5月
薬剤禁忌拡張コメント機能	薬剤禁忌情報を患者基本に登録することでチェック機能の追加。	8月
スキャナ取込時の項目追加	スキャナ取込時に、文書中分類：その他（文書大分類：同意書）	8月
ID-Link へのカルテ文書の公開	ID-Link で「主治医意見書」を参照できるようにした。	9月
電子カルテシステム更新	電子カルテシステムの更新を行った。	3月

#### ◆平成 28 年度の活動要約

医療情報システムの障害対応や機能強化を随時行った。

平成 29 年 3 月の電子カルテシステム更新に向けて活動を行い、WG（ワーキンググループ）を随時開催し、各部署の新システムへの要望検討やフィードバック、新機能説明等を実施した。また、院内全体の職員の協力を得て電子カルテリハーサルを行うなど、計画的に準備を進めることにより予定通りの期間内で更新することができた。

## ■ 保健事業部

### 主な取り組み

#### ・健康管理活動

人間ドック	月～金・土（第1・3）
生活習慣病予防検診	月～金・土（第1・3）
特定健診	月～金・土（第1・3）
各種検診	月～金・土（第1・3）
乳がん・子宮がん 集団検診	5月～ 午前枠実施開始 8月～ 午前、午後枠開始2月まで
（内訳）	
市町村	月・木
J A組合員	月
特定保健指導	月～金・土（第1・3）
胃がん検診（南知多町個別検診）	8月～12月 月～金・土（第1・3）

#### ・地域健康推進活動

##### J Aメンタルヘルス研修講師派遣

11月9日（水）午前、午後  
対象：支店長級、中堅職員  
保健師1名、産業看護師1名

##### J A共済健康管理集団保養活動派遣

看護師又は保健師同行 8回

5月10日、6月28日、8月30日、10月25日、12月13日  
平成29年1月24日、2月14日、3月7日

##### 美浜産業まつり出展（J Aあいち知多美浜事業部 支援事業）協力

美浜町産業まつり 平成28年11月13日（日）

- ・骨密度測定（1台）： 150名/日
- ・血糖測定： 120名/日
- ・医師による健康相談： 57名/日
- ・栄養士による生活習慣相談： 64名/日
- ・ロコモバランスチェック（名古屋市立大学病院学生）： 54名/日
- ・乳腺触診体験、パネル展示「乳がんについて」
- ・睡眠時無呼吸（SAS）DVD放映「いびきのサイン見逃していませんか」

- ・パネル展示、ミニレクチャー紹介

武豊町産業まつり 平成28年11月12(土)・13日(日)

- ・骨密度測定(1台) : 353名/2日
- ・血糖測定 : 182名/1日
- ・眼圧測定 : 111名/1日
- ・医師による健康相談 医師: 31名/2日
- ・栄養士による生活習慣病相談: 45名/1日
- ・認知症チェック: 40名/1日
- ・乳がん触診体験、パネル展示「乳がんについて」
- ・病院紹介 睡眠時無呼吸(SAS)DVD放映  
「いびきのサイン見逃していませんか」
- ・パネル展示、ミニレクチャー紹介

## ■業績目録

### ◎学会発表

演題名・発表者・共同演者名・学会名・日時

#### 【発表】

平成28年7月 28日～ 29日 長野県松本市

第57回日本人間ドック学会学術大会

演題名 「人間ドックの腹部エコー、胸部レントゲンで異常がなく、7ヶ月後に肝転移  
肺転移で発見されたヘビースモーカー男性の一肺癌例」

発表者 丹村敏則

#### 【発表】

平成28年10月27日～28日 三重県志摩市

農村医学会

演題名 「当院の人間ドックにおける抗 Helicobacter pylori 抗体検査の有用性」

発表者 青山晃士

## ■ 地域医療福祉連携部

### 【概要】

平成 26 年 4 月に地域医療部門（病診連携室・医療福祉相談室）と老人福祉事業部門（居宅介護支援事業所・南部知多訪問看護ステーション）が統合され、地域医療福祉連携部（地域連携課・介護管理課・医療福祉相談課・居宅介護支援事業所・訪問看護ステーション）となった。

### 主な取組み

1. 副院長をはじめとする医師や医療情報部と美浜町・南知多町・武豊町の医療機関と施設延べ 20 件（実医療機関数 15 件、実施設数 3 件）の訪問を行い、連携強化に努めた。
2. 紹介患者の報告書を早期に返書することで開業医との連携強化を図った。
3. 病棟配置 MSW による退院困難患者抽出の仕組みを整備し運用した。
4. 病棟配置 MSW と退院調整担当者が各病棟の退院検討会に参加し、病棟全体のスムーズな退院支援に貢献した。
5. 丁寧な相談支援に努め、適切な時期に適切な療養先への移行を調整することで、7 対 1 入院基本料の維持に貢献した。
6. 関係職種とのカンファレンスやケース検討を重ね、在宅療養へのシームレスな連携を図った。
7. ケアマネジャー向けの医療講座を 2 ヶ月に 1 回企画し開催した。

回数	月日	テーマ	講師担当者
1	6/13 (月)	糖尿病と関連する歩行障害 (動脈硬化・末梢循環障害・ロコモ・ サルコペニア・フレイルムなど)	副院長兼保健事業部長兼内分泌代謝科部長 : 丹村敏則
		フットケア (巻き爪・水虫・むくみの対処法)	糖尿病療養指導士 : 福永絵美子
2	8/8 (月)	褥瘡予防 (マットの選択) ストーマの理解	皮膚・排泄ケア認定看護師 : 宮本昌子
3	10/11 (火)	胃瘻・腸瘻の適応 栄養剤の種類 (半固形剤)	第 1 診療部長兼外科代表部長 : 村元雅之
4	12/12 (月)	肺気腫と在宅酸素療法	第 2 診療部長兼循環器内科部長 : 富本茂裕
		呼吸リハビリ	理学療法士 : 大橋 朗
5	2/13 (月)	認知症 高齢者の意思決定	医療情報部長兼脳血管内治療部長 : 中塚雅雄

8. 住民教育を目的に住民公開講座を2回開催した。

第8回 平成28年7月2日(土) 講師：大口怜央

テーマ：『骨粗鬆症治療の重要性 ～寝たきり予防のために～』

第9回 平成28年12月17日(土) 講師：宮本忠壽

テーマ：『ピロリ菌と胃の病気』

『これからの医療と介護を考える～地域包括ケアシステムについて～』

9. 美浜町の包括ケア会議や南知多町の地域ケア会議等に参加し、地域包括ケアシステム構築に必要な連携課題や社会資源の提示をした。

◆地域連携課・介護管理課

◎職員配置

事務3名(うち1名兼務)、看護師2名(兼務)

◎主な業務内容

1. 紹介患者の診察・各種検査依頼の予約調整
2. 報告書・診療情報提供書の管理
3. 医療機関・事業所からの各種照会の管理
4. 一般床への転院相談

◎紹介実績(別資料)

◆医療福祉相談課

◎職員配置

ソーシャルワーカー6名

◎平成28年度 患者サポート体制相談窓口 相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
28年度	9	8	9	7	6	9	4	6	4	11	7	8	88
27年度	8	10	9	12	12	8	7	11	3	6	2	0	88

◎相談支援延べ件数(退院支援カンファレンス含む)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
28年度	658	924	1144	997	1163	1080	1058	1043	985	887	963	1073	12275
27年度	1041	1069	1076	901	1031	919	1052	936	859	824	983	986	11889

◎退院支援加算算定件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
28年度	15	11	14	20	27	30	33	30	44	17	26	45	312
27年度	10	6	13	13	12	9	15	8	6	12	16	11	131

◎介護支援連携指導料算定件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
28年度	23	13	29	26	21	18	25	31	22	25	28	31	292
27年度	17	18	21	24	23	21	18	18	20	6	17	31	234

◎国土交通省短期入院利用人数

実人数 : 2名

延べ人数 : 5名

◎実習生・学生受け入れ

内容	大学・学年・人数	日程
フィールドワーク対応	日本福祉大学 3年生(山口ゼミ) 2名	平成28年 6月 29日
社会福祉実習	中部学院大学 人間福祉学部 4年生 1名	平成28年 7月 1日～8日
医療福祉実習	日本福祉大学 社会福祉学部 4年生 1名	平成28年 8月 25日～9月 9日
病院見学	日本福祉大学 3年生(藤井ゼミ) 14名	平成28年 12月 22日

◎

会義・出張等の件数

会議・出張など(開催件数)	
委員会	24
院内会議・ミーティング	61
退院検討会(一般床・回復期・療養病床)	197
診療科カンファレンス・リハビリカンファレンス	57
総合相談カンファレンス	43
ソーシャルワーカーミーティング	35
回復期病棟転入判定カンファレンス	73
療養病床入退所判定会	36
医療機関・福祉施設 訪問	6
院外会議(知多半島病床運営会・知多半島のACP/EOLDを推進する会 等)	26
院内・院外研修会	28

## ◆知多厚生病院介護保険センター（居宅介護支援事業所）

## ◎職員配置

介護支援専門員内訳：看護師 3 名（主任介護支援専門員 2 名）

社会福祉士 1 名（管理者および主任介護支援専門員）

## ◎ケアプラン作成件数（予防含む：予防は 1 名＝0.5 件で計算）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
27年度	108	103	103.5	104	103.5	102.5	102.5	107	109.5	103.5	104.5	102.5	1254
28年度	105.5	107.5	109.5	113.5	112.5	119	120	117	116	115	113	112	1360.5
対前年比	97.7	104.4	106.7	109.1	108.7	116.1	117.1	109.3	105.9	105	103.2	108.2	108.4

## ◎一人当たり担当件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
27年度	31.8	31.2	31.2	31.4	31.5	31.1	31.1	32.4	33.2	31.4	31.7	31.4	31.6
28年度	32	32.6	33.2	34.4	34.1	36.1	36.4	36.4	35.5	35.2	34.8	34.2	34.3
対前年比	101	104	107	109	108.3	116.1	117	109.6	105.9	105.9	105	103.1	108.5

## ◎訪問調査件数（美浜町委託事業）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
27年度	4	4	5	5	4	3	2	1	3	4	3	1	39
28年度	1	4	4	3	3	4	2	5	0	0	5	8	39

## ◆訪問看護ステーション

## ◎職員配置

看護師 4月～12月・・・常勤：6名 パート：3名

1月・・・常勤：7名 パート：2名

2月～3月・・・常勤：7名 パート：3名

理学療法士 4月～9月・・・専従：2名

10月～3月・・・専従：1名 兼務 4名

事務 1名

## ◎訪問実績（別資料）

病診連携紹介実績

	医療機関名	内科	小児科	外科	整形外科	脳神経外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	合計
美浜町	榊原医院	7		1		2		2	1		1	14
	ときしグリーン歯科	3									1	4
	新美医院									2		2
	(医)浜田整形外科・内科クリニック	9		5	2	5	2	3	8		4	38
	前田医院	64		7	1	8	4	2		5	5	96
	(医)ふれあい会 美浜クリニック	92						1				93
	渡辺病院	1		5	7	1		2	2		1	19
南知多町	特別養護老人ホーム あい寿の丘	13										13
	(医)上床医院	8		3				1				12
	大岩医院<内海>	7		1		1						9
	(医)大岩医院<豊浜>	39	1	16	1	17		4	1	2	3	84
	篠島診療所	5		3	2							10
	白井医院	30		3	2	15	2	2			6	60
	大地の丘	16										16
	夏目医院	4			2	2		1			3	12
	特別養護老人ホーム ひだまり	7										7
	みどりの風 南知多病院	27		4	21	4	11	4		5	2	78
武豊町	石川医院	13		1		2						16
	石川病院				2							2
	奥村医院	1										1
	介護老人保健施設 榊原	2		2		1		1		1		7
	(医)榊原整形外科					2						2
	じこう医院	7		1		2	1			2	1	14
	耳鼻咽喉科武豊醫院					1					3	4
	杉石病院	1					1		1			3
	すこやかクリニック			2	1							3
	日油株式会社愛知事業所診療所	2										2
	毛受医院			1								1
	よしかねクリニック			2								2
内科・外科 渡辺医院	1										1	

	医療機関名	内科	小児科	外科	整形外科	脳神経外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	合計
半田市	あいクリニック	1					1					2
	知多リハビリテーション病院					1						1
	中野整形外科			6	1							7
	春田内科			1								1
	半田市立半田病院	6		2	6			1				15
	ふたばクリニック			1	1							2
	星崎ちやや糖尿病内科	2										2
	みずのファミリークリニック							1				1
常滑市	伊藤クリニック	1										1
	さかきばら整形外科クリニック				2							2
	瀧田医院分院	1										1
	常滑市民病院	1		22	3							26
	とこなめ整形外科				1							1
阿久比町	あぐい南クリニック	1										1
	竹内整形外科・内科クリニック	1										1
	メディコ阿久比	7			1							8
知多市	竹井医院	1										1
	ナガイセントラル歯科	4										4
東海市	公立西知多総合病院	3									1	4
大府市	あいち小児保健医療総合センター		1									1
	共和病院			3								3
名古屋市	愛知県がんセンター中央病院	1										1
	笠寺病院	1										1
	金山ペインクリニック					1						1
	総合病院 南生協病院	1										1
	中京病院		2									2
	名古屋市立大学病院	5		1	1							7
	名古屋市立東部医療センター	1										1
	名古屋大学医学部附属病院	1										1
	名鉄病院				1							1
	安井病院	1										1

	医療機関名	内科	小児科	外科	整形外科	脳神経外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	合計
その他県内	愛知医科大学病院					1						1
	愛知県がんセンター愛知病院	1										1
	安城更生病院	1			1							2
	一宮西病院	1										1
	海南病院				2							2
	刈谷豊田総合病院			1								1
	セントレディースクリニック								1			1
	西尾市民病院				1							1
	藤田保健衛生大学病院	1										1
	合計	403	4	94	61	67	22	25	14	17	31	738

## 平成28年度 訪問看護ステーション訪問実績

## (1) 月別利用状況

(介護予防を含む)

	平成28年												平成29年			合計	月平均
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
医療	14	19	16	16	15	16	19	20	20	16	14	16	201	16.8			
延件数	105	120	109	103	113	100	105	117	135	97	88	111	1,303	108.6			
平均訪問回数	7.5	6.3	6.8	6.4	7.5	6.3	5.5	5.9	6.8	6.1	6.3	6.9	6.5	6.5			
介護	77	75	72	75	78	75	78	78	86	80	85	80	939	78.3			
延件数	492	481	516	459	514	502	501	524	512	511	526	572	6,110	509.2			
平均訪問回数	6.4	6.4	7.2	6.1	6.6	6.7	6.4	6.7	6.0	6.4	6.2	7.2	6.5	6.5			
総入数	91	94	88	91	93	91	97	98	106	96	99	96	1,140	95.0			
総件数	597	601	625	562	627	602	606	641	647	608	614	683	7,413	617.8			

## 平成28年

## 平成29年

	平成28年												平成29年			合計	月平均
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
新規	医療	0	4	1	0	0	0	1	1	0	1	0	11	0	0.9		
	介護	1	4	1	4	3	1	4	0	1	0	7	0	26	2.2		
	医療機関	0	2	1	2	0	1	2	2	1	0	1	2	14	1.2		
	介護	1	3	2	4	3	3	1	1	8	1	0	2	29	2.4		
	医療	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0		
終了	医療	2	13	5	10	6	6	9	4	11	1	9	4	80	6.7		
	介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0		
	自宅	2	1	2	0	1	1	0	0	1	1	1	0	10	0.8		
	死亡	1	2	3	1	2	2	2	2	3	4	0	1	23	1.9		
	施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0		
入院・入所	8	8	4	8	8	7	2	4	11	8	7	4	79	6.6			
合計	13	15	11	12	14	10	5	7	16	14	10	7	134	11.2			

## (2) 住民登録地別利用者数

(介護予防を含む)

	平成28年												平成29年			合計	月平均
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
医療	南知多町	5	5	5	6	7	7	8	8	9	7	5	6	78	6.5		
	美浜町	8	14	11	10	8	9	11	12	12	9	9	9	122	10.2		
	武豊町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0.2		
	合計	14	19	16	16	15	16	19	20	21	16	14	16	202	16.8		
介護	南知多町	37	38	39	39	39	37	38	39	43	40	43	42	474	39.5		
	美浜町	40	36	33	36	39	37	38	37	40	38	39	35	448	37.3		
	武豊町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0.2		
	常滑市	0	1	0	0	0	1	2	2	2	2	2	2	14	1.2		
合計	77	75	72	75	78	75	78	78	85	80	85	80	938	78.2			
総入数	91	94	88	91	93	91	97	98	106	96	99	96	1,140	95.0			



# 各委員会活動

篠島診療所運営委員会	96
手術部運営委員会	97
放射線運営委員会	100
救急・診療委員会	101
健康管理支援センター運営委員会	103
臨床検査技術科運営委員会	105
栄養管理委員会	106
保育所運営委員会	107
生活改善支援センター運営委員会	108
母子支援センター運営委員会	110
地域医療福祉連携センター運営委員会	111
リハビリテーション科運営委員会	113
資材委員会	114
倫理委員会	117
治験審査委員会	118
購買委員会	119
物品管理委員会	120
医療安全対策委員会	121
安全衛生委員会	126
防災対策委員会	127
院内感染対策委員会	128
廃棄物管理委員会	132
輸血療法委員会	133

医療ガス安全管理委員会	135
広報委員会	136
教育研修委員会	138
図書管理委員会	139
臨床研修委員会	140
臨床研修管理委員会	141
患者サービス向上委員会	142
医療情報システム委員会	143
診療情報管理委員会	146
コンプライアンス委員会	149
在宅療養支援委員会	150
アグリス・ヘルスネット検討委員会	152
人事考課制度推進委員会	154
クリニカルパス委員会	155
N S T委員会	158
糖尿病教育委員会	162
肝臓病教育委員会	165
摂食・嚥下障害委員会	167
緩和ケア委員会	168
化学療法委員会	170
スキンケア委員会	171
虐待対策委員会	175
医師業務軽減検討委員会	176
保険診療委員会	178
D P C コーディング部会	182
業務検討委員会	184
病床運営管理委員会	186

## ■ 篠島診療所運営委員会

### 1. 目的

篠島診療所の運営に関する事項について協議し、離島における病院附属診療所としての円滑な運営を図ることを目的とする。

### 2. 平成28年度の活動内容

回	開催日	内容
1	平成28年8月16日	・篠島診療所収支状況について
2	平成29年1月13日	・篠島診療所収支状況について ・平成29年度へき地医療研修について ・平成29年4月以降の篠島診療所の体制について

### 3. 平成28年度の活動要約

篠島診療所の円滑な運営を目指し、収支状況や運営状況を確認するとともに、平成29年4月以降の診療体制について検討した。

## ■ 手術部運営委員会

### 1. 目的

- 1) 手術患者の安全・安心な管理ができる
- 2) 手術部・滅菌センターの安全・安心な運営ができる

### 2. 平成28年度の活動内容

\*毎月第1金曜日 16:30～開催

回数	開催日	内容
1	平成28年4月1日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前月の手術件数と医療機器購入品・金額の報告</li> <li>・麻酔科診察・用紙の変更・麻酔科医師業務内容の報告</li> <li>・委員会メンバー変更の報告</li> <li>・手術点数と麻酔点数・各診療科の昨年度の比較</li> <li>・医療安全報告</li> <li>・材料在庫について</li> <li>・手術安全チェックリストについて</li> </ul>
2	平成28年5月6日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前月の手術件数と医療機器購入品・金額の報告</li> <li>・麻酔科診察・麻酔科医師予定の報告</li> <li>・医療安全報告</li> <li>・主治医の入室時間・手術時間の電話連絡について</li> <li>・5/18（水）鹿児島県厚生連 OP 室見学について</li> </ul>
3	平成28年6月3日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前月の手術件数と医療機器購入品・金額の報告</li> <li>・麻酔科診察・麻酔科医師予定の報告</li> <li>・H28年4月手術点数と麻酔点数について</li> <li>・医療安全報告</li> <li>・材料在庫報告</li> <li>・麻酔科診察運用について</li> <li>・手術確認表入力について</li> <li>・クロルヘキシジングルコン酸塩を含有する外皮用殺菌消毒に関わる「使用上の注意点」について</li> <li>・オラネジン導について</li> </ul>
4	平成28年7月1日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前月の手術件数と医療機器購入品・金額の報告</li> <li>・麻酔科診察・麻酔科医師予定の報告</li> <li>・医療安全報告</li> <li>・手術予定所要時間について</li> <li>・手術申し込み（電話連絡）について</li> <li>・手術着について</li> </ul>

5	平成 28 年 8 月 5 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前月の手術件数と医療機器購入品・金額の報告</li> <li>・麻酔科診察・麻酔科医師予定の報告</li> <li>・医療安全報告</li> <li>・麻酔科医依頼方法について</li> <li>・手術申し込みについて</li> <li>・手術安全チェックリストについて</li> <li>・アセリオ使用について</li> <li>・麻酔科医の術後訪問について</li> </ul>
6	平成 28 年 9 月 2 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前月の手術件数・時間と医療機器購入品・金額の報告</li> <li>・麻酔科診察・麻酔科医師予定の報告</li> <li>・医療安全報告</li> <li>・手術安全チェックリストについて</li> <li>・アセリオ使用について</li> <li>・同意書について</li> </ul>
7	平成 28 年 10 月 7 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前月の手術件数・時間と医療機器購入品・金額の報告</li> <li>・麻酔科診察・麻酔科医師予定の報告</li> <li>・医療安全報告</li> <li>・タイムアウトの実施依頼について</li> <li>・ラテックスフリー手袋について</li> <li>・手術安全チェックリストについて</li> <li>・アセリオ使用について</li> <li>・滅菌判定について</li> <li>・術中ガーゼカウント確認について</li> </ul>
8	平成 28 年 11 月 4 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前月の手術件数・時間と医療機器購入品・金額の報告</li> <li>・麻酔科診察・麻酔科医師予定の報告</li> <li>・医療安全報告</li> <li>・アセリオ使用について</li> <li>・OP 前のワクチン接種について</li> <li>・手術室安全チェックリストについて</li> <li>・医療材料について</li> </ul>
9	平成 28 年 12 月 9 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前月の手術件数・時間と医療機器購入品・金額の報告</li> <li>・麻酔科診察・麻酔科医師予定の報告</li> <li>・医療安全報告</li> <li>・予定手術申し込み時間について</li> <li>・「周手術期後腔機能管理」加算について</li> <li>・手術安全チェックリストについて</li> <li>・手術部位マーキングについて</li> <li>・ラテックスアレルギーについて</li> </ul>

回数	開催日	内容
10	平成 29 年 1 月 6 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前月の手術件数・時間と医療機器購入品・金額の報告</li> <li>・ 麻酔科診察・麻酔科医師予定の報告</li> <li>・ 医療安全報告</li> <li>・ 手術安全チェックリストに関するガイドラインについて (DVD 鑑賞)</li> <li>・ 麻酔科医緊急連絡方法について</li> <li>・ 婦人科手術日変更依頼について</li> <li>・ 超緊急帝王切開訓練について</li> <li>・ 医療薬品について</li> <li>・ 固定資産器械について</li> </ul>
11	平成 29 年 2 月 3 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前月の手術件数・時間と医療機器購入品・金額の報告</li> <li>・ 麻酔科診察・麻酔科医師予定の報告</li> <li>・ 医療安全報告</li> <li>・ 超緊急帝王切開訓練について</li> <li>・ 手術安全チェックリストについて</li> <li>・ パウダー付き医療手袋に関する取り扱いについて</li> <li>・ 委員会開始時間の確認</li> </ul>
12	平成 29 年 3 月 3 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前月の手術件数・時間と医療機器購入品・金額の報告</li> <li>・ 麻酔科診察・麻酔科医師予定の報告</li> <li>・ 医療安全報告</li> <li>・ 定期手術スケジュールについて</li> <li>・ 医療薬品について</li> <li>・ シュアプラグ説明会実施</li> </ul>

### 3. 平成 28 年度の活動要約

1. 麻酔科に関わること
2. 手術器械・材料の検討
3. 手術室の虫対策
4. 医療事故の共有

## ■ 放射線運営委員会

### 1. 目的

- ① 病院長の諮問に答えて答申を行う。
- ② 病院長に対し放射線部門のあり方に対し提言を行う。
- ③ 放射線部門に関わる検査、診療及び、放射線施設・医療機器に関する各種事項を協議する事で、適正な運営を図る事を目的とする。

### 2. 平成28年度の活動内容

回数	開催日	内容
1	平成28年5月26日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問診票の変更について</li> <li>・平成27年度放射線技術科件数の報告</li> <li>・平成27年度個人被ばく線量結果の報告及び評価</li> <li>・平成28年度ガラスバッチ利用者名簿の変更</li> <li>・手術室看護師の被ばく線量管理について</li> </ul>
2	平成28年9月30日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次期電子カルテ更新時の問診票（鎮痙剤・造影剤・抗菌薬）運用について</li> <li>・アンギオ検査時の皮膚吸収線量の取り扱いについて</li> <li>・平成28年度保健所立ち入り検査報告</li> <li>・平成28年度購買委員会の結果報告</li> </ul>

### 3. 平成28年度の活動要約

- ① 問診票の問題点改善と関連部署への周知
- ② 個人被ばく線量管理とその評価
  - ・ガラスバッチ利用者の被ばく線量管理の評価
  - ・手術室看護師のポケット線量計による被ばく管理の実施
  - ・アンギオ検査時の被ばく管理方法の検討
- ③ 電子カルテ、放射線システム更新に向けた検討

## ■ 救急・診療委員会

### 1. 目的

- ①外来及び救急の適切な体制の確立とその運営に努める
- ②診療の質の向上を目指し、必要な教育・研修についてもその任を負う

### 2. 平成28年度の活動内容

回数	開催日	内容
1	平成28年4月12日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・救急車件数報告</li> <li>・BLS 部会報告</li> <li>・救急カート内の薬品について検討</li> <li>・休日夜間の車椅子貸し出しについて検討</li> </ul>
2	平成28年5月10日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・救急車件数報告</li> <li>・BLS 部会報告</li> <li>・救急外来における産婦人科患者の対応マニュアル修正</li> </ul>
3	平成28年6月14日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・救急車件数報告</li> <li>・BLS 部会報告</li> <li>・検死検案時のマニュアル修正</li> <li>・救急勉強会の企画について検討</li> <li>・合同症例検討会（知多南部救急隊）</li> </ul>
4	平成28年7月12日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・救急車件数報告</li> <li>・BLS 部会報告</li> <li>・救急勉強会「循環器救急疾患」</li> </ul>
5	平成28年8月8日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・救急車件数報告</li> <li>・BLS 部会報告</li> <li>・感電、縊頸の対応について検討</li> <li>・救急勉強会「高エネルギー外傷・急性腹症」</li> </ul>
6	平成28年9月13日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・救急車件数報告</li> <li>・BLS 部会報告</li> <li>・ホットライン PHS の運用について検討</li> <li>・救急勉強会「消化器系疾患」</li> </ul>
7	平成28年10月11日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・救急車件数報告</li> <li>・BLS 部会報告</li> <li>・救急医療に関する掲示について検討</li> <li>・アナフィラキシーショック対応マニュアルに関連した救急カート内の薬品変更について検討</li> <li>・合同症例検討会（知多南部救急隊）</li> </ul>

回数	開催日	内容
8	平成 28 年 11 月 8 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 救急車件数報告</li> <li>・ BLS 部会報告</li> <li>・ 警察から依頼された検体の提出に関する取り扱いについて確認</li> </ul>
9	平成 28 年 12 月 13 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 救急車件数報告</li> <li>・ BLS 部会報告</li> <li>・ 救急隊からの要望について検討</li> <li>・ コールワン・コードブルー運用基準の改正</li> </ul>
10	平成 29 年 1 月 10 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 救急車件数報告</li> <li>・ BLS 部会報告</li> <li>・ 休日夜間の検査項目について表示変更</li> <li>・ 年末年始の問題、課題について検討</li> <li>・ 超緊急帝王切開訓練の予定報告</li> </ul>
11	平成 29 年 2 月 14 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 救急車件数報告</li> <li>・ BLS 部会報告</li> <li>・ 頭部外傷処置後のパンフレット修正について報告</li> <li>・ 警察からの検体提出依頼について検討</li> </ul>
12	平成 29 年 3 月 14 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 救急車件数報告</li> <li>・ 医療情報システム更新に伴う救急受入について確認</li> <li>・ BLS シミュレーション研修実施（BLS 部会主催）</li> </ul>

### 3. 平成 28 年度の活動要約

#### 1) 救急受け入れ状況の確認

救急車受け入れ件数： 1,582 件

救急車断り事例件数： 72 件

搬送率： 95.6%

#### 2) BLS 研修実施状況

・ BLS 研修回数： 7 回（新人研修を含む）

参加者数（見学者含む） 129 名

・ BLS シミュレーション研修： 10 回

参加者数 120 名

## ■ 健康管理支援センター運営委員会

### 1. 目的

地域における医療・保健・福祉との連携による健康管理活動を基に、地域住民の健康保持増進・疾病予防・疾病の早期発見を目的とし、啓蒙、指導、経年管理を通じ、永年的な健康管理を担う“健康管理支援センター”の構築・運営を目的とする。

### 2. 平成28度の活動内容

回数	開催日	内容
1	平成28年4月18日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「高齢者のドック」について丹村委員長より報告</li> <li>・脳オプション単独実施中止について</li> <li>・胃透視とMRIの順番について</li> <li>・精密検査、再検査用紙記載方法変更について</li> <li>・診断書作成基準について</li> <li>・視力判定の当院基準について</li> <li>・平成29年度追加オプション検査について</li> <li>・委員会定期開催について</li> </ul>
2	平成28年8月1日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間ドック学会参加の報告</li> <li>・次年度のオプション検査内容、価格の見直しについて</li> <li>・負荷心電図中止について</li> <li>・アンケート実施について、アンケート内容、調査期間ほか</li> <li>・システム更新に向けた、ドック報告書レイアウトについて</li> <li>・乳、子宮がん検診当日受診希望への対応について</li> </ul>
3	平成28年10月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上半期収支報告</li> <li>・職員人間ドックについて（受付時期、価格ほか）</li> <li>・次年度オプション検査価格設定について</li> <li>・次年度代務医師業務について（午後の運用）</li> <li>・乳がん検診、視触診について</li> <li>・アンケート結果報告</li> </ul>
4	平成29年1月30日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度予算について（目標金額の達成に向けて努力する）</li> <li>・平成29年度の乳、子宮がん検診、胃がん検診運用について</li> <li>・平成29年度脳ドック入札について（参加する予定）</li> <li>・平成29年度ABI検査実施に向けた勉強会について</li> <li>・機能評価訪問調査日について</li> </ul>

### 3. 平成28年度の活動要約

人間ドック健診施設機能評価受審に向けて、判定基準の確認や当院判定基準について検討した。又、オプション検査の当日受診希望への対応、受診者の声、要望を聞くためにアンケート調査を実施するなど、更なる利用者サービス向上を目指して検討した。

次年度の人間ドック検査項目の検討や、見直しのされていないオプション検査の価格について、診療報酬と照らし合わせ質に見合った価格設定の検討を行った。

今年度より、武豊町共済ドックの新規受託により、個人、企業に関しては13%の伸びとなり合計では7.3%の伸びであった。

農協組合員、ポイントカード対象受診者への割引についても、年々増加傾向にあり平成28年度は、対象者516名、割引額：¥2,330,858であった。

平成29年度は、新規に南知多町特定健診、美浜町乳、子宮がん個別検診が加わり、更なる連携を深めたい。

## ■ 臨床検査技術科運営委員会

### 1. 目的

臨床検査の適正な活用と質の向上を目的とし、その運営について協議し病院の発展に寄与することにある。

### 2. 平成28年度の活動内容

回	開催日	内容
1	平成28年8月31日 (第39回)	1. 平成27年度の臨床検査技術科経営分析の評価報告 1) 施設内検査コスト分析 2) 外部委託検査コスト分析 2. 平成27年度インシデント・アクシデント件数と分析資料の説明 3. 要員計画報告 4. 検査試薬値引き交渉について 5. 日本医師会精度管理結果報告 6. その他

### 3. 平成28年度の活動要約

- ・時間外検査項目の腫瘍マーカー、甲状腺マーカー、糖尿病検査（インスリン・C-ペプチド）を時間内検査項目へ変更することにより試薬コストを削減した。
- ・院内検査であった結核菌培養を外部委託検査に変更することにより、結果報告時間の短縮、試薬コストの削減を行った。
- ・細菌検査自動分析器の試薬納入価を試薬メーカーとの交渉により削減した。
- ・肺機能測定装置の更新を行うことにより、気道可逆試験の改善率が表記出来るようになった。

以上、検査変更及び試薬コスト削減の努力により平成27年度と比較し約280万円の検査試薬の消費額削減と臨床への結果報告を変更し向上に努めた。

## ■ 栄養管理委員会

### 1. 目的

患者給食の改善並びに院内における栄養管理業務の円滑な運営と、その質の向上を図ることを目的とする。

### 2. 平成28年度の活動内容

回数	開催日	内容
1	平成28年4月26日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事連絡伝票廃止による食事オーダー締め切り後の運用</li> <li>・無塩粥への統一について</li> </ul>
2	平成28年7月26日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・喫食・嗜好調査の集計結果について</li> <li>・食事オーダー運用マニュアルの見直しについて</li> </ul>
3	平成28年10月27日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・元旦のお餅の提供について</li> <li>・システム更新に伴う食事オーダーの見直し</li> </ul>
4	平成29年1月26日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・喫食・嗜好調査の集計結果について</li> <li>・システム障害時の食事オーダーについて</li> </ul>

### 3. 平成28年度の活動要約

#### ① 適切な栄養管理への取り組み

システム更新に伴い、食事オーダーや食事箋の見直しを行い、適切な栄養管理に向けた取り組みを行った。

#### ② 喫食・嗜好調査結果から調理業務の修正

患者の意見を踏まえ、食事の改善点を検討し調理業務の修正を行った。

#### ③ 食事オーダー締め切り後の運用の見直し

夜間帯（18：30～7：00）以外の変更伝票の運用を廃止し、病棟スタッフの負担軽減につなげた。

## ■ 保育所運営委員会

### 1. 目的

院内保育所『かもめ園』の管理運営に関する事項について協議し、円滑な管理運営を図ることを目的とする。

### 2. 平成28年度の活動内容

回	開催日	内容
1	平成28年4月14日	<ul style="list-style-type: none"><li>・年間行事について</li><li>・夜勤翌日（明け）における預かりマニュアル（案）について</li><li>・保育所運営内規改正について</li></ul>
2	平成28年7月15日	<ul style="list-style-type: none"><li>・お楽しみ会について</li></ul>
3	平成28年10月21日	<ul style="list-style-type: none"><li>・アレルギー対応食について</li><li>・お楽しみ会について</li><li>・アンケート実施について</li></ul>
4	平成29年1月20日	<ul style="list-style-type: none"><li>・アンケート結果について</li><li>・お楽しみ会について</li></ul>

### 3. 平成28年度の活動要約

夜勤翌日（明け）の預かりや給食におけるアレルギーへの対応等について検討するなど、保護者のニーズに応えるべく様々な改善に取り組んだ。

また、保護者へのアンケート調査を実施し、保護者の満足度を測るとともに、意見集約を行うことで、さらなるニーズの把握に努めた。

## ■ 生活改善支援センター運営委員会

### 1. 目的

- ① 予防、治療、介護という医療、保健、福祉のすべての分野での支援活動に関係し「世界健康半島」の理念に基づき知多半島全域のJA組合員ならびに地域住民を対象にした健康づくりに貢献する。
- ② JA組合員ならびに地域住民への主体的な参加を支援するための活動に関して検討する。

### 2. 平成28年度の活動内容

#### 【委員会】

回数	開催日	内容
1	平成28年12月5日	・来年度のミニレクチャー・調理実習のテーマについて ・ミニレクチャー参加者へのアンケートについて
2	平成29年3月6日	・次年度活動計画について

#### 【調理実習実施状況】 10:00～13:00

実施日	内容	担当	参加人数
4月 15・22	筋肉アップの食事術	片岡	13名
5月 20・27・6/3	減塩大作戦!	片岡	20名
6月 17・24・7/1	冷え症解消! 薬膳料理	山本(来)	14名
7月 15・22・29	骨密度アップの食事	山本(来)	21名
8月 19・26・9/2	夏バテ解消の食事	片岡	20名
9月 16・23・30	野菜をおいしく食べよう!	山本(来)	18名
10月 21・28・11/4	和食のよさを見直そう!	山本(来)	18名
11月 18・25・12/2	ちょっと一工夫でヘルシーレシピ	内田	19名
12月 9・16	血管を若返らせる食事	三津谷	14名
1月 20・27・2/3	免疫力を高めて風邪とサヨナラ	山本(来)	15名

2月 17・24・3/3	作りやすく、食べやすい介護食	内田	12名
3月 17・24・31	お寿司で春を味わおう！	三津谷	18名

【ミニレクチャー実施状況】 13:00～14:00

実施日	内 容	担当	参加人数
4月15日	筋力アップで寝たきり予防	村元医師 木島管理栄養士	20名
5月20日	5/17は高血圧の日！ 不整脈、心臓疾患の予防	富本医師 眞島検査技師	24名
6月17日	冷え症、倦怠感を感じた時は？	丹村医師 久田薬剤師	22名
7月15日	骨密度アップで骨粗鬆症予防	大口医師 山田理学療法士	22名
8月19日	生活習慣病予防月間！ 検診結果を見てみよう！	青山保健師 山本（来） 管理栄養士	21名
9月16日	便秘と下痢に潜む大腸の病気	片山管理栄養士 奈良井薬剤師	21名
10月21日	ピンクリボン月間！乳がんを予防しよう	保里医師 岩佐放射線技師	13名
11月18日	糖尿病月間！あなたは糖尿病予備軍かも？	丹村医師 吉田看護師	16名
12月16日	動脈硬化予防月間！ 脳梗塞にならないために	中塚医師 横田看護師	23名
1月20日	ウイルスやストレスから身を守る 免疫力のお話	仮屋看護師	17名
2月17日	あなたは知ってる？誤嚥（ムセ）のリスク	小森医師 渡辺言語聴覚士	15名
3月17日	世界腎臓デー！腎臓病を予防しよう	山田医師 山本（来） 管理栄養士	14名

3. 平成28年度の活動要約

調理実習の充実

- ・健康保持・増進を目的に、ミニレクチャーの内容を資料にまとめて説明を行った。

## ■ 母子支援センター運営委員会

### 1. 目的

母子支援センター運営に関する事項について協議し、その効果的な運営を図ることを目的とする。

### 2. 平成28年度の活動内容

回数	開催日	内容
1	平成28年4月18日	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年度母子支援センター利用数報告</li> <li>母子支援センター利用状況推移</li> <li>農協共済連あいちから、妊婦・産婦むけ配布物の依頼</li> </ul>
2	平成28年6月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>4月、5月セミナー室利用状況報告</li> <li>産後ケア入院について検討開始</li> </ul>
3	平成28年8月22日 *文書開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>6月、7月セミナー室利用状況報告</li> <li>産後ケア入院（案）の検討</li> </ul>
4	平成28年10月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>8月、9月セミナー室利用状況報告</li> <li>産後ケア入院（案）の検討結果と課題について</li> </ul>
5	平成28年12月19日 *文書開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>10月、11月セミナー室利用状況報告</li> </ul>
6	平成29年2月27日	<ul style="list-style-type: none"> <li>12月、1月セミナー室利用状況報告</li> <li>産後ケア入院の運用について</li> <li>母子保健活動の宣伝について</li> </ul>

### 3. 平成28年度の活動要約

分娩受入件数を制限している中、毎月のセミナー室利用状況から助産師が中心となり妊娠期から育児期における母子支援活動を継続している。分娩制限に伴いセミナー室利用は減少しているが、ベビーマッサージは利用数の減少を認めない。また、平成28年4月から有料での母乳相談の金額を見直したが利用者数に大きな変化はみられなかった。

産後の母子支援強化のため産後ケア入院受け入れの検討を重ね、平成29年度より受け入れを開始するための体制を整えた。

## ■ 地域医療福祉連携センター運営委員会

### 1. 目的

- 1). 地域医療福祉連携センターの運営に関する事項について協議をし、円滑な運営を図る。
- 2). 地域における医療と介護の連携課題を院内で共有することで、連携の大切さを職員に認識してもらう。
- 3). 2)のような連携課題を改善するための具体的な対策を検討していくことで、より良い医療が提供できるようにする。
- 4). 地域医療福祉連携センターの活動を院内に周知する。

### 2. 平成28年度の活動内容

回	開催日	主な内容
1	平成28年5月18日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会規程、委員会名簿、年報</li> <li>・各部署実績報告</li> <li>・総合相談窓口相談実績報告</li> <li>・短期入院事業受け入れ状況報告</li> <li>・医療講座アンケート結果</li> <li>・住民公開講座（7月予定について）</li> </ul>
2	平成28年8月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各部署実績報告</li> <li>・総合相談窓口相談実績報告</li> <li>・短期入院事業受け入れ状況報告</li> <li>・医療講座アンケート結果</li> <li>・住民公開講座（12月予定について）</li> <li>・病院及び施設訪問中間報告</li> <li>・お寺での研修会について</li> </ul>
3	平成28年11月16日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各部署実績報告</li> <li>・総合相談窓口相談実績報告</li> <li>・短期入院事業受け入れ状況報告</li> <li>・医療講座アンケート結果</li> <li>・住民公開講座（12月予定について）</li> <li>・病院及び施設訪問中間報告</li> <li>・「総合相談窓口内規」「相談・クレームの流れ」について</li> </ul>

回	開催日	主な内容
4	平成 29 年 2 月 15 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各部署実績報告</li> <li>・総合相談窓口相談実績報告</li> <li>・短期入院事業受け入れ状況報告</li> <li>・医療講座アンケート結果</li> <li>・住民公開講座（12月結果）</li> <li>・病院及び施設訪問最終報告</li> <li>・「総合相談窓口内規」「相談クレームの流れ」改正</li> </ul>

### 3. 平成 28 年度の活動要約

- ・「総合相談窓口内規」「相談・クレーム対応の流れ」を改正した。
- ・ケアマネジャー向けの医療講座を開催した（偶数月）。
- ・住民公開講座を定期開催した（年 2 回）。
- ・病院及び施設の訪問により紹介患者の獲得に取り組んだ。

## ■ リハビリテーション科運営委員会

### 1. 目的

リハビリテーションに関わる診療の適正な活用と質の向上、および適正な運営を図ること

### 2. 平成28年度の活動内容

回数	開催日	内容
1 (第16回)	平成28年4月11日	<ul style="list-style-type: none"><li>・平成27年度業務実績</li><li>・平成28年度部署目標</li><li>・退院前訪問指導、外出訓練時の緊急対応マニュアルの整備</li><li>・がんのリハ研修</li><li>・短時間通所リハの検討</li><li>・平成29年度採用計画</li></ul>
2 (第17回)	平成28年8月10日	<ul style="list-style-type: none"><li>・平成28年度業務実績の推移</li><li>・訪問リハ従事者の変更</li></ul>
3 (第18回)	平成28年12月14日	<ul style="list-style-type: none"><li>・平成28年度業務実績の推移</li><li>・リハビリテーション科運営委員会規約の変更</li></ul>

### 3. 平成28年度の活動要約

- ・6月より急性期を内科系と外科系にチーム分けし、10月より訪問リハ従事者を変更した。

## ■ 資材委員会

### 1. 目的

- ①新規医薬品、検査用試薬、診療材料の採否の決定
- ②医薬品、検査用試薬、診療材料の効率的利用の検討
- ③医薬品、診療材料、及び医療情報の伝達
- ④保険査定

### 2. 平成28年度の活動内容

回数	開催日	主な内容
1	平成28年4月8日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規医薬品、診療材料の採否について</li> <li>・添付文書改訂情報</li> <li>・効能効果の追加変更について</li> <li>・販売中止および自主回収のお知らせ</li> <li>・出荷調整について</li> <li>・保険査定報告</li> </ul>
2	平成28年5月13日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規医薬品、診療材料、検査試薬の採否について</li> <li>・新医薬品の投与制限解除</li> <li>・添付文書改訂情報</li> <li>・現在検討中の後発薬剤</li> <li>・適性使用に関するお知らせ</li> <li>・保険査定報告</li> </ul>
3	平成28年6月10日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規医薬品、診療材料、検査試薬の採否について</li> <li>・効能・効果の追加</li> <li>・現在検討中の後発薬剤</li> <li>・添付文書改訂情報</li> <li>・メトホルミンの適性使用に関する Recommendation</li> <li>・保険査定報告</li> </ul>
4	平成28年7月8日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規医薬品、診療材料の採否について</li> <li>・効能・効果の追加について</li> <li>・後発品薬剤への変更決定薬剤</li> <li>・現在検討中の後発品薬剤</li> <li>・保険査定報告</li> </ul>
5	平成28年8月12日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規医薬品、診療材料の採否について</li> <li>・新医薬品の投与制限解除</li> <li>・添付文書改訂情報</li> <li>・削除希望不動薬品</li> <li>・削除希望不動診療材料</li> <li>・約束処方の中止検討</li> <li>・保険査定報告</li> </ul>

6	平成 28 年 9 月 9 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規医薬品、診療材料、検査試薬の採否について</li> <li>・添付文書改訂情報</li> <li>・効能・効果の追加、変更、適応拡大について</li> <li>・院内製剤の中止検討</li> <li>・削除決定不動薬品</li> <li>・削除決定不動診療材料</li> <li>・保険査定報告</li> </ul>
7	平成 28 年 10 月 14 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規医薬品、診療材料の採否について</li> <li>・添付文書改訂情報</li> <li>・効能・効果、用法・用量の追加、変更について</li> <li>・向精神薬への指定のお知らせ</li> <li>・保険査定報告</li> </ul>
8	平成 28 年 11 月 11 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規医薬品、診療材料の採否について</li> <li>・新医薬品の投与制限解除について</li> <li>・効能・効果の追加、変更について</li> <li>・添付文書改訂情報</li> <li>・採用中止希望薬品</li> <li>・救急カート内薬品の一部変更のお知らせ</li> <li>・タゾピペの出荷調整に関するお知らせ</li> <li>・アレグラドライシロップ 5%の安定供給困難のお知らせ</li> </ul>
9	平成 28 年 12 月 9 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規医薬品、診療材料の採否について</li> <li>・添付文書改訂情報</li> <li>・現在検討中の後発品薬剤</li> <li>・後発品への変更薬剤</li> <li>・採用中止薬品について</li> <li>・保険査定報告</li> </ul>
10	平成 29 年 1 月 13 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規医薬品、診療材料の採否について</li> <li>・効能・効果の追加・変更について</li> <li>・添付文書改訂情報</li> <li>・期限切迫薬品リスト</li> <li>・小児約束処方の内容変更</li> <li>・保険査定報告</li> </ul>
11	平成 29 年 2 月 10 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規診療材料、検査試薬の採否について</li> <li>・効能・効果の追加・変更について</li> <li>・添付文書改訂情報</li> <li>・採用中止希望薬品</li> <li>・タゾピペ配合静注用「ファイザー」供給に関するお知らせ</li> <li>・保険査定報告</li> </ul>

1 2	平成 29 年 3 月 10 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規医薬品、診療材料の採否について</li> <li>・効能・効果の追加について</li> <li>・添付文書改訂情報</li> <li>・現在検討中の後発品薬剤</li> <li>・後発品への変更薬剤</li> <li>・採用中止希望薬品</li> <li>・期限切迫薬品リスト</li> <li>・保険査定報告</li> </ul>
-----	------------------	--

### 3. 平成 28 年度の活動要約

ア) 新規仮採用医薬品は 63 品目を承認した。

規格追加・採用復活・変更、製薬メーカー及び剤型変更は 13 品目を承認した。

また新規採用に伴う中止医薬品 48 品目を採用中止とした。

イ) 新規申請診療材料は 51 品目を承認し、規格変更は 2 品目を承認した。

新規採用に伴う中止診療材料 33 品目を採用中止とした。

ウ) 新規申請検査試薬は 9 品目を承認し、5 品目を採用中止とした。

エ) 後発医薬品への切り替えは 44 品目を承認した。

## ■ 倫理委員会

### 1. 目的

医師・診療に携わる者が行う医学研究及び医療行為において、患者の人権擁護の立場から倫理的配慮が図られているかどうかを審議することを目的とする。

### 2. 平成28年度の活動内容

回数	開催日	内容
	開催実績なし	

### 3. 平成28年度の活動要約

平成28年度については、開催申請がなかったため、開催実績なし。

## ■ 治験審査委員会

### 1. 目的

「医薬品の臨床試験の実施基準に関する省令（GCP省令）」に基づき、医薬品の製造承認、及び一部変更申請時に提出すべき資料の収集、また製造販売後の臨床試験などに関する計画・実施・モニタリング・監査・記録・解析・報告などに関する遵守事項を定めて、被験者の人権・安全及び福祉を保護し、かつ臨床試験の科学的な質と成績の信頼性を確保することを目的とする。

### 2. 平成28年度の活動内容

回数	開催日	内容
12	厚生連病院共同 治験審査委員会 (IRB)	「糖尿病性腎症 対象疾患 ARB又はACE阻害剤の投与を受けている2型糖尿病性腎症患者」 治験薬 選択的ETA (endothelin-A) 受容体拮抗剤 (内分泌代謝科 丹村敏則)
	平成28年4月20日	
	平成28年5月25日	
	平成28年6月15日	※実績
	平成28年7月20日	・原契約例数：4例
	平成28年8月24日	・追加契約例数：1例
	平成28年9月21日	・総同意取得例数：6例
	平成28年10月19日	・原契約実施例数：5例(うち、観察期脱落例数：1例、治療期例数：3例→4例、完了例数：0例、中止例数：0→1例 ※
	平成28年11月16日	治験継続について同意撤回)
	平成28年12月21日	・追加契約実施例数：1例(うち、観察期脱落例数：1例、治療期例数：0例、完了例数：0例、中止例数：0例)
	平成29年1月18日	
	平成29年2月15日	「心房細動 対象疾患 既存の経口抗凝固薬の投与が困難な80歳以上の非弁膜症性心房細動患者」 治験薬 エドキサバン (循環器内科 富本茂裕)
平成29年3月15日	※実績 ・契約例数：4例 ・同意取得例数：2例 ・治療期移行例数：2例 (平成28年8月4日契約締結・試験開始、現在組入れ中)	

(西暦2016年4月1日～2017年3月31日)

### 3. 平成28年度の活動要約

平成28年度の活動内容に示した件について、審査して了承された。

## ■ 購買委員会

### 1. 目的

事業年度における固定資産（器械・備品・車輛）取得要望品を適正に審議し、効率的に固定資産取得を行うことを目的とする。

### 2. 平成28年度の活動内容

回数	開催日	内容
1	平成28年9月7日	<ul style="list-style-type: none"><li>・平成28年度固定資産取得結果について</li><li>・平成29年度固定資産取得について</li><li>・その他</li></ul>

### 3. 平成28年度の活動要約

平成28年度固定資産取得状況一覧表に基づき取得結果を報告した。平成29年度固定資産予算枠に対し、各部署申請者より申請理由を説明後、固定資産取得品の選定を委員会として行った。

## ■ 物品管理委員会

### 1. 目的

診療材料、医療器具、医療器具備品、消耗品、事務用品等院内で取り扱う物品に関し、効率的な供給やコスト削減を目指し、協議し常時改善することを目的とする。

### 2. 平成28年度の活動内容

回数	開催日	内容
	開催実績なし	

### 3. 平成28年度の活動要約

平成28年度については、開催申請がなかったため開催実績なし。

## ■医療安全対策委員会

### 1. 目的

患者の安全を守り、医療事故・紛争の予防対策等の推進を図る。

### 2. 平成28年度の活動内容

回数	開催日	内容
1	平成28年4月27日	<ul style="list-style-type: none"> <li>●医療安全報告分析表について（3月分、H27年度分）</li> <li>●医療安全報告事前検討部会の報告（3月分、前月迄の追加分）</li> <li>●Good job</li> <li>●医療安全情報</li> <li>●医療事故調査制度の現状報告</li> <li>●H28年度 委員会目標 委員会活動計画</li> <li>●H28年度 医療機器の安全な取り扱い勉強会日程表（上半期）</li> <li>●H28年度 医療安全対策委員巡回予定</li> <li>●H28年度 事前検討部会担当予定</li> <li>●研修会案内</li> </ul>
2	平成28年5月25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>●医療安全報告分析表について（4月分）</li> <li>●医療安全報告事前検討部会の報告（4月分）</li> <li>●Good job</li> <li>●医療安全対策委員巡視報告</li> <li>●医療安全情報</li> <li>●医療事故調査制度の現状報告</li> <li>●H28年度 委員会活動計画</li> <li>●医療事故調査制度</li> <li>●研修会案内</li> </ul>
3	平成28年6月22日	<ul style="list-style-type: none"> <li>●医療安全報告分析表について（5月分）</li> <li>●医療安全報告事前検討部会の報告（5月分、前月迄の追加分）</li> <li>●Good job</li> <li>●医療安全対策委員巡視報告</li> <li>●医療安全情報</li> <li>●医療事故調査制度の現状報告</li> <li>●H28年度 委員会活動計画 前期医療安全全体研修実施要項</li> <li>●医療安全管理室長会議（6月）報告</li> <li>●研修会案内</li> </ul>

回数	開催日	内容
4	平成 28 年 7 月 27 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>●医療安全報告分析表について（6 月分）</li> <li>●医療安全報告事前検討部会の報告（6 月分、前月迄の追加分）</li> <li>●Good job</li> <li>●医療安全情報</li> <li>●医療事故調査制度の現状報告</li> <li>●H28 年度 委員会活動計画（部署内 KYT 強化月間）</li> <li>●医療事故対応マニュアルの改正について</li> <li>●医療法施行規則の一部を改正する省令の施行について</li> <li>●医療安全管理システムの導入について</li> <li>●研修会案内</li> </ul>
5	平成 28 年 8 月 24 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>●医療安全報告分析表について（7 月分）</li> <li>●医療安全報告事前検討部会の報告（7 月分、前月迄の追加分）</li> <li>患者誤認防止策について</li> <li>●Good job</li> <li>●医療安全対策委員巡視報告</li> <li>●医療安全情報</li> <li>●医療事故調査制度の現状報告</li> <li>●H28 年度 委員会活動計画</li> <li>前期医療安全全体研修会アンケート結果</li> <li>●医療安全管理指針の改正案について</li> <li>●医療安全対策マニュアルの改正案について</li> <li>●医療安全管理システムの説明会について</li> <li>●研修会案内</li> </ul>
6	平成 28 年 9 月 28 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>●医療安全報告分析表について（8 月分）</li> <li>●医療安全報告事前検討部会の報告（8 月分）</li> <li>●Good job</li> <li>●医療安全対策委員巡視報告</li> <li>●医療安全情報</li> <li>●医療事故調査制度の現状報告</li> <li>●H28 年度 委員会活動計画</li> <li>前期医療安全全体研修会欠席者への周知</li> <li>●医療安全管理指針の改正しについて</li> <li>●医療安全対策マニュアルの改正について</li> <li>●医療安全管理室長会議（9 月）報告</li> <li>医療事故調査制度スクリーニング一覧</li> <li>●保健所立入検査報告</li> <li>●研修会案内</li> </ul>

回数	開催日	内容
7	平成 28 年 10 月 26 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>●医療安全報告分析表について（9 月分、4 月～10 月分）</li> <li>●医療安全報告事前検討部会の報告(9 月分、前月迄の追加分)</li> <li>●医療安全対策委員巡視報告</li> <li>●医療安全対策委員巡視報告</li> <li>●医療安全情報</li> <li>●医療事故調査制度の現状報告</li> <li>●H28 年度 委員会活動計画 部署内 KYT 強化月間テーマ</li> <li>●研修会案内</li> <li>●医療安全管理システムの説明</li> <li>●その他 人工呼吸器回路に人工鼻が未使用であった</li> </ul>
8	平成 28 年 11 月 22 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>●医療安全報告分析表について（10 月分） 人工呼吸器のウォータートラップの破損</li> <li>●医療安全報告事前検討部会の報告(10 月分、前月迄の追加分) 術前休薬リスト</li> <li>●Good job</li> <li>●医療安全対策委員巡視報告</li> <li>●医療安全情報</li> <li>●医療事故調査制度の現状報告</li> <li>●H27 年度 委員会活動計画 後期医療安全全体研修会実施要項</li> <li>●研修会案内</li> </ul>
9	平成 28 年 12 月 28 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>●医療安全報告分析表について（11 月分）</li> <li>●医療安全報告事前検討部会の報告(11 月分、前月迄の追加分)</li> <li>●Good job</li> <li>●医療安全対策委員巡視報告</li> <li>●医療安全情報</li> <li>●医療事故調査制度の現状報告</li> <li>●H28 年度 委員会活動計画 部署内 KYT 強化月間の目標達成率</li> <li>●医療事故対応マニュアル改正の周知</li> <li>●研修会案内</li> <li>●その他 保健所から通知「医薬品の使用等に関する医療安全対策について」</li> </ul>

回数	開催日	内容
10	平成 29 年 1 月 25 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>●医療安全報告分析表について（12 月分）</li> <li>●医療安全報告事前検討部会の報告（12 月分、前月迄の追加分）</li> <li>●Good job</li> <li>●医療安全対策委員巡視報告</li> <li>●医療安全情報</li> <li>●医療事故調査制度の現状報告</li> <li>●H28 年度 委員会活動計画</li> <li>●研修会案内</li> </ul>
11	平成 29 年 2 月 22 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>●医療安全報告分析表について（1 月分）</li> <li>●医療安全報告事前検討部会の報告（1 月分、前月までの追加分）</li> <li>●Good job</li> <li>●医療安全対策委員巡視報告</li> <li>●医療安全情報</li> <li>●医療事故調査制度の現状報告</li> <li>●H28 年度 委員会活動計画 後期医療安全全体研修会アンケート結果</li> <li>●医療安全管理室長会議（12 月）報告</li> <li>●研修会案内</li> </ul>
12	平成 29 年 3 月 23 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>●医療安全報告分析表について（2 月分）</li> <li>●医療安全報告事前検討部会の報告（2 月分、前月迄の追加分）</li> <li>●Good job</li> <li>●医療安全対策委員巡視報告</li> <li>●医療安全情報</li> <li>●医療事故調査制度の現状報告</li> <li>●H28 年度 委員会目標 委員会活動計画 活動評価</li> <li>●医療安全管理室長会議（3 月）報告 豊田厚生病院における東海北陸厚生局適時調査の指摘事項 画像診断報告書の確認不足</li> <li>●医療安全管理システム簡易操作マニュアル</li> <li>●研修会案内</li> </ul>

### 3. 平成 28 年度の活動要約

- 医療安全報告書提出数は 799 件、前年比 112.2%であった。その内、医療事故報告件数は 11 件であった。

- 医療安全カンファレンス報告書を活用し、医療安全のP D C Aサイクルを機能させた。カンファレンス実施件数 73 件であった。
- 全体研修会を 2 回実施した。研修会参加率は、前期研修 63%、後期研修 67%。研修会欠席者に対しては、各部署の委員が、資料配付と共に説明した。
- 体験型医療安全研修は、ME が計画的に実施し、述べ参加者数は 214 名であった。
- マニュアルの改正を行い、委員を通して部署内で周知を図った。
- 平成 29 年度から稼動するインシデント管理システムの周知を図った。

## ■ 安全衛生委員会

### 1. 目的

職員の業務上の災害防止及び健康増進を図ること。

### 2. 平成28年度の活動内容

回数	開催日	内容
1	平成28年4月25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年度定期健康診断について</li> <li>感染症4種ワクチン接種（2回目）について</li> </ul>
2	平成28年5月23日	<ul style="list-style-type: none"> <li>ストレスチェック制度の概要と実施要領について</li> <li>ストレスチェック説明会の開催について</li> </ul>
3	平成28年6月27日	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期健康診断の受診状況について</li> </ul>
4	平成28年7月25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期健康診断の検討事項について</li> </ul>
5	平成28年8月22日	<ul style="list-style-type: none"> <li>B型肝炎ワクチン接種（1・2回目）について</li> </ul>
6	平成28年9月26日	<ul style="list-style-type: none"> <li>インフルエンザ予防接種について</li> <li>ストレスチェック後の医師面接指導について</li> </ul>
7	平成28年10月24日	<ul style="list-style-type: none"> <li>インフルエンザ予防接種について</li> <li>平成27年度特定業務従事者健診について</li> </ul>
8	平成28年11月28日	<ul style="list-style-type: none"> <li>インフルエンザ予防接種状況について</li> <li>結核患者との濃厚接触者への対応について</li> </ul>
9	平成28年12月26日	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホルムアルデヒドに係る特定業務従事者健診について</li> </ul>
10	平成29年1月23日	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年度メンタルヘルスケア研修会について</li> </ul>
11	平成29年2月27日	<ul style="list-style-type: none"> <li>B型肝炎ワクチン接種（3回目）について</li> </ul>
12	平成29年3月28日	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年度年間スケジュールについて</li> <li>平成29年度定期健康診断について</li> </ul>

### 3. 平成28年度の活動要約

平成27年度から引き続き感染症4種（風しん・麻疹・水痘・ムンプス）の予防接種（2回目）を実施した。

また、平成28年度より開始されたストレスチェック制度について、職員の理解度を深めて受診率向上に繋がるよう、説明会を開催した。

## ■ 防災対策委員会

### 1. 目的

知多厚生病院における火災、震災その他の災害の予防及び人命の安全並びに災害の防止を図ることを目的とする。

### 2. 平成28年度の活動内容

回数	開催日	内容
1	平成28年8月1日	・知多厚生病院地域災害連携訓練について ・大規模地震時医療活動訓練について
2	平成29年1月5日	・知多厚生病院地域災害連携訓練に関する検証結果について ・知多厚生病院地域災害連携訓練反省会について ・平成28年度第2回総合防災訓練について
3	平成29年3月29日	・消防計画改正（案）・防災マニュアル改正（案）について ・防災対策小委員会の活動報告について ・防災対策に関する年間計画について

### 3. 平成28年度の活動要約

平成28年度大規模地震時医療活動訓練実施要綱（内閣府主催）について協議を行ない、当院の訓練内容について協議を行なった。

災害時の全体の流れを把握できるようにするため、エマルゴトレインシステム（机上訓練）を実施し、職員の啓発に努めた。

また、指揮命令系統を明確にするために災害時の組織図の見直しを行ない、知多厚生病院地域災害連携訓練にて検証を行なった。訓練実施後に検証結果を報告し、次年度に向けた課題を確認した。

消防法に基づく総合防災訓練では、夜間想定での訓練を協議し実施した。

## ■ 院内感染対策委員会

### 1. 目的

院内感染の予防と感染症発生時に迅速かつ適切なる対応を積極的に行い、院内衛生の万全を期すること。

### 2. 平成28年度の活動内容

院内感染対策委員会（毎月第1木曜日 16：45～）

定例報告事項

1. 院内感染症報告について
2. 院内感染対策リンクナース委員会報告
3. 抗菌剤使用報告
4. 手指消毒剤の使用量について
5. 部署別検出菌出現頻度報告
6. 厚生労働省 院内感染対策サーベイランス事業の新着情報について
7. ICT ラウンドについて
8. 針刺し・切創事故報告について
9. 知多半島医療圏感染対策連携会議について
10. マニュアルの変更について
11. 抗菌薬と消毒薬の採用・削除について
12. 外部研修会のお知らせ

回数	開催日	内容
1	平成28年4月7日	抗菌薬と消毒薬の変更一覧 次亜塩素酸ナトリウムの開封後の使用期限について
2	平成28年5月12日	平成27年度感染症指定医療機関運営費補助金の現地確認監査が平成28年4月21日に実施され、指摘事項はなかった。 入室制限の表示を作成。 結核菌の培養検査について（8週間）について、外注にする方向で医局で議論することとなった。
3	平成28年6月4日	感染防止対策加算の解釈について クロルヘキシジングルコン酸塩を含有する外皮用殺菌消毒剤に係る「使用上の注意」の改訂について 狂犬病の曝露後ワクチン接種等のアンケート調査について 炭疽菌等の汚染のおそれのある郵便物等の取扱いについて
4	平成28年7月7日	定期的な感染検査のあり方について C. difficile の検査試薬の変更について
5	平成28年8月4日	感染管理支援システムについて 蚊媒介感染症の診療ガイドラインについて デング熱のラピッドテストについて

回数	開催日	内容
6	平成 28 年 9 月 8 日	感染管理支援システムについて 食中毒警報の発令について 愛知県結核菌の遺伝子型別検査事業の実施について 中部国際空港保健衛生管理運営協議会担当者会議の報告
7	平成 28 年 10 月 6 日	感染管理システムについて 中部国際空港の患者搬送訓練について 感染症対策に関する行政評価・監視に係る調査協力依頼について E 型肝炎発生届受理時の検体の確保等について 5 価経口弱毒生ロタウイルスワクチン「ロタテック®内用液」接種後の腸重積症の報告例について 集団かぜ（インフルエンザ様疾患）の発生について 腸チフスの発生について
8	平成 28 年 11 月 10 日	感染管理システムについて 中部国際空港の患者搬送訓練について 感染症対策に関する行政評価・監視に係る調査協力依頼について 集団かぜ（インフルエンザ様疾患）の発生について 腸チフスの発生について
9	平成 28 年 12 月 8 日	新型インフルエンザ対策事業継続計画」について 感染管理システムについて 中部国際空港の患者搬送訓練について 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する届出の基準等について 抗インフルエンザウイルス薬の使用上の注意に関する注意喚起の徹底について 平成 28 年度 今冬のインフルエンザ総合対策について インフルエンザ Q&A について 高病原性鳥インフルエンザ（H5 亜型）が疑われる事例の発生について 医療機関等におけるノロウイルスの院内感染予防対策の徹底について
10	平成 29 年 1 月 5 日	感染管理システムについて 平成 28 年度愛知県新型インフルエンザ等対策総合訓練（机上）実施について 中部国際空港貨物地区におけるネッタイシマカ対策について 末梢点滴のルート製品変更の提案について 中部国際空港の患者搬送訓練について 集団かぜ（インフルエンザ様疾患）の発生について

1 1	平成 29 年 2 月 2 日	感染管理システムについて 新型インフルエンザ等対策訓練の実施について 集団かぜ（インフルエンザ様疾患）の発生について 平成 28 年度愛知県新型インフルエンザ等対策総合訓練（机上）実施について
1 2	平成 29 年 3 月 2 日	感染管理システムについて 中部国際空港の患者搬送訓練について 集団かぜ（インフルエンザ様疾患）の発生について 鳥インフルエンザ A（H7N9）の現状と対応について

### 3. 研修会等

回数	開催日	院内研修
1	平成 28 年 4 月 3 日	新採用職員研修 講師：仮屋小百合
2	平成 28 年 6 月 15 日 平成 28 年 6 月 30 日	全体研修会「手洗いの徹底」 講師：仮屋小百合 参加人数：255 人（参加率 70%）
3	平成 28 年 12 月 21 日 平成 29 年 1 月 6 日	全体研修会「ノロウイルス対策とインフルエンザ対策」 講師：仮屋小百合 参加人数：249 人（参加率 70%）

回数	開催日	ランチミーティング
1	平成 28 年 5 月 11 日	プレベナー肺炎球菌ワクチンについて
2	平成 28 年 5 月 25 日	カンサイダス・キュービシン
3	平成 28 年 6 月 15 日	ワクチンについて
4	平成 28 年 7 月 13 日	ニューモバックスについて
5	平成 28 年 8 月 10 日	今、エビデンス以上の周術期・感染対策を
6	平成 28 年 9 月 28 日	医療・介護関連肺炎診療ガイドラインについて
7	平成 28 年 10 月 5 日	特定抗菌薬について
8	平成 28 年 11 月 9 日	キュービシンについて
9	平成 28 年 11 月 16 日	ニューキノロン系について
10	平成 28 年 12 月 14 日	カルバペネム系について
11	平成 29 年 1 月 18 日	ザイボックスについて
12	平成 29 年 3 月 10 日	周手術期感染対策について」

### 4. 平成 28 年度の活動要約

中部国際空港との患者搬送訓練を 8 回行い、中部国際空港から当院に到着するまでの時間経過について確認を行った。また、ブラインドで模擬患者の受入訓練を 2 月 17 日に行った。知多保健所とは、3 月 1 日に MERS 疑い模擬患者の受入訓練を行った。

季節性インフルエンザ罹患職員への対応について、予防投与時の費用についてと予

防投薬期間中の行動制限についての取り決めをした。

感染管理支援システム導入に向けて、海南病院に運用の見学を行った。またメーカーとの打ち合わせとして、ワーキンググループを7回開催し、3月21日の電子カルテ更新で感染管理支援システム BACT Web が導入された。

## ■ 廃棄物管理委員会

### 1. 目的

廃棄物処理及び清掃に関する法律に従って、適正に管理及び処理することを目的とする。

### 2. 平成28年度の活動内容

回数	開催日	内容
1	平成29年2月7日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業廃棄物排出量について</li> <li>・産業廃棄物処理実績・処理計画について</li> <li>・産業廃棄物処理現地確認について</li> <li>・産業廃棄物処理マニュアル変更について</li> <li>・その他</li> </ul>

### 3. 平成28年度の活動要約

昨年度の産業廃棄物排出量より、今年度の廃棄物全体の排出量は前年対比で増加しているが、入院患者数の増加が原因であることを確認した。

法律に基づき特別管理産業廃棄物・産業廃棄物中間処理施設現地確認を行ない適切に処理されていることを確認した。

廃棄物処理マニュアルの見直しとして、マニュアル費用削減の観点より感染性廃棄物容器（ペール缶）の容量を45リットルから40リットルに変更、人事異動に伴う管理体制組織図を見直し、委員の追加（感染制御部）の協議を行なった。

## 輸血療法委員会

### 1. 目的

輸血療法の適応、血液製剤の選択、輸血・検査項目・輸血実施時の手続き、血液製剤の保管管理、院内での血液製剤の使用状況、適正使用の徹底、輸血療法に伴う事故や副作用・合併症対策等について検討し、適正な輸血療法を推進すること。

### 2. 平成28年度の活動内容

回数	開催日	内容
1	平成28年4月23日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・輸血製剤・血漿分画製剤の使用状況(H28年3月)</li> <li>・輸血感染症の実施状況(H28年3月分)</li> <li>・廃棄血の本数及び廃棄金額の報告(H28年3月分)</li> <li>・輸血用製剤の査定・再審結果報告</li> <li>・輸血時副作用発生報告</li> <li>・輸血感染症検査実施状況について</li> <li>・科学的根拠に基づいたアルブミン製剤の使用ガイドラインについて</li> <li>・報告書確認印について</li> <li>・院内在庫数および廃棄血液について</li> </ul>
2	平成28年5月26日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・輸血製剤・血漿分画製剤の使用状況(H28年4月)</li> <li>・輸血感染症の実施状況(H28年4月分)</li> <li>・廃棄血の本数及び廃棄金額の報告(H28年4月分)</li> <li>・輸血用製剤の査定・再審結果報告</li> <li>・輸血時副作用発生報告</li> <li>・エボラの証人について</li> <li>・輸血用製剤における搬送バックについて</li> <li>・輸血時におけるルートについて(中央処置室)</li> </ul>
3	平成28年6月23日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・輸血製剤・血漿分画製剤の使用状況(H28年5月分)</li> <li>・輸血感染症の実施状況(H28年5月分)</li> <li>・廃棄血の本数及び廃棄金額の報告(H28年5月分)</li> <li>・輸血用製剤の査定・再審結果報告</li> <li>・輸血時副作用発生報告</li> <li>・手術室-検査科間の連携体制について</li> <li>・実績登録の対応について</li> <li>・輸血看護記録について</li> </ul>
4	平成28年8月25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・輸血製剤・血漿分画製剤の使用状況(H28年6月・7月分)</li> <li>・輸血感染症の実施状況(H28年6月・7月分)</li> <li>・廃棄血の本数及び廃棄金額の報告(H28年6月・7月分)</li> <li>・輸血用製剤の査定・再審結果報告</li> <li>・輸血時副作用発生報告</li> <li>・出庫後、投与中止となった製剤の返却期限について</li> </ul>

回数	開催日	内容
5	平成 28 年 10 月 27 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・輸血製剤・血漿分画製剤の使用状況(H28年8月・9月分)</li> <li>・輸血感染症の実施状況(H28年8月・9月分)</li> <li>・廃棄血の本数及び廃棄金額の報告(H28年8月・9月分)</li> <li>・輸血用製剤の査定・再審結果報告</li> <li>・輸血時副作用発生報告</li> <li>・カルテ更新について</li> </ul>
6	平成 29 年 3 月 2 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子カルテ移行および輸血システム更新時における対応について</li> <li>・輸血システム更新に伴う報告書仕様変更について</li> <li>・輸血看護記録について</li> </ul>
7	平成 29 年 3 月 30 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子カルテおよび輸血システム更新時後の対応について</li> <li>・新規報告書運用確認について</li> <li>・当著担当者引き継ぎ時の輸血看護記録について</li> </ul>

### 3. 平成 28 年度の活動要約

- ① 輸血療法の適応、院内での血液製剤の使用状況、適正使用の徹底
- ② 「輸血管理料 I」施設基準維持に向けたデータの抽出および検討
- ③ 輸血用製剤の査定、再審結果報告
- ④ 輸血療法における医療安全報告書の対応策の検証
- ⑤ 院内在庫数変更
- ⑥ 輸血用製剤の搬送バック更新
- ⑦ 手術室 - 検査科間における連携体制について
- ⑧ カルテ更新時における対応
- ⑨ 輸血システム更新における報告書仕様変更
- ⑩ 輸血療法委員会からのお知らせ回覧

No. 11 輸血報告書&院内血液製剤在庫数変更

No. 12 輸血報告書&適合表仕様変更

また、②、⑤および臨床側のご協力の下、廃棄単位数の大幅な減少と輸血管理料および適正加算算定患者増加に伴い、輸血療法における回収金額は大幅に改善が見られ、黒字へ転向した。

	平成28年度	平成27年度	差
RBC廃棄 (単位)	42	94	△52
FFP廃棄 (単位)	6	42	△36
廃棄金額	¥413,775	¥1,171,484	△757,709
算定者数 (名)	274	232	42
算定金額	¥931,600	¥788,800	¥142,800
算定金額－廃棄金額	¥517,825	－¥382,684	

## ■ 医療ガス安全管理委員会

### 1. 目的

医療ガス（診療の用に供する酸素・各種麻酔ガス・吸引・医療用圧縮空気・窒素等）設備の安全管理を図り、患者の安全を確保することを目的とする。

### 2. 平成28年度の活動内容

回数	開催日	内容
1	平成29年2月20日	<ul style="list-style-type: none"><li>・医療ガス安全管理委員会名簿について</li><li>・平成28年度医療ガス設備保守点検結果報告について</li><li>・平成29年度医療ガスに関する年間計画について</li><li>・医療ガス啓蒙教育</li><li>・その他</li></ul>

### 3. 平成28年度の活動要約

医療ガス設備保守点検結果の報告および翌年度の年間計画について協議を行なった。医療ガスに関する啓蒙教育として「ヒヤリハット事故事例（ボンベ編）」について職員教育を実施した。

## ■ 広報委員会

### 1. 目的

地域住民に向けた病院の広報活動に関する事項について提案・協議し、円滑な病院運営に役立てること。

### 2. 平成28年度の活動内容

回数	開催日	内容
1	平成28年4月15日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会規程・委員会名簿について</li> <li>・広報委員会年間スケジュールについて</li> <li>・『ちっタイムズ』について</li> <li>・『知ったより』7月号について</li> </ul>
2	平成28年5月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『知ったより』7月号について</li> <li>・平成27年度年報作成依頼について</li> </ul>
3	平成28年6月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『知ったより』10月号について</li> <li>・『ちっタイムズ』第7号について</li> </ul>
4	平成28年7月15日 (文書開催)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ閲覧数報告</li> <li>・ホームページ修正状況について</li> </ul>
5	平成28年8月19日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『知ったより』10月号について</li> <li>・『ちっタイムズ』第7号について</li> <li>・平成27年度広報委員会年報について</li> </ul>
6	平成28年9月16日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『知ったより』1月号について</li> <li>・機関誌『こうせい』11月号について</li> </ul>
7	平成28年10月21日 (文書開催)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ閲覧数報告</li> <li>・ホームページ修正状況について</li> </ul>
8	平成28年11月18日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『知ったより』1月号について</li> <li>・『ちっタイムズ』第8号について</li> </ul>
9	平成28年12月16日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『知ったより』4月号</li> <li>・『ちっタイムズ』第8号について</li> <li>・ホームページ保守・管理者の変更について</li> </ul>
10	平成29年1月20日 (文書開催)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ閲覧数報告</li> <li>・ホームページ修正状況について</li> </ul>
11	平成29年2月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『知ったより』4月号について</li> <li>・『ちっタイムズ』第8号について</li> </ul>
12	平成29年3月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『知っタイムズ』第8号について</li> <li>・『知ったより』配布部数について</li> </ul>

### 3. 平成28年度の活動要約

- ・病院広報誌『知ったより』と院内広報誌『ちっタイムズ』の発刊を主に活動した。
- ・リアルタイムなホームページ更新を目標に毎月閲覧数のチェックや修正を行った。
- ・ホームページの保守・管理業者について検討し、次年度から新規業者に依頼することを決定した。

## ■ 教育研修委員会

### 1. 目的

- ・全職員に共通して必要を考えられる教育・研修について、その体制・計画立案・実施・結果評価・評価フィードバックをすることで、より高度なチーム医療の構築を目指すこと。
- ・患者自身の医療への主体的な参加を支援するための活動（講演会・健康教室開催等）に関して検討すること。

### 2. 平成28年度の活動内容

回数	開催日	内容
1	平成28年5月27日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度新規採用者オリエンテーションの報告について</li> <li>・新入職員メッセージの送付について</li> <li>・インターンシップの受入れ（予定）について</li> </ul>
2	平成28年7月22日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中途採用オリエンテーションについて</li> <li>・平成28年度職場体験学習について</li> </ul>
3	平成28年11月25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度新規採用者オリエンテーションについて</li> <li>・平成29年度日本農村医学会報告会について</li> <li>・平成29年度篠島診療所研修会の開催について</li> <li>・平成29年度事業所内集合研修予定の提出について</li> </ul>
4	平成29年2月24日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度新規採用者オリエンテーションについて</li> </ul>
5	平成29年3月24日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度新規採用者オリエンテーションについて</li> <li>・教育研修委員会規程の改正について</li> <li>・平成29年度職員研修計画について</li> </ul>

### 3. 平成28年度の活動要約

- ・4月に新規採用者オリエンテーションを実施した。
- ・7月から8月にかけて地元中学生、高校生を対象とした職場体験実習の受け入れを行うとともに、12月には日本農村医学会報告会を開催した。

## ■ 図書管理委員会

### 1. 目的

- ・図書室運営に関する事項について協議し、円滑な運営を図ること。
- ・図書購入・貸出について必要な手続きを定め、遂行すること。

### 2. 平成28年度の活動内容

活動実績なし。

## ■ 臨床研修委員会

### 1. 目的

研修医が所期の目的を達成するために、臨床研修プログラム、部署間・職種間との連携、研修医の処遇等を充実させることを目的とする。

### 2. 平成28年度の活動内容

回数	開催日	内容
1	平成29年3月30日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度初期研修医採用者について</li> <li>・知多厚生病院臨床研修指導医について</li> <li>・平成29年度初期研修医ローテーション結果について</li> <li>・各診療科の初期研修プログラムの見直しについて</li> <li>・平成29年度へき地医療臨床研修受入れ予定について</li> <li>・平成29年度海南病院研修医受入れ（篠島診療所）予定について</li> <li>・平成29年度初期研修医マッチング予定について</li> </ul>

### 3. 平成28年度の活動要約

初期研修医確保に向けて、各種説明会等へ参加するとともに、へき地医療臨床研修等の受入れを積極的に行った。

## ■ 臨床研修管理委員会

### 1. 目的

知多厚生病院及び関連病院、関連施設における医師臨床研修を統括管理することを目的とする。

### 2. 平成28年度の活動内容

回数	開催日	内容
1	平成29年3月30日	<ul style="list-style-type: none"><li>・平成28年度初期研修医修了評価について</li><li>・平成28年度初期研修医ローテート結果について</li><li>・平成29年度初期研修医採用者について</li><li>・平成30年度臨床研修プログラムについて</li></ul>

### 3. 平成28年度の活動要約

平成28年度をもって初期研修を修了する初期研修医の評価を行い、修了認定について了承を得た。

## ■ 患者サービス向上委員会

### 1. 目的

『患者さんから選ばれる病院』を目指し、より良い患者サービスを提供し、患者満足度の向上を図ること。

### 2. 平成28年度の活動内容

回数	開催日	内容
1	平成28年4月14日	・平成28年度委員会年間活動について
2	平成28年5月12日	・外来患者アンケート（案）について ・外来患者アンケート実施要領（案）について
3	平成28年6月9日	・外来患者アンケート（案）について ・平成28年度接遇研修会開催について
4	平成28年7月14日	・外来患者アンケートについて ・平成28年度接遇研修会報告について
5	平成28年9月8日	・外来患者アンケート結果について ・入院患者アンケート実施について
6	平成28年11月10日	・入院患者アンケート結果について
7	平成28年12月8日	・身だしなみラウンドについて ・平成29年度CS委員会年間目標について
8	平成29年1月12日	・平成29年度CS委員会年間目標について ・厚生連本部主催患者サービス向上研修会について

### 3. 平成28年度の活動要約

外来患者及び入院患者に対してアンケートを実施し、結果を広報誌「知ったより」に掲載した。

患者接遇向上のために外部講師を招き、新人職員、全職種を対象とした接遇研修会を実施した。

各部署を回り、身だしなみラウンドを実施した。

## ■ 医療情報システム委員会

### 1. 目的

医療情報の管理・運営の向上を目指し、医療情報システムが円滑かつ安定稼動することにより、病院の発展に寄与することを目的とする。

### 2. 平成28年度の活動内容

回数	開催日	内容
1	平成28年4月18日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前回議事内容について</li> <li>・ NECシステム定例会からの報告について</li> <li>・ 医療情報室からの報告について</li> <li>・ 定型文書追加修正について</li> <li>・ 医療情報システム障害時緊急連絡網について</li> <li>・ 医療情報システム委員会名簿について</li> </ul>
2	平成28年5月30日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前回議事内容について</li> <li>・ NECシステム定例会からの報告について</li> <li>・ 医療情報室からの報告について</li> <li>・ 定型文書追加修正について</li> <li>・ インターネット端末 Windows10 へのアップグレードについて</li> <li>・ 薬袋プリンタ (LS-C8500DN) 印字が薄くなる障害について</li> <li>・ 医療情報システム更新メーカー選定および取得申請に向けて</li> </ul>
3	平成28年6月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前回議事内容について</li> <li>・ NECシステム定例会からの報告について</li> <li>・ 医療情報室からの報告について</li> <li>・ 定型文書追加修正について</li> <li>・ 医療情報システム更新</li> <li>・ 電子カルテシステム定期点検について</li> <li>・ 委員会時間内開催の検討について</li> </ul>
4	平成28年7月11日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前回議事内容について</li> <li>・ NECシステム定例会からの報告について</li> <li>・ 医療情報室からの報告について</li> <li>・ 医療情報システム委員会規定の変更について</li> <li>・ 医療情報システム委員会名簿の変更について</li> </ul>
5	平成28年8月8日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前回議事内容について</li> <li>・ NECシステム定例会からの報告について</li> <li>・ 医療情報室からの報告について</li> <li>・ 患者基本情報の薬剤禁忌拡張コメント機能について</li> <li>・ テンプレート作成、DWH 説明会の開催について</li> </ul>

回数	開催日	内容
6	平成 28 年 9 月 12 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前回議事内容について</li> <li>・ N E C システム定例会からの報告について</li> <li>・ 医療情報室からの報告について</li> <li>・ 定型文書追加修正について</li> <li>・ ID-Link カルテ文書への公開について</li> <li>・ 医療情報システム更新時の入外連動について</li> </ul>
7	平成 28 年 10 月 17 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前回議事内容について</li> <li>・ N E C システム定例会からの報告について</li> <li>・ 医療情報室からの報告について</li> <li>・ 次期電子カルテシステムのカスタマイズについて</li> <li>・ マスタ作成のための研修医室利用スケジュールについて</li> <li>・ 2016 年 9 月 26 日発生システム障害報告について</li> <li>・ 電子カルテシステム定期点検について</li> <li>・ 電気設備年次点検時（11/13、23）の医療情報システムの対応について</li> </ul>
8	平成 28 年 11 月 14 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前回議事内容について</li> <li>・ N E C システム定例会からの報告について</li> <li>・ 医療情報室からの報告について</li> <li>・ 患者基本・基本情報項目検討について</li> <li>・ 患者基本・患者情報（注意患者アラート機能）検討について</li> <li>・ 採血管準備システム障害時マニュアルの作成について</li> <li>・ 医療情報システムマスタ担当者の変更について</li> </ul>
9	平成 28 年 12 月 12 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前回議事内容確認について</li> <li>・ N E C システム定例会からの報告について</li> <li>・ 医療情報室からの報告について</li> <li>・ 定型文書追加修正について</li> <li>・ 次期電子カルテシステム操作研修計画について</li> <li>・ 医療情報システム更新に伴うシステム切替スケジュール対応について</li> <li>・ 入院時（入院確認時）の入外連動について</li> <li>・ 2016 年未年始における電子カルテシステム関連運用について</li> </ul>

回数	開催日	内容
10	平成 29 年 1 月 16 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前回議事内容確認について</li> <li>・ N E C システム定例会からの報告について</li> <li>・ 医療情報室からの報告について</li> <li>・ 電子カルテ端末の E ドライブ内にある必要データの移行について</li> <li>・ 医療情報ネットワーク更新工事について</li> <li>・ 次期電子カルテシステム操作研修名簿について</li> </ul>
11	平成 29 年 2 年 13 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前回議事内容確認について</li> <li>・ N E C システム定例会からの報告について</li> <li>・ 医療情報室からの報告について</li> <li>・ 医療情報システムにおける「外字」の確認方法について</li> <li>・ 眼科・麻酔管理システム 電子カルテからの参照方法について</li> <li>・ システム更新当日の端末展開・ネットワーク切替計画について</li> <li>・ 電子カルテリハーサルについて</li> <li>・ 医療情報システム更新に伴うシステム停止時の対応について</li> </ul>
12	平成 29 年 3 年 1 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前回議事内容確認について</li> <li>・ N E C システム定例会からの報告について</li> <li>・ 医療情報室からの報告について</li> <li>・ システム更新前後の追加注意事項について</li> <li>・ 部門ベンダー立会い日程表について</li> <li>・ リハビリシステムの参照方法について</li> <li>・ デバイス制御システムの運用について</li> </ul>

### 3. 平成 28 年度の活動要約

医療情報システムの障害対応や機能強化を随時行った。

電子カルテシステム更新に向けて各部署とWGを行い、新システムの要望についてはNECや各部門システムメーカーと相談をしながら更新準備を進めていき、委員会の中で各部署にヒアリングやフィードバックを行った。

## ■ 診療情報管理委員会

### 1. 目的

診療情報管理業務は、医療の安全を保守するために、診療記録を適切に管理し活用することにより医療の質を向上させることを目的とする。

### 2. 平成28年度の活動内容

回	開催日	内容
1	平成28年4月25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第12回診療情報管理委員会議事録について</li> <li>・ 退院サマリー記入状況について</li> <li>・ 統計資料について</li> <li>・ 診療録質的点検について</li> <li>・ 委員会委員名簿について</li> <li>・ 警察から依頼された検体等の提供について</li> </ul>
2	平成28年5月23日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第1回診療情報管理委員会議事録について</li> <li>・ 退院サマリー記入状況について</li> <li>・ 統計資料について</li> <li>・ 診療録質的点検について</li> <li>・ 警察から依頼された検体等の提供について</li> <li>・ 田中部長6月末退職について</li> </ul>
3	平成28年6月27日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第2回診療情報管理委員会議事録について</li> <li>・ 退院サマリー記入状況について</li> <li>・ 統計資料について</li> <li>・ 診療録質的点検について</li> </ul>
4	平成28年7月25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第3回診療情報管理委員会議事録について</li> <li>・ 退院サマリー記入状況について</li> <li>・ 統計資料について</li> <li>・ 診療録質的点検について</li> <li>・ 警察から依頼された検体等の提供に関する同意書について</li> <li>・ 外科、整形外科の統計資料要望について</li> </ul>
5	平成28年8月22日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第4回診療情報管理委員会議事録について</li> <li>・ 退院サマリー記入状況について</li> <li>・ 統計資料について</li> <li>・ 診療録質的点検について</li> <li>・ 警察から依頼された検体等の提供に関する同意書について</li> <li>・ 委員会委員名簿について</li> </ul>
6	平成28年9月28日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第5回診療情報管理委員会議事録について</li> <li>・ 退院サマリー記入状況について</li> <li>・ 統計資料について</li> <li>・ 診療録質的点検について</li> <li>・ 警察から依頼された検体等の提供に関する同意書について</li> </ul>

回	開催日	内容
7	平成 28 年 10 月 24 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 6 回診療情報管理委員会議事録について</li> <li>・ 退院サマリー記入状況について</li> <li>・ 統計資料について</li> <li>・ 診療録質的点検について</li> <li>・ 警察から依頼された検体等の提供に関する取扱いについて</li> <li>・ 回復期リハ病棟転棟時退院サマリー作成について</li> </ul>
8	平成 28 年 11 月 28 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 7 回診療情報管理委員会議事録について</li> <li>・ 退院サマリー記入状況について</li> <li>・ 統計資料について</li> <li>・ 診療録質的点検について</li> <li>・ 回復期リハ病棟転棟時の退院サマリー作成について</li> <li>・ 警察から依頼された検体等の提供に関する取扱いの掲示について</li> </ul>
9	平成 28 年 12 月 26 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 8 回診療情報管理委員会議事録について</li> <li>・ 退院サマリー記入状況について</li> <li>・ 統計資料について</li> <li>・ 診療録質的点検について</li> <li>・ 平成 20・21 年紙カルテ、フィルム等の処分について</li> <li>・ 診療録等記載について</li> <li>・ 医師監査票項目追加について</li> </ul>
10	平成 29 年 1 月 30 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 9 回診療情報管理委員会議事録について</li> <li>・ 退院サマリー記入状況について</li> <li>・ 統計資料について</li> <li>・ 診療録質的点検について</li> <li>・ 平成 21 年 8 月～の退院サマリー作成状況について</li> </ul>
11	平成 29 年 2 月 27 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 10 回診療情報管理委員会議事録について</li> <li>・ 退院サマリー記入状況について</li> <li>・ 統計資料について</li> <li>・ 診療録質的点検について</li> </ul>
12	平成 29 年 3 月 27 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 11 回診療情報管理委員会議事録について</li> <li>・ 退院サマリー記入状況について</li> <li>・ 統計資料について</li> <li>・ 診療録質的点検について</li> <li>・ 紙カルテ、フィルム等の廃棄について</li> <li>・ 統計資料について</li> <li>・ 委員交代について</li> </ul>

### 3. 平成28年度の活動要約

- 警察等からの依頼で検体を提供する場合の運用が曖昧だったため、同意書を作成し運用方法を明確にした。
- カルテ記事に「診療録等記載マニュアル」に定められている、「記載してはいけないこと」が記載されているため、医師に周知を行った。
- 質的点検項目を見直し、医師用の監査票に「私的なメモや患者の診療に直接関係の無い伝言の記載」「安易なメモや患者の診療に直接関係の無い伝言の記載」の2項目を追加した。
- 統計資料の提示に関しては、平成27年度科別初診患者数、平成27年度科別1日当り患者数、28年7月分手術分類別、診療科別、性別手術件数を作成した。また、電子カルテ導入から平成28年までのどの疾患で受診患者が多いかを科別でグラフ化し、管理者会議に資料提示する資料を作成した。提示については、29年度に行う予定である。
- 平成20、21年の紙カルテとフィルム等の廃棄についての計画を作成した。実施については29年度に行う予定である。

## ■ コンプライアンス委員会

### 1. 目的

法令、道徳、社会規範、倫理、内部規定について公正かつ公平な業務遂行を行うために、全職員がコンプライアンスに関する認識を深め、共通に遵守することを目的とする。

### 2. 平成28年度の活動内容

回数	開催日	内容
1	平成28年7月8日	<ul style="list-style-type: none"><li>・個人情報取扱台帳の提出について</li><li>・行動規範の自己点検に使用する「自己点検シート」について</li><li>・不当要求防止責任者講習会の受講について</li></ul>
2	平成28年10月17日	<ul style="list-style-type: none"><li>・平成28年度コンプライアンス・プログラムの進捗状況について</li><li>・コンプライアンス関連報告事例について</li></ul>
3	平成28年11月15日	<ul style="list-style-type: none"><li>・コンプライアンス事案の発生と注意喚起について</li></ul>
4	平成29年1月30日	<ul style="list-style-type: none"><li>・自己点検シートによる行動規範の自己点検結果について</li><li>・コンプライアンス関連報告事例について</li><li>・「ハラスメント防止要領」の制定と職場におけるハラスメントの防止に係る職員周知について</li></ul>
5	平成29年3月31日	<ul style="list-style-type: none"><li>・平成29年度コンプライアンス・プログラムについて</li><li>・平成28年度コンプライアンスに関する取り組み状況について</li></ul>

### 3. 平成28年度の活動要約

コンプライアンスに係る「自己点検シート」の活用により、職員自身の振り返りを促すとともに、周知活動を繰り返し実施し、法令遵守の環境整備に努めた。

院内外で発生したコンプライアンス事案に係る情報共有を図るとともに、注意喚起を行い再発防止に努めた。

近年のハラスメント問題への対応を進めるため、愛知県厚生連において「ハラスメント防止要領」が制定されたことから、職場におけるハラスメント防止について職員周知を実施した。

## ■ 在宅療養支援委員会

### 1. 目的

患者とその家族が安心して在宅療養に移行できるシステムを検討する。

### 2. 平成28年度活動内容

回数	開催日	内容
1	平成28年4月22日	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年度委員会規程・名簿・目標・活動計画提示</li> <li>平成27年度年報提示</li> <li>診療報酬疑義解釈「退院支援加算」について</li> <li>地域包括ケアシステムについて</li> </ul>
2	平成28年5月27日	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人目標の確認</li> <li>在宅委員会マニュアル一部差し替え</li> <li>退院指導パンフレット「体拭き・着替え」「オムツ交換・陰部洗浄」</li> </ul>
3	平成28年6月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>薬剤師退院支援マニュアルについて</li> <li>訪問看護の麻薬の取り扱いマニュアルについて</li> <li>在宅委員会マニュアル一部差し替え</li> <li>退院指導パンフレット「体拭き・着替え」「オムツ交換・陰部洗浄」</li> </ul>
4	平成28年7月22日	<ul style="list-style-type: none"> <li>薬剤師退院支援マニュアルについて</li> <li>ビギナー研修について</li> <li>退院指導パンフレット「体拭き・着替え」「オムツ交換・陰部洗浄」</li> </ul>
5	平成28年8月26日	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビギナー研修「退院支援」</li> <li>退院指導パンフレット「オムツ交換・陰部洗浄」「口腔ケア」「食事介助」</li> </ul>
6	平成28年9月23日	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人目標中間評価提出</li> <li>退院指導パンフレット「口腔ケア」「食事介助」「胃瘻の取り扱い」</li> </ul>
7	平成28年10月28日	<ul style="list-style-type: none"> <li>退院支援加算に伴う「家族の意向確認」「回復期病棟転棟の流れ」について</li> <li>退院指導パンフレット「胃瘻の取り扱い」「半固形栄養の栄養剤」</li> </ul>
8	平成28年11月25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>「療養病床入所の流れ」マニュアルの確認</li> <li>「一般床から回復期への主な流れについて」差し替え</li> <li>退院指導パンフレット「胃瘻の取り扱い」「半固形栄養の栄養剤」</li> </ul>
9	平成28年12月16日	<ul style="list-style-type: none"> <li>「訪問看護利用の手順」マニュアルの確認</li> <li>退院指導パンフレット「半固形栄養の栄養剤」「吸引」「気管カニューレ</li> </ul>

回数	開催日	内容
10	平成 29 年 1 月 27 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「訪問看護利用の手順」マニュアル差し替え</li> <li>・個人目標最終評価提出</li> <li>・退院指導パンフレット「<b>HPN</b>」「<b>半固形栄養の栄養剤</b>」「吸引」「気管カニューレ」</li> </ul>
11	平成 29 年 2 月 24 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 28 年度委員会目標評価</li> <li>・退院指導パンフレット「吸引」「気管カニューレ」</li> <li>・退院指導チェックリスト</li> </ul>
12	平成 29 年 3 月 24 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 29 年度目標・日程・活動計画の検討</li> <li>・退院支援パンフレット「<b>口・鼻からの吸引</b>」「<b>気管切開されている方の吸引</b>」「<b>気管切開</b>」</li> </ul>

\*太字はパンフレット完成

### 3. 平成 28 年度活動要約

- ▲毎月、訪問看護（リハビリ）・居宅からの退院後の経過報告により連携で良かったこと、不足しておいたことを共有した。
- ▲毎月、退院困難患者の情報を共有するとともに、退院支援カンファレンスの各病棟の取組み状況を報告した。
- ▲退院支援事例検討により退院困難事例の支援を振り返った。
- ▲退院支援の仕組みの見直しや在宅支援委療委員会マニュアルの見直しを行った。
- ▲退院指導パンフレット・退院指導チェックリストの作成・見直しを行った。

## ■ アグリス・ヘルスネット検討委員会

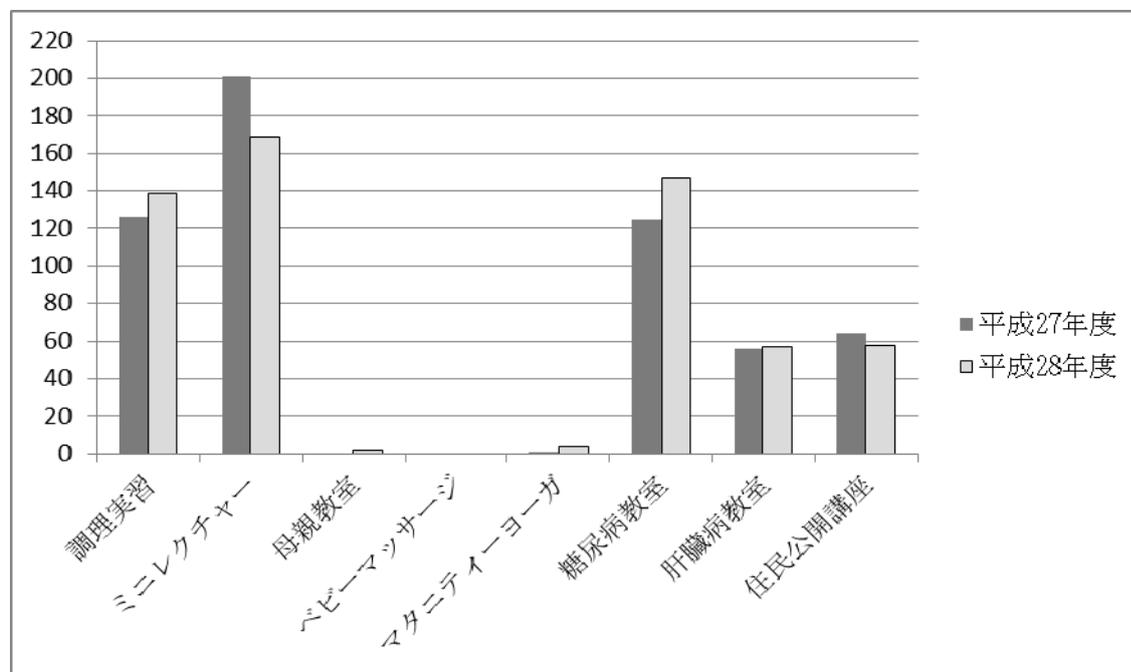
### 1. 目的

J Aあいち知多組合員およびその家族の健康を守り、安心して暮らせる地域社会づくりに貢献することを目的とする。

### 2. 平成28年度の活動内容（J Aあいち知多ポイントカード ポイント付与件数）

単位：件

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
調理実習	9	11	14	18	6	18	6	12	11	11	10	13	139
ミニレクチャー	15	21	17	17	15	18		13	16	15	11	11	169
母親教室							1	1					2
ベビーマッサージ													0
マタニティーヨーガ						2		1	1				4
糖尿病教室	22		25		26		29		22		23		147
肝臓病教室		10		10		8		10		5		14	57
住民公開講座				31					27				58
計	46	42	56	76	47	46	36	37	77	31	44	38	576



### 3. 平成28年度の活動要約

- ・当院で行う各種健康教室などでのポイント付与を継続し、J Aあいち知多組合員の支援を行った。年間のポイント付与総件数は576件となり、前年比100.5% (+3件) となった。

また、人間ドック受診時にJ Aポイントカードを持参した方への割引件数は516件と、こちらも前年と比べ増加 (+31件) となった。当院での利用が定着してきたと考えられる。

- ・地域への貢献の点では美浜町と武豊町産業まつりへJ Aあいち知多健康づくり一環として参加し、血糖、骨密度測定や認知症診断、健康相談、栄養相談などを実施し、地域住民の健康への意識醸成に寄与した。

## ■ 人事考課制度推進委員会

### 1. 目的

人事考課制度の運用面に関する課題・問題点を協議・検討し、制度の円滑な運用を図ることを目的とする。

### 2. 平成28年度の活動内容

回数	開催日	内容
1	平成28年7月8日	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年度人事考課者・被考課者について</li> <li>平成27年度人事考課結果について</li> </ul>
2	平成28年10月31日	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年度人事考課者・被考課者について</li> <li>当院における人事考課制度の運用課題について</li> </ul>
3	平成29年2月13日	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年度人事考課・平成29年度目標課題設定スケジュールについて</li> </ul>

### 3. 平成28年度の活動要約

人事考課及び目標課題の設定を円滑に行えるよう、制度の周知を実施した。

愛知県厚生連の人事考課制度見直しに向けた意見聴取を目的として、本部人事課を交え、当院における人事考課制度の運用課題について意見交換を行った。

## ■ クリニカルパス委員会

### 1. 目的

- ①クリニカルパスの運用方式を統一し、本来のクリニカルパスの利点である医療の効率化・均質化をより一層高める。
- ②クリニカルパスの適応疾患を拡大し、普及に努める事で病院全体の医療レベルの向上を図る。

### 2. 平成28年度の活動内容

回数	開催日	内容
1	平成28年4月28日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パスデータ管理について</li> <li>・パス公開中件数</li> <li>・NECVについて</li> <li>・BOMについて</li> <li>・退院後もパス終了になっていないパスの運用について</li> <li>・クリニカルパスPDCAサイクル実践日について</li> <li>・外部講演会開催案内</li> <li>・委員のメンバー変更</li> </ul>
2	平成28年5月26日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パスデータ管理について</li> <li>・パス公開中件数</li> <li>・NECVについて</li> <li>・未終了パスについて</li> <li>・クリニカルパス勉強会開催について</li> <li>・クリニカルパスPDCAサイクル実践日について</li> <li>・外部研究会、教育セミナー開催案内</li> </ul>
3	平成28年6月23日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パスデータ管理について</li> <li>・パス公開中件数</li> <li>・NECVについて</li> <li>・クリニカルパス勉強会開催について</li> <li>・PDCAサイクルについて</li> <li>・今後のクリニカルパス委員会の開催日時について</li> </ul>
4	平成28年7月29日 (文書開催)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パスデータ管理について</li> <li>・パス公開中件数</li> <li>・PDCAサイクルについて</li> </ul>
5	平成28年8月25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パスデータ管理について</li> <li>・パス公開中件数</li> <li>・済生会熊本病院クリニカルパス関連マスタについて</li> <li>・PDCAサイクル実践日について</li> </ul>

回数	開催日	内容
6	平成 28 年 9 月 15 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パスデータ管理について</li> <li>・パス公開中件数</li> <li>・済生会熊本病院クリニカルパス関連マスタについて</li> <li>・未終了パス一覧の出力について</li> </ul>
7	平成 28 年 10 月 27 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パスデータ管理について</li> <li>・パス公開中件数</li> <li>・マスタ作成について</li> <li>・進捗状況について</li> <li>・外部研究会、講演会開催案内</li> </ul>
8	平成 28 年 11 月 24 日 (文書開催)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パスデータ管理について</li> <li>・パス公開中件数</li> <li>・クリニカルパスマスタについて</li> </ul>
9	平成 28 年 12 月 22 日 (文書開催)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パスデータ管理について</li> <li>・パス公開中件数</li> <li>・新マスタ進捗状況について</li> </ul>
10	平成 29 年 1 月 26 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パスデータ管理について</li> <li>・パス公開中件数</li> <li>・パス作成の予定日について</li> <li>・外部パス大会開催案内</li> <li>・新パスマスタ移行後のパスワードについて</li> <li>・新パス・旧パスの有効開始日/終了日について</li> </ul>
11	平成 29 年 2 月 23 日 (文書開催)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パスデータ管理について</li> <li>・パス公開中件数</li> <li>・新マスタ進捗状況について</li> <li>・新パスマスタ移行後のパスワードについて</li> </ul>
12	平成 29 年 3 月 23 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パスデータ管理について</li> <li>・パス公開中件数</li> <li>・マスタコードと世代番号について</li> <li>・システム更新後の新パスと今後変更となるパスの一覧</li> <li>・バリエーション記載の記載方法について</li> <li>・委員会規程の見直し</li> <li>・平成 29 年度委員の変更</li> <li>・平成 29 年度委員会開催日予定表</li> <li>・パス内の薬剤変更方法</li> <li>・指示コメントの注意事項</li> </ul>

### 3. 平成28年度の活動要約

平成28年7月29日に勉強会を開催した。(対象「全職種」、テーマ「クリニカルパスの概要について」、講師「外科小森医師」)

平成28年8月から、委員会の開催時刻を時間外に開始していたが、時間内(基本16:30~)から開始とした。

システム更新に伴い、NECV、済生会熊本病院のBOMを導入した。

新パス作成に向けての作業を行うため、PDCAサイクルは実践せず、アウトカム、アセスメントのマスタ設定、旧パスから新パスへの移行、見直しを行うことができた。研修医室にてパス用のパソコンを新3台、旧3台操作できる環境をつくり、2016/11/01~2017/03/20の期間で作業を行った。

システム更新に伴い、マスターコードと世代番号を見直した。

新マスターコードは「□□-1□□□-□□」、世代番号は「A~Z」に設定し、作成順で並んでいるパスを科内コードや疾患・術式別コードに分けて作成することによりマスターコードは整理され、世代番号は1桁しか入力できなかったのをアルファベットにすることにより最大26回のマイナーチェンジができるように改善された。

パス内の薬剤置換や、バリエーション記録からケア項目の引用、テンプレート作成等、システム機能の活用方法を最大限に発揮し、今後のPDCAサイクルにも結びつけていきたい。

パスの使用率については、前年度と比較し、増加した。(下表1参照)

パス公開中の件数については、抗生剤を短くしたり、検査の修正を行ったり、新規パスの作成を行い、合計137件から141件に増加した。

今年度は当院クリニカルパスがまた一歩進んだ年となった。

【パス使用率】前年度との比較 (表1)

	27年度	28年度	対前年度差
内科	69.6%	73.2%	+3.6
小児科	6.9%	17.4%	+10.5
外科	62.2%	70.9%	+8.7
整形外科	29.1%	14.7%	-14.4
脳神経外科	7.6%	6%	-1.6
皮膚科	37.1%	0%	-37.1
泌尿器科	30%	28.6%	-1.4
産婦人科	78%	82.2%	+4.2
眼科	95%	99.2%	+4.2
耳鼻いんこう科	0%	1.3%	+1.3
計	57.2%	59.5%	+2.3

## ■ NST委員会

### 1. 目的

知多厚生病院に関わるすべての患者を対象として、栄養障害のある患者をもれなく抽出し、統一した基準にて栄養管理を行なう。

### 2. 平成28年度の活動内容

【定期開催】偶数月第3木曜日 16:30～

回数	開催日	内容
1	平成28年4月21日	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年度の委員交代について</li> <li>専任研修について</li> <li>処方栄養剤について</li> <li>栄養補助食品について</li> <li>来年度の勉強会について</li> <li>NST加算、INBODY算定状況の報告</li> </ul>
2	平成28年6月16日	<ul style="list-style-type: none"> <li>NST専従・専任メンバー更新について</li> <li>全回診について</li> <li>嚥下記録の仕方について（STより）</li> <li>NST回診後の実施加算入力について</li> <li>ONSカップについて（薬剤部より）</li> <li>NST加算、INBODY算定状況の報告</li> </ul>
3	平成28年8月19日	<ul style="list-style-type: none"> <li>委員の交代について</li> <li>栄養サポートチーム加算と入院時栄養食事指導料について</li> <li>栄養療法推進協議会（JCNT）の施設認定更新について</li> <li>全回診について</li> <li>ランチミーティングについて</li> <li>「ハイネイーゲル」（大塚）について</li> <li>NST加算、INBODY算定状況の報告</li> </ul>
4	平成28年10月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>委員の交代について</li> <li>摂食・嚥下機能連絡票および嚥下食マップについて</li> <li>栄養剤サンプルについて</li> <li>NST加算、INBODY算定状況の報告</li> </ul>
5	平成28年12月15日	<ul style="list-style-type: none"> <li>摂食・嚥下機能連絡票および嚥下食マップについて</li> <li>メディミルスープ製造中止による変更品について</li> <li>「ラクフィア」（クリニコ）サンプルについて</li> <li>NST介入対象者抽出について</li> <li>NST加算、INBODY算定状況の報告</li> </ul>
6	平成29年2月16日	<ul style="list-style-type: none"> <li>システム更新による食事オーダー変更点について</li> <li>NST介入対象について</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度の委員について</li> <li>・NST 加算、INBODY 算定状況の報告</li> </ul>
--	--	---

【院内勉強会】奇数月 第3木曜日 17:30~18:30

回数	開催日	内容	参加人数
1	平成28年5月19日	「サルコペニアについて」 担当；外科 村元 「アミノL40について」 担当；栄養科 木島	20
2	平成28年7月7日	「高齢糖尿病患者の栄養管理」 担当；薬剤部 神谷	17
3	平成28年9月15日	「認知症の人の栄養管理」 担当；内科 村瀬 「PT・STの仕事とは」 担当；PT 森本 ST 渡邊	16
4	平成28年11月17日	「ダイエット」 担当；4F 岩崎・中山 「リハ栄養」 担当；3F 吉田	17
5	平成29年1月12日	「脳卒中の栄養管理」 担当；2F 新美 「がん末期の栄養管理」 担当；5F 浅野	9
6	平成29年3月16日	「検査科からみた栄養評価」 担当；検査 植田 「輸液管理の基礎」 担当；6F 榊原・沖田	13

【ランチミーティング(勉強会)】毎月第1・3木曜日 12:30~13:15

回	開催日	内容	参加人数
1	平成28年4月7日	輸液の成り立ち	24
2	平成28年4月21日	経管栄養の基礎	27
3	平成28年5月19日	褥瘡ガイドライン収載の注目成分 L-カルノシンについて	21
4	平成28年6月2日	ラコールNF配合経腸用液について 大塚	20
5	平成28年6月16日	がん患者さんの炎症に配慮したEPA配合栄養剤 プロシユアについて アボット	18
6	平成28年7月7日	亜鉛含有胃潰瘍剤 プロマックD錠 ゼリア	19
7	平成28年7月21日	コラーゲンペプチドの最新の治験 およびがん治療と栄養について ニュートリー	12
8	平成28年8月4日	中鎖脂肪酸 日新オイリオ	14
9	平成28年8月18日	少量高カロリー栄養剤 ネスレ	14
10	平成28年9月1日	メイバランスリハサポート 明治	13
11	平成28年9月15日	静脈栄養と微量元素 大塚	20
12	平成28年10月6日	水溶性食物繊維の有用性について 太陽化学	16
14	平成28年11月17日	栄養管理に役立つ漢方薬 ツムラ	17
15	平成28年12月1日	シールド乳酸菌 食品への応用 クリニコ	12

16	平成 29 年 1 月 19 日	マーメッドシリーズ テルモ	12
17	平成 29 年 2 月 2 日	脂肪乳剤について 大塚	14
18	平成 29 年 2 月 16 日	B C A A について EA ファーマ	13
19	平成 29 年 3 月 2 日	エパデールについて 持田製薬	14
20	平成 29 年 3 月 16 日	周術期の栄養管理について ネスレ	12

【病棟回診】 毎週木曜日 13:30～（療養型は毎月 1 回第 2 木曜日）

#### 【研究会世話人】

平成 28 年 6 月 18 日（土）知多半島栄養サポートフォーラム

当番世話人・特別講演座長 村元雅之

一般演題座長 中野みさと・木島綾乃

一般演題発表 茶谷公治

#### 【学会発表】

・知多半島栄養サポートフォーラム 一般演題 茶谷公治

### 3. 平成 28 年度の活動要約

定期委員会、ランチミーティング、NST 勉強会は上記の通り開催し、院内全体の栄養に関する知識の向上を図った。平成 24 年 10 月 1 日からは栄養サポートチーム加算算定を開始し、病棟回診については以下の手順により NST メンバーが栄養不良患者の抽出をし、チーム全体で栄養管理を行なった。

また、学会参加や発表、研究会世話人等を積極的に行い、院内だけでなく院外へも栄養に関する新たな情報を発信し貢献できるよう努めている。

- (1) 栄養スクリーニング
- (2) 栄養アセスメント、身体計測(INBODY 体組成測定)
- (3) 病棟回診
- (4) 栄養治療提案
- (5) 栄養治療計画書兼報告書の作成、患者または家族への説明

## ● 栄養サポートチーム実施加算の算定状況

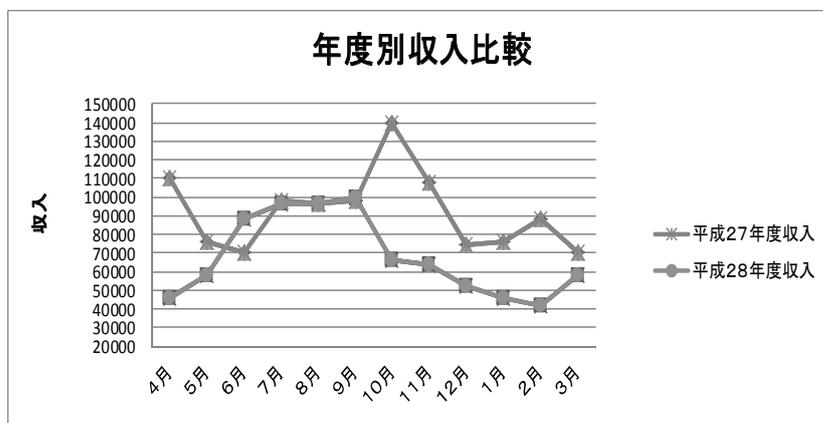
### 平成28年度統計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数(人)	24	23	27	25	25	27	22	18	15	11	11	12	240
総件数(件)	52	40	75	68	54	74	53	43	30	23	21	31	564
総点数(点)	10,400	8,000	15,000	13,600	10,800	14,800	10,600	8,600	6,000	4,600	4,200	6,200	112,800
総金額(円)	104,000	80,000	150,000	136,000	108,000	148,000	106,000	86,000	60,000	46,000	42,000	62,000	1,128,000

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回復期件数(件)	29	11	31	20	6	24	20	11	4	0	0	2	158
回復期点数(点)	5,800	2,200	6,200	4,000	1,200	4,800	4,000	2,200	800	0	0	400	31,600
回復期金額(円)	58,000	22,000	62,000	40,000	12,000	48,000	40,000	22,000	8,000	0	0	4,000	316,000

一般病床 + 5F医療	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実件数(件)	23	29	44	48	48	50	33	32	26	23	21	29	406
実点数(点)	4,600	5,800	8,800	9,600	9,600	10,000	6,600	6,400	5,200	4,600	4,200	5,800	81,200
実金額(円)	46,000	58,000	88,000	96,000	96,000	100,000	66,000	64,000	52,000	46,000	42,000	58,000	812,000

※1回= 200点  
 ※1点= 10円



## ● 体組成測定(INBODY)による加算算定状況

### 平成28年度統計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数(人)	7	11	5	7	8	6	2	6	5	2	5	3	67
総件数(件)	8	11	5	7	10	6	2	6	5	2	5	3	70
総点数(点)	474	660	300	420	588	360	120	360	300	120	300	180	4182
総金額	4740	6600	3000	4200	5880	3600	1200	3600	3000	1200	3000	1800	41820

包括金額	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	4140	4800	2400	1200	4080	600	600	3000	0	1200	1200	1200	24420

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
出来高件数(件)	1	3	1	5	3	5	1	1	5	0	3	1	29
出来高点数(点)	60	180	60	300	180	300	60	60	300	0	180	60	1740
出来高金額(円)	600	1800	600	3000	1800	3000	600	600	3000	0	1800	600	17400

※点数: 体液量測定2回目より90/100に減算  
 ※1回=60点 2回目以降=54点

#### 体液量測定について

DPC対象患者は包括扱い！！

特定入院期間超の患者のみ出来高算定可能。(入院期間Ⅲを超えて出来高算定となった患者)

回復期リハ病床の患者は、包括扱い！！

## ■ 糖尿病教育委員会

### 1. 目的

糖尿病教室および糖尿病教育入院など、患者への糖尿病教育の検討、糖尿病治療に関する業務全般の検討および定期制な運営の推進を任務とする。

### 2. 平成28年度の活動内容

回数	開催日	内容
1	平成28年4月16日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第140回糖尿病教室 参加者37名</li> <li>糖尿病について① 丹村医師</li> <li>検査について 杉浦検査技師</li> <li>食事療法について① 深見管理栄養士</li> </ul>
2	平成28年5月16日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第140回糖尿病教室についての報告</li> <li>・第141回糖尿病教室開催の打ち合わせ</li> <li>*メーカー勉強会               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ライゾテグフレックスタッチ：ノボルデイスファーマ</li> <li>持続型と超速効型インスリンの配合剤</li> </ul> </li> <li>*血糖測定器（POCT器）について</li> <li>*GAD抗体測定法変更について</li> <li>*採用薬について</li> <li>*エクメットLDについて</li> <li>*糖尿病透析予防加算・フットケアについて 平成27・28年度4月分報告</li> <li>*研修会について 中部地方会、院内研修会開催等</li> <li>*SMBG紛失と破損について</li> </ul>
3	平成28年6月18日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第141回糖尿病教室 参加者39名</li> <li>食事会「夏野菜でチキンカレー」</li> </ul>
4	平成28年7月25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第141回糖尿病教室についての報告</li> <li>・第142回糖尿病教室開催の打ち合わせ</li> <li>*CGM解析のバージョンアップについて</li> <li>*糖尿病教室ポスター掲示について</li> <li>*グルファストOD錠について</li> <li>*糖尿病透析予防加算・フットケアについて 平成28年度4～6月分報告</li> <li>*指導箋選択について</li> </ul>

回数	開催日	内容
5	平成 28 年 8 月 20 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第 142 回糖尿病教室 参加者 38 名</li> <li>歯科について みはま歯科クリニック 榊原歯科医</li> <li>合併症について 高松薬剤師</li> <li>食事療法について 片岡管理栄養士</li> </ul>
6	平成 28 年 9 月 12 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第 142 回糖尿病教室についての報告</li> <li>・第 143 回糖尿病教室開催の打ち合わせ</li> <li>* 血糖測定連携スケジュールについて</li> <li>* グルテスト NEO アルファのポーチ変更について</li> <li>* 糖尿病カンファレンス (テンプレート) について</li> <li>* 教育入院・コントロール入院について</li> <li>* 糖尿病透析予防加算・フットケアについて</li> <li>平成 28 年度 7～8 月分報告</li> <li>* 検査値のデータ抽出について</li> </ul>
7	平成 28 年 10 月 1 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第 143 回糖尿病教室 参加者 47 名</li> <li>糖尿病について② 丹村医師</li> <li>運動療法について 栗山リハビリ技士</li> </ul>
8	平成 28 年 11 月 14 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第 143 回糖尿病教室についての報告</li> <li>・第 144 回糖尿病教室開催の打ち合わせ</li> <li>* メーカー勉強会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・マゼブ錠について：MSD</li> <li>・インシグ配合錠：武田薬品</li> </ul> </li> <li>* CGM の予約日・時間変更について</li> <li>* H29 年度・30 年度日本糖尿病学会参加について</li> <li>* 透析予防パンフレットについて</li> <li>* 糖尿病教育入院のカキキュラム変更</li> <li>* 糖尿病透析予防加算・フットケアについて</li> <li>平成 28 年度 9～10 月分報告</li> </ul>
9	平成 28 年 12 月 17 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第 144 回糖尿病教室 参加者 47 名</li> <li>食事会「クリスマスメニューを楽しむために！」</li> </ul>
10	平成 29 年 1 月 16 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第 144 回糖尿病教室について報告</li> <li>・第 145 回糖尿病教室開催の打ち合わせ</li> <li>* メーカー勉強会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・CGM：アホットジャパン</li> </ul> </li> <li>* 糖尿病透析予防加算・フットケアについて</li> <li>平成 28 年度 11～12 月分報告</li> </ul>

回数	開催日	内容
11	平成 29 年 2 月 18 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 145 回糖尿病教室 参加者 35 名</li> <li>糖尿病について③ 丹村医師</li> <li>合併症について② 丹村医師</li> <li>フットケアについて 吉田看護師</li> <li>薬物療法について 末吉薬剤師</li> </ul>
12	平成 29 年 3 月 13 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 145 回糖尿病教室について報告</li> <li>・ 第 146 回糖尿病教室開催の打ち合わせ</li> <li>* 血糖測定器のプレジジョンエクシードプロについて</li> <li>* 血糖測定器連携の説明会について</li> <li>* 糖尿病透析予防加算・フットケアについて</li> <li>平成 29 年度 12 月分報告</li> </ul>

### 3. 平成 28 年度の活動要約

- 1) 糖尿病教室の企画・運営について
- 2) 委員や職員への糖尿病に対する知識向上
- 3) 「知多糖尿病チーム医療研究会」や外部の研修会への参加
- 4) システム更新後のゲルテスト NEO 活用使用とシステム管理の準備（患者・職員）、啓蒙活動の実施
- 5) 委員会主催の院内勉強会：インスリン・内服薬について
- 6) 教育入院・コントロール入院患者のテンプレート作成（DWH）活用の準備

### 4. 次年度の課題

- 1) 糖尿病教室の参加人数が、減少してきている現状がある。  
再度多くの方に参加して頂けるような、内容を検討していく
- 2) 昨年度よりさらにインスリン製剤や GLP-1 製剤、内服薬の後発品など、さまざまな薬品が使用されている。リスク回避のため委員会主催で中心に勉強会を継続していく
- 3) 今年度、多職種で教育入院・コントロール入院患者のテンプレート作成を行った。  
次年度は、DWH を活用し患者のデータ分析を行い教育指導と病院経営の一助としていく

## ■ 肝臓病教育委員会

### 1. 目的

慢性疾患である肝臓病（慢性肝炎、肝硬変など）の知識の啓蒙活動を通して地域の患者様の肝臓病の療養に寄与することを目的とする。

### 2. 平成28年度の活動内容

回数	開催日	内容
1	平成28年4月21日	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年度の日程及び目標の確認</li> <li>第74回肝臓病教室開催の打ち合わせ</li> </ul>
2	平成28年5月21日	<ul style="list-style-type: none"> <li>第74回肝臓病教室                             <ul style="list-style-type: none"> <li>1) アルコールと肝臓病 医師：高橋佳嗣</li> </ul> </li> </ul>
3	平成28年6月16日	<ul style="list-style-type: none"> <li>第74回肝臓病教室の報告</li> <li>第75回肝臓病教室開催の打ち合わせ</li> </ul>
4	平成28年7月16日	<ul style="list-style-type: none"> <li>第75回肝臓病教室                             <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 血液検査結果の読み方 検査技師：久保田勝俊</li> <li>2) 慢性肝炎について 医師：高橋佳嗣</li> </ul> </li> </ul>
5	平成28年8月18日	<ul style="list-style-type: none"> <li>第75回肝臓病教室の報告</li> <li>第76回肝臓病教室開催の打ち合わせ</li> </ul>
6	平成28年9月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>第76回肝臓病教室                             <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 肝臓病の食事療法について 栄養士：片岡千咲</li> <li>2) 慢性肝炎の療法について 医師：高橋佳嗣</li> </ul> </li> </ul>
7	平成28年10月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>第76回肝臓病教室の報告</li> <li>第77回肝臓病教室開催の打ち合わせ</li> </ul>
8	平成28年11月19日	<ul style="list-style-type: none"> <li>第77回肝臓病教室                             <ul style="list-style-type: none"> <li>1) お薬について 薬剤師：後藤恵利佳</li> <li>2) 肝硬変について 医師：高橋佳嗣</li> </ul> </li> </ul>
9	平成28年12月15日	<ul style="list-style-type: none"> <li>第77回肝臓病教室の報告</li> <li>第78回肝臓病教室開催の打ち合わせ</li> </ul>
10	平成29年1月21日	<ul style="list-style-type: none"> <li>第78回肝臓病教室                             <ul style="list-style-type: none"> <li>料理教室 栄養科：片岡千咲</li> </ul> </li> </ul>
11	平成29年2月16日	<ul style="list-style-type: none"> <li>第78回肝臓病教室の報告</li> <li>第79回肝臓病教室開催の打ち合わせ</li> </ul>
12	平成29年3月18日	<ul style="list-style-type: none"> <li>第79回肝臓病教室                             <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 日常生活における注意点 看護師：山本明美 佐久間浩子・住徳靖子</li> <li>2) 肝臓癌について 医師：高橋佳嗣</li> </ul> </li> </ul>

### 3. 平成28年度の活動要約

- 1) 肝臓病教室の企画、運営。
- 2) 薬剤部窓口や中央処置室でのパンフレットの配布、教室当日のアナウンスの変更など広報活動に重点を置く取り組みを実施した結果、参加者の増加に繋がっている。
- 3) 新しい企画として、料理教室を開催した。

## ■ 摂食・嚥下障害委員会

### 1. 目的

摂食・嚥下障害に対して各職種がそれぞれの専門性を活かし、正しい知識・技術を持って質の高いチームアプローチを行なうことを目的とする。

### 2. 平成28年度の活動内容

回数	開催日	内容
1	平成28年4月5日	平成28年度計画、目標 (場所：多目的ルーム 書記：山本)
2	平成28年5月10日	学習会：食事介助方法、摂取 姿勢について：担当4F中野 (場所：セミナー室1 書記：2階病棟)
3	平成28年6月7日	学習会：当院の食事形態について：栄養科山本 (場所：セミナー室1 書記：3階病棟)
4	平成28年7月5日	カンファレンスについて (場所：多目的ルーム 書記：4階病棟)
5	平成28年8月2日	摂食機能療法算定方法：6F山本 (場所：多目的ルーム 書記：5階病棟)
6	平成28年9月6日	嚥下評価 ベッドサイドスクリーニング事例検討 (場所：多目的ルーム 書記：6階病棟)
7	平成28年10月4日	嚥下評価 ベッドサイドスクリーニング事例検討 (場所：多目的ルーム 書記：2階病棟)
8	平成28年11月1日	嚥下評価 ベッドサイドスクリーニング事例検討 (場所：セミナー室1 書記：3階病棟)
9	平成28年12月6日	嚥下評価 ベッドサイドスクリーニング事例検討 (場所：多目的ルーム 書記：4階病棟)
10	平成29年1月10日	嚥下評価 ベッドサイドスクリーニング事例検討 (場所：セミナー室2 書記：5階病棟)
11	平成29年2月7日	嚥下評価 ベッドサイドスクリーニング事例検討 (場所：多目的ルーム 書記：6階病棟)
12	平成29年3月7日	平成28年度 反省 (場所：多目的ルーム 書記：外来)

### 3. 平成28年度の活動要約

- ・摂食機能療法算定：2,847回 5,266,950円
- ・食事介助、食形態について学習会を行い、その後ベッドサイドで事例検討として摂食・嚥下のアセスメントや口腔ケアの実践を行った。

## ■ 緩和ケア委員会

### 1. 目的

がんの初期段階から関わり、診断、治療、在宅医療などあらゆる場面で標準化した、かつ最適と思われる緩和ケアを提供し、主治医・その他の医療スタッフをサポートしていく。また院内の緩和ケア普及に努めるとともに全体の医療レベルの向上を図る。

### 2. 平成28年度の活動内容

回数	開催日	内容
1	平成28年4月25日	・緩和ケアチーム回診（4回/月） ・平成28年度緩和ケア委員会目標・規程について
	平成28年5月	・緩和ケアチーム回診（5回/月）
2	平成28年6月27日	・緩和ケアチーム回診（4回/月） ・6月 日本緩和医療学会参加（大井） ・日本緩和医療薬学会参加（末吉）
	平成28年7月	・緩和ケアチーム回診（3回/月）
3	平成28年8月22日	・緩和ケアチーム回診（5回/月） ・委員会内勉強会 「アブストラル錠の使用方法について」 *協和発酵キリン株式会社 室伏氏
	平成28年9月	・緩和ケアチーム回診（3回/月）
4	平成28年10月24日	・緩和ケアチーム回診（4回/月）
	平成28年11月	・緩和ケアチーム回診（4回/月）
5	平成28年12月26日	・緩和ケアチーム回診（4回/月）
	平成29年1月	・緩和ケアチーム回診（3回/月）
6	平成29年2月27日	・緩和ケアチーム回診（4回/月）
	平成29年3月	・緩和ケアチーム回診（3回/月） ・3/25 AGPAL 研究会 1名参加

※委員会未開催月（回診のみの月）：5月、7月、9月、11月、1月、3月

### 3. 平成28年度の活動要約

- ・緩和ケアチームの回診は医師、薬剤師、がん性疼痛看護認定看護師が毎週月曜日の13時30分から実施している。平成28年度の緩和ケアチームへの依頼は34名で、昨年度より19名減少した。主な疾患は消化管系がん、乳がん、肺癌、膵がん、骨転移などであった。緩和ケアチームへの依頼は疼痛管理が主であった。がん疾患による精神症状の出現にて、精神科医の診察を受けた患者が1名あり。
- ・がん性痛看護認定看護師→日本緩和医療学会とAGPAL研究会に参加
- ・薬剤師→日本緩和医療薬学会に参加

- ・緩和ケア委員会の看護部を対象に、院内での勉強会を3回開催した。
  - \*平成28年7月27日（月）「がん性疼痛の薬物療法」
  - \*平成28年11月28日（月）「腹水の処置、どうしよう」
  - \*平成29年2月13日（月）「レスキューの使用回数が多いから、ベースアップでOK?」

## ■ 化学療法委員会

### 1. 目的

- ①化学療法のレジメンの妥当性を検証・承認して、登録する
- ②化学療法に関する院内取り決め事項を検討する
- ③化学療法注射せんの取り扱い方法の検討
- ④化学療法で取り扱う医薬品情報の伝達

### 2. 平成28年度の活動内容

回数	開催日	内容
1	平成28年4月6日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規申請レジメンの検証、及び承認（1件）</li> <li>・化療初回入院導入について</li> <li>・曝露対策について</li> </ul>
2	平成28年5月10日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規申請レジメンの検証、及び承認（0件）</li> <li>・保険診療の変更点</li> </ul>
3	平成28年8月2日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規申請レジメンの検証、及び承認（0件）</li> <li>・薬剤師外来について</li> </ul>
4	平成28年10月4日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規申請レジメンの検証、及び承認（2件）</li> <li>・アナフィラキシー対応マニュアル改変開始</li> <li>・リスク関連報告 1件</li> </ul>
5	平成28年12月6日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規申請レジメンの検証、及び承認（1件）</li> <li>・アナフィラキシー対応マニュアル完成</li> </ul>
6	平成29年2月7日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・携帯型ディスポーザブルポンプの変更</li> <li>・テカトロン錠 4mg の新規採用について</li> </ul>

### 3. 平成28年度の活動要約

- ア) 新規申請レジメンは4件あり、その検証及び承認を実施した。  
また登録済レジメンの処方内容などの検証及び変更も行った。
- イ) アナフィラキシー対応マニュアル作成
- ウ) 携帯型ディスポーザブルポンプの採用変更

## ■ スキンケア委員会

### 1. 平成28年度 目標

- (1) スキンケアの基本を理解し褥瘡予防を実践する
- (2) 脆弱な皮膚の管理ができる

### 2. 平成28年度の活動内容 【定期開催】毎月第2火曜日 16:00～17:00

回数	開催日	内容
1	平成28年4月12日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度の褥瘡患者報告</li> <li>目標と活動計画について</li> <li>※ミニレクチャーを行い伝達する</li> </ul>
2	平成28年5月10日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・褥瘡患者現状報告</li> <li>・第1回学習会「チューブ挿入時の固定方法」 (講師) 外科杉戸 Dr Ns 中野</li> </ul>
3	平成28年6月7日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・褥瘡患者現状報告</li> <li>・第2回学習会「脆弱な皮膚管理・スキンケア」 (講師) WOC 宮本・近藤</li> </ul>
4	平成28年7月12日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・褥瘡患者現状報告</li> <li>・3ヶ月間(4月～6月)褥瘡の現状と課題</li> </ul>
5	平成28年8月13日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・褥瘡患者現状報告</li> <li>・第3回学習会「脆弱な皮膚管理・浮腫の管理」 (講師) WOC 宮本・近藤</li> </ul>
6	平成28年9月13日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・褥瘡患者現状報告</li> <li>※オープンセミナー内容と役割分担</li> </ul>
7	平成28年10月11日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・褥瘡患者現状報告</li> <li>・第4回学習会「車椅子シーティング」 (講師) PT: 山口</li> </ul>
8	平成28年11月8日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・褥瘡患者現状報告</li> <li>※オープンセミナー最終確認</li> </ul>
9	平成28年11月19日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第19回褥瘡研修会 13:30～16:30</li> </ul>
10	平成28年12月13日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・褥瘡患者現状報告</li> <li>・オープンセミナーのアンケート報告・評価</li> </ul>
11	平成29年1月10日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・褥瘡患者現状報告 ※紙面開催</li> </ul>
12	平成29年2月14日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・褥瘡患者現状報告</li> <li>・第5回学習会「弾性ストッキングの履き方」 (講師) 外来Ns 山田</li> </ul>
13	平成29年3月14日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間活動の意見・評価・次年度の課題</li> </ul>

## 【褥瘡発生状況】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実入院患者	500	455	465	469	492	484	486	488	477	440	480	508	5744
褥瘡有病者	12	14	15	16	16	13	10	17	15	17	19	18	182
新規褥瘡	6	6	10	10	11	7	9	9	7	12	9	11	107
新規院内発生	1	2	8	5	9	5	4	4	4	5	5	4	56
褥瘡有病者率	2.40%	3.08%	3.23%	3.41%	3.25%	2.69%	2.06%	3.48%	3.14%	3.86%	3.96%	3.54%	3.17%
新規褥瘡率	1.20%	1.32%	2.15%	2.13%	2.24%	1.45%	1.85%	1.84%	1.47%	2.73%	1.88%	2.17%	1.86%
新規院内発生率	0.20%	0.44%	1.72%	1.07%	1.83%	1.03%	0.82%	0.82%	0.84%	1.14%	1.04%	0.79%	0.97%

## 【褥瘡ハイリスク算定状況】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2階病棟	4	6	6	6	7	5	3	3	4	7	1		52
3階病棟	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
4階病棟	13	15	13	14	13	8	10	9	14	13	9		131
5階病棟	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
6階病棟	9	7	9	10	10	12	9	8	15	13	12		114
合計	26	28	28	30	30	25	22	20	33	33	22		297
新入院数	280	251	264	263	256	246	269	260	251	255	263		

## 【体圧分散用具使用 ONE. DAY 調査】

病棟	調査日 患者	体幹用			下肢挙上用			膝関節用			上肢用		
		対象	不足	充足率	対象	不足	充足率	対象	不足	充足率	対象	不足	充足率
6階病棟	48	17	1	94.1%	0			0			0		
5階病棟	43	29	4	86.2%	11	7	36.6%	11	7	36.6%	11	7	36.6%
4階病棟	48	15	1	93.3%	1	0	100%	1	0	100%	1	0	100%
3階病棟	35	2	0	100%	0			0			0		
2階病棟	45	10	1	90%	3	0	100%	3	0	100%	3	0	100%
合計	219	73	7	90.4%	15	7	53.3%	15	7	53.3%	15	7	53.3%

※平成 28.6. 14 実施

## 【褥瘡およびスキンテアの状況】

### 1. 褥瘡発生状況

発生場所	院内発生	持ち込み	合計
	56	51	107

### 2. 褥瘡深達度

褥瘡深さ	d 1	d 2	D3	D4	Du	合計
院内発生	0	51	4	0	1	56
持ち込み	1	33	11	2	4	51
合計	1	84	15	2	5	107

### 3. 褥瘡発生部位（多い5部位）

院内発生	仙骨	尾骨	下腿	背部	踵	他	合計
	11	8	8	6	3	20	56
持ち込み	仙骨	腸骨	下腿	尾骨	多発	他	合計
	18	12	7	5	4	5	51

### 4. 褥瘡転帰

転帰	治癒	継続	転院	死亡	合計
院内発生	38	2	2	14	56
持ち込み	28	12	2	9	51
合計	66	14	4	23	107

### 5. スキンテア STAR 分類カテゴリー

1a	1b	2a	2b	3	合計
32	13	1	9	8	63

### 6. スキンテア 発生部位

上肢	下肢	手背	顔	他	合計
32	17	4	4	6	63

### 3. 平28年度 活動要約

- ・新規院内発生褥瘡は単月で1%超えもあったが、年間では0.97%で1%以内を維持することはできた。
- ・新規院内発生1%超えは6月～9月に続いた。6月は8件中5件、死亡退院しており全身状態悪化に伴う個体要因の要素が強く予防が困難な状況があったと判断する。他3件についてはd2の軽度褥瘡で発生後3週間以内に治癒している。8月についても9件中8件はd2の軽度褥瘡で同じく発生後3週間以内に治癒している。発生率が高い要素として、前年度に比べ直径0.5cm（d2）程度の表皮損傷についても多く報告がされていた。褥瘡の早期治癒には褥瘡が軽度の段階から治療ケアをする必要があるため重要なことである。
- ・皮膚湿潤は褥瘡発生の1要因であり、高齢の入院患者の多くは、オムツ使用を使用しており仙骨部のずれ摩擦予防と同時に蒸れ対策も重要なケアである。入浴後の皮膚湿潤や発汗が多い患者は、オムツを開放する時間をもうけるなど予防ケアを実践した。
- ・スキンケアの院内発生は63件であった。そのうちカテゴリー1a（創縁を過度に伸展させることなく、正常な解剖学的位置に戻すことができ、皮膚または皮弁の色が蒼白でない薄黒くない、または黒ずんでないスキンケア）が32件であった。発見時に適切な処置を実践されており悪化はなかった。しかし再発を繰り返すケースはあったため、患者を観察し危険予測、予防ケアを継続していく必要があった。
- ・委員会開催時に褥瘡・スキンケアに関するミニレクチャーを5回行い、6月、8月は脆弱な皮膚の管理としてスキンケア・浮腫の管理について行った。
- ・入院時には褥瘡の有無だけでなく、スキンケアの確認を行い発見時は治療的ケア、再発防止に向けた継続ケア、脆弱な皮膚の管理としては予防的ケア、指導など積極的に行っていきたい。
- ・今年度は4月に体圧分散用具のクッション性の退化を確認し、新規ピローの購入と補正など褥瘡対策の環境整備を行った。6月に体圧分散用具（ポジショニングピロー）の使用状況（充足状況）について調査した。調査日の入院患者において体幹用用具は、ほぼ充足されていたが下肢全体の挙上し踵の褥瘡予防に使用する用具など、部分的な減圧ケアに必要な用具は不足していた。必要用具の購入については、ONE DAY調査であり入院患者の状況で使用用具は異なるため褥瘡回診や褥瘡発生状況など確認し検討していく必要がある。

## ■ 虐待対策委員会

### 1. 目的

この委員会は、児童・DV・高齢者・障害者等の虐待の早期発見と被虐待者の救済を目的とする。

### 2. 平成28年度の活動内容

回数	開催日	内容
1	平成29年2月27日	<ul style="list-style-type: none"><li>・虐待対策委員会規程の変更について</li><li>・電子カルテのサインについて</li><li>・事例報告</li></ul>

### 3. 平成28年度の活動要約

診療記録を見なくても電子カルテ上にサインを立てることで虐待が疑われるケースであることが、ひと目で判別できるようにするため、委員会で検討した。今後、医療情報室とカルテ上にマーク付け方について調整をする予定。

## ■ 医師業務軽減検討委員会

### 1. 目的

医師の代行・補助業務をすることにより、医師の業務負担軽減に繋がり、診療業務に専念できる環境をつくる。また、それに伴い勤務医負担軽減計画（見直し）を作成・確認することを目的とする。

### 2. 平成28年度の活動内容

回数	開催日	内容
1	平成28年4月19日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師業務軽減検討委員会規程について</li> <li>・勤務医負担軽減計画（案）について</li> <li>・平成28年度年間スケジュール</li> <li>・3月依頼文書統計について</li> </ul>
2	平成28年5月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月依頼文書統計について</li> </ul>
3	平成28年6月21日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勤務医負担軽減計画進捗確認</li> <li>・5月依頼文書統計について</li> <li>・医師（新採用医師）へアンケート調査（案）</li> </ul>
4	平成28年7月19日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勤務医負担軽減計画進捗確認</li> <li>・6月依頼文書統計について</li> <li>・医師（新採用医師）へアンケート調査</li> </ul>
5	平成28年8月16日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勤務医負担軽減計画進捗確認</li> <li>・7月依頼文書統計について</li> </ul>
6	平成28年9月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勤務医負担軽減計画進捗確認</li> <li>・8月依頼文書統計について</li> </ul>
7	平成28年10月18日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勤務医負担軽減計画進捗確認</li> <li>・9月依頼文書統計について</li> <li>・医師（新採用医師）アンケート集計</li> </ul>
8	平成28年11月15日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勤務医負担軽減計画進捗確認</li> <li>・10月依頼文書統計について</li> </ul>
9	平成28年12月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勤務医負担軽減計画（中間達成状況報告）</li> <li>・11月依頼文書統計について</li> </ul>
10	平成29年1月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勤務医負担軽減計画進捗確認</li> <li>・12月依頼文書統計について</li> </ul>
11	平成29年2月21日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勤務医負担軽減計画進捗確認</li> <li>・1月依頼文書統計について</li> </ul>
12	平成29年3月21日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勤務医負担軽減計画進捗確認</li> <li>・2月依頼文書統計について</li> </ul>

### 3. 平成28年度の活動要約

昨年と同様に、勤務医負担軽減計画を中心に活動した。達成状況としてはほぼ100%確保した。

## ■ 保険診療委員会

### 1. 目的

保険診療の適正化かつ円滑な運営を図る。

### 2. 平成28年度の活動内容

回数	開催日	内 容
1	平成28年4月26日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年2月診療分の査定について</li> <li>・病院別査定について</li> <li>・収入調（平成28年3月）</li> <li>・医事関係統計資料（返戻・査定減等）</li> <li>・平成27年度DPCデータ3月分、通計について</li> <li>・ジェネリック率推移</li> <li>・後発品薬剤への変更決定薬剤</li> <li>・現在検討中の後発品薬剤</li> <li>・委員会規程の改正について</li> </ul>
2	平成28年5月24日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年3月診療分の査定について</li> <li>・病院別査定について</li> <li>・収入調（平成28年4月）</li> <li>・医事関係統計資料（返戻・査定減等）</li> <li>・平成28年度DPCデータ4月分、通計について</li> <li>・ジェネリック率推移</li> <li>・後発品薬剤への変更決定薬剤</li> <li>・現在検討中の後発品薬剤</li> </ul>
3	平成28年6月28日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年4月診療分の査定について</li> <li>・病院別査定について</li> <li>・収入調（平成28年5月）</li> <li>・医事関係統計資料（返戻・査定減等）</li> <li>・平成28年度DPCデータ5月分、通計について</li> <li>・ジェネリック率推移</li> <li>・後発品薬剤への変更決定薬剤</li> <li>・現在検討中の後発品薬剤</li> </ul>
4	平成28年7月26日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年5月診療分の査定について</li> <li>・病院別査定について</li> <li>・収入調（平成28年6月）</li> <li>・医事関係統計資料（返戻・査定減等）</li> <li>・平成28年度DPCデータ6月分、通計について</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジェネリック率推移</li> <li>・後発品薬剤への変更決定薬剤</li> <li>・現在検討中の後発品薬剤</li> <li>・平成 28 年度開催時間・場所について</li> </ul>
5	平成 28 年 8 月 23 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 28 年 6 月診療分の査定について</li> <li>・病院別査定について</li> <li>・収入調（平成 28 年 7 月）</li> <li>・医事関係統計資料（返戻・査定減等）</li> <li>・平成 28 年度 D P C データ 7 月分、通計について</li> <li>・ジェネリック率推移</li> <li>・後発品薬剤への変更決定薬剤</li> <li>・現在検討中の後発品薬剤</li> <li>・外来での D ダイマーの算定について</li> <li>・鼻腔栄養と食事の併用について</li> <li>・フィブラストスプレーの適応について</li> <li>・ H S E に使用するエピネフリン製剤の変更について</li> </ul>
6	平成 28 年 9 月 27 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 28 年 7 月診療分の査定について</li> <li>・病院別査定について</li> <li>・収入調（平成 28 年 8 月）</li> <li>・医事関係統計資料（返戻・査定減等）</li> <li>・平成 28 年度 D P C データ 8 月分、通計について</li> <li>・ジェネリック率推移</li> <li>・後発品薬剤への変更決定薬剤</li> <li>・現在検討中の後発品薬剤</li> <li>・救急医療管理加算の算定について</li> </ul>
7	平成 28 年 10 月 25 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 28 年 8 月診療分の査定について</li> <li>・病院別査定について</li> <li>・収入調（平成 28 年 9 月）</li> <li>・医事関係統計資料（返戻・査定減等）</li> <li>・平成 28 年度 D P C データ 9 月分、通計について</li> <li>・ジェネリック率推移</li> <li>・後発品薬剤への変更決定薬剤</li> <li>・現在検討中の後発品薬剤</li> </ul>
8	平成 28 年 11 月 22 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 28 年 9 月診療分の査定について</li> <li>・病院別査定について</li> <li>・収入調（平成 28 年 10 月）</li> <li>・医事関係統計資料（返戻・査定減等）</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 28 年度 D P C データ 10 月分、通計について</li> <li>・ジェネリック率推移</li> <li>・後発品薬剤への変更決定薬剤</li> <li>・現在検討中の後発品薬剤</li> </ul>
9	平成 28 年 12 月 27 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 28 年 10 月診療分の査定について</li> <li>・病院別査定について</li> <li>・収入調（平成 28 年 11 月）</li> <li>・医事関係統計資料（返戻・査定減等）</li> <li>・平成 28 年度 D P C データ 11 月分、通計について</li> <li>・ジェネリック率推移</li> <li>・後発品薬剤への変更決定薬剤</li> <li>・現在検討中の後発品薬剤</li> </ul>
10	平成 29 年 1 月 24 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 28 年 11 月診療分の査定について</li> <li>・病院別査定について</li> <li>・収入調（平成 28 年 12 月）</li> <li>・医事関係統計資料（返戻・査定減等）</li> <li>・平成 28 年度 D P C データ 12 月分、通計について</li> <li>・ジェネリック率推移</li> <li>・後発品薬剤への変更決定薬剤</li> <li>・現在検討中の後発品薬剤</li> </ul>
11	平成 29 年 2 月 28 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 28 年 12 月診療分の査定について</li> <li>・病院別査定について</li> <li>・収入調（平成 29 年 1 月）</li> <li>・医事関係統計資料（返戻・査定減等）</li> <li>・平成 28 年度 D P C データ 1 月分、通計について</li> <li>・ジェネリック率推移</li> <li>・後発品薬剤への変更決定薬剤</li> <li>・現在検討中の後発品薬剤</li> </ul>
12	平成 29 年 3 月 28 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 29 年 1 月診療分の査定について</li> <li>・病院別査定について</li> <li>・収入調（平成 29 年 2 月）</li> <li>・医事関係統計資料（返戻・査定減等）</li> <li>・平成 28 年度 D P C データ 2 月分、通計について</li> <li>・ジェネリック率推移</li> <li>・後発品薬剤への変更決定薬剤</li> <li>・現在検討中の後発品薬剤</li> <li>・規程、名簿の見直し</li> </ul>

### 3. 平成28年度活動要約

- ・ 査定に対して医師と協議し、再審査請求をかける件数が増えた。  
結果、復活となる件数が増え、査定額も下がった。
- ・ アクセスによる機械的チェックを導入し、査定・返戻件数減少に努めた。  
結果、復活となる件数が増え、査定額も下がった。

#### ・ 年間病院別査定（渥美・稲沢・病院計）比較結果

##### 【平成28年度】

当院	社保 0.26%	国保 0.28%	通計 0.29%
渥美	社保 0.29%	国保 0.32%	通計 0.32%
稲沢	社保 0.15%	国保 0.16%	通計 0.16%
病院計	社保 0.34%	国保 0.40%	通計 0.40%

##### 【平成27年度】

当院	社保 0.30%	国保 0.25%	通計 0.28%
渥美	社保 0.56%	国保 0.49%	通計 0.53%
稲沢	社保 0.15%	国保 0.12%	通計 0.13%
病院計	社保 0.28%	国保 0.30%	通計 0.31%

前年度と比べ、査定率が増加し、同規模病院・病院合計と比較しても、稲沢厚生病院より高い結果となった。

- ・ 支払基金、国保連合会からの通知文書の周知  
委員会で周知し、内容について協議を行い、対策を立てていくことで査定・返戻の減少に繋がった。
- ・ ヒラソルを使用し、マイナスの大きい疾患を分析し、クリニカルパスの変更、薬剤の変更等の提案を行った。
- ・ 平成27年度DPC出来高差 3.4%
- ・ 平成28年度DPC出来高差 3.3% 前年度と比較し0.1%低下
- ・ 平成27年度ジェネリック率 66.5%
- ・ 平成28年度ジェネリック率 72.2% 前年度と比較し5.7%向上

## ■ D P C コーディング部会

### 1. 目的

適切なコーディング（適切な診断を含めた診断群分類の決定をいう）を行う体制を確保する。

### 2. 平成28年度の活動内容

回数	開催日	内 容
1	平成28年4月23日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療資源を最も投与した病名変更例</li> <li>・D P C 出来高差▲10万円以上の症例について</li> <li>・部会細則・名簿の報告</li> </ul>
2	平成28年5月24日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療資源を最も投与した病名変更例</li> <li>・D P C 出来高差▲10万円以上の症例について</li> <li>・診療報酬改定に伴う診断群分類の変更について</li> </ul>
3	平成28年6月28日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療資源を最も投与した病名変更例</li> <li>・D P C 出来高差▲10万円以上の症例について</li> </ul>
4	平成28年7月26日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療資源を最も投与した病名変更例</li> <li>・D P C 出来高差▲10万円以上の症例について</li> </ul>
5	平成28年8月23日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療資源を最も投与した病名変更例</li> <li>・D P C 出来高差▲10万円以上の症例について</li> </ul>
6	平成28年9月27日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療資源を最も投与した病名変更例</li> <li>・D P C 出来高差▲10万円以上の症例について</li> </ul>
7	平成28年10月25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療資源を最も投与した病名変更例</li> <li>・D P C 出来高差▲10万円以上の症例について</li> </ul>
8	平成28年11月22日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療資源を最も投与した病名変更例</li> <li>・D P C 出来高差▲10万円以上の症例について</li> </ul>
9	平成28年12月27日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療資源を最も投与した病名変更例</li> <li>・D P C 出来高差▲10万円以上の症例について</li> </ul>
10	平成29年1月24日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療資源を最も投与した病名変更例</li> <li>・D P C 出来高差▲10万円以上の症例について</li> </ul>
11	平成29年2月28日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療資源を最も投与した病名変更例</li> <li>・D P C 出来高差▲10万円以上の症例について</li> </ul>
12	平成29年3月28日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療資源を最も投与した病名変更例</li> <li>・部会細則・名簿の見直し</li> </ul>

### 3. 平成28年度活動要約

- ・平成28年度診療報酬改定に伴い、診断群分類の変更が実施された。診断群分類を選択するにあたって、病名や処置、リハビリも要件になることがあるので、正確なオーダー入力、カルテ記載の協力を依頼した。
- ・医療資源を最も投与した病名変更例の資料を作成し、ICDコードの正しい選択、手術・処置等のありとなる症例等をお知らせした。
- ・「DPC出来高差マイナス10万円以上」をヒラソルで抽出し、正しいコーディングが選択されていたか、協議・確認をした。

## ■ 業務検討委員会

### 1. 目的

- ① 患者の安心・満足が得られる病院を目指し、医療の質を継続的に向上させる。
- ② 業務を遂行する上で、各職種、各部署との組織横断的連携を密にし、協力・連携体制をとるための調整。
- ③ 新たな業務、部署を立ち上げる場合、円滑に立ち上げるための検討。
- ④ 病院経営をより安定的なものとするため、増収策、経費削減策を検討し各職種、各部署がその具体的方策を実行するための提案。
- ⑤ 各職種、各部署間で改善・調整の必要な事項が発生した場合の業務改善・調整。
- ⑥ 事業計画の進捗状況の確認。

### 2. 平成28年度の活動内容

<定例報告>

- ・院内巡視報告について
- ・事業計画進捗管理シートについて

回数	開催日	内容
1	平成28年4月15日	委員会規程・名簿について 委員会・業務改善報告会年間スケジュールについて 機能評価について
2	平成28年5月27日	委員の変更について 業務改善報告会について
3	平成28年6月24日	業務改善報告会について
4	平成28年7月22日	業務改善報告会について 機能評価について（自己評価の進め方）
5	平成28年8月26日 （文書開催）	業務改善報告会について 機能評価について
6	平成28年10月28日	業務改善報告会について 機能評価について
7	平成28年11月25日	業務改善報告会について
8	平成29年1月27日	業務改善報告会について 機能評価について（自己評価の第1領域の報告）
9	平成29年3月31日	業務改善報告会について（アンケートの報告） 来年度以降の委員会について

### 3. 平成28年度の活動要約

#### ① 機能評価について

前回受審した機能評価の認定期限が平成29年7月迄となっているが、平成28年4月に受審を見送ることを正式に決定した。しかし、今後の診療報酬改定の内容によっては再度受審することも考えられるため、最新のバージョンでの評価項目を参考とした自己評価を各部署にて実施し、第1領域について評価結果の報告を行った。来年度は第2領域以降の自己評価の報告と内容のチェックを実施していく。

#### ② 業務改善報告会について

今年度は、毎年開催している業務改善報告会の取り組み方法について部署間のコラボレーションによる業務改善を推進できるようグループ変更を行った。コラボレーションが増えることで、業務改善の幅を広げることができた。

## ■ 病床運営管理委員会

### 1. 目的

急性期から慢性期までシームレスな医療を提供していくために各病棟の効率的な運用方法の検討や課題を解決する。又、地域における効率的かつ効果的な医療提供体制を確保するために当院の病床機能の方向性を検討し時代に適応できる病院の構築に寄与することを目的とする。

### 2. 平成28年度の活動内容

回数	開催日	内容
1	平成28年5月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 規程および名簿について</li> <li>・ 4月診療状況・各種指標について</li> <li>・ 回復期リハビリテーション病棟入院料2について</li> <li>・ 病床再編について</li> </ul>
臨時	平成27年5月31日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病床再編について</li> </ul>
2	平成28年6月21日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5月診療状況・各種指標について</li> <li>・ 病床再編について</li> <li>・ 7対1看護基準を維持する対応策検討方策案について</li> <li>・ 委員会の開催時間について</li> </ul>
3	平成28年7月19日 (文書開催)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6月診療状況・各種指標について</li> </ul>
4	平成28年8月16日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 7月診療状況・各種指標について</li> <li>・ 平均在院日数、医療看護必要度の状況について</li> <li>・ 療養型病棟の区分変更についての検討</li> <li>・ 平成27年度年報について</li> </ul>
5	平成28年9月20日 (文書開催)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 8月診療状況・各種指標について</li> <li>・ 平均在院日数、医療看護必要度の状況について</li> </ul>
6	平成28年10月18日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9月診療状況・各種指標について</li> <li>・ 平均在院日数、医療看護必要度の状況について</li> <li>・ 医療看護必要度25%基準クリアに向けた取り組み報告について</li> </ul>
7	平成28年11月22日 (文書開催)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 10月診療状況・各種指標について</li> <li>・ 平均在院日数、医療看護必要度の状況について</li> </ul>
8	平成28年12月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 11月診療状況・各種指標について</li> <li>・ 平均在院日数、医療看護必要度の状況について</li> <li>・ 療養型病棟の利用率向上と介護療養型病棟の今後の方向性について</li> <li>・ 感染症流行期に向けての病床利用率の状況について</li> </ul>

回数	開催日	内容
9	平成 29 年 1 月 24 日 (文書開催)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 12 月 診療状況・各種指標について</li> <li>・ 平均在院日数、医療看護必要度の状況について</li> </ul>
10	平成 29 年 2 月 21 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1 月 診療状況・各種指標について</li> <li>・ 平均在院日数、医療看護必要度の状況について</li> <li>・ 平成 29 年度目標値について</li> <li>・ 病床再編の検討について</li> <li>・ 感染症流行期の病床運営について</li> </ul>
11	平成 29 年 3 月 21 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2 月 診療状況・各種指標について</li> <li>・ 平均在院日数、医療看護必要度の状況について</li> <li>・ 療養機能強化型 A 算定について</li> <li>・ 病床再編の検討について</li> </ul>

### 3. 平成 28 年度の活動要約

- ・ 平成 28 年度診療報酬改定により 7 対 1 看護基準の医療看護必要度が 15%から 25%に引き上げられたことにより、病床再編も視野に入れ 7 対 1 看護基準の維持に向けて検討を行った。また、半年間の検証の結果、現状の病床機能を維持したまま、7 対 1 看護基準を維持していくことを決定した。
- ・ 介護療養型病棟の今後の方向性について情報収集を行った。
- ・ 平成 30 年度の医療・介護同時改定に向けた対応について検討を開始した。



